

明治二十三年海軍志願兵徵募兵員在表ノ通定

海軍大臣伯爵西郷從道

明治二十三年一月二十四日

海軍志願兵徵募區	鎮守府	水兵	火夫	木工	鍛冶	看病夫	厨夫	小計
第一	橫濱	二四一	一五一	八	六	二	二九	四三七
第二	吳	一九六	八四	六	〇	六	二	二九四
第三	佐世保	一四八	九二	二	一	〇	二七	二七〇
合計	五八五	三三七	一六	七	八	五八	一〇一	

○遞信省告示第十號

清國北京宛郵便物ヲ書留トシテ差出方ヲ望ム者ハ通常書留手數料並ニ當省告示第二百十六號ニ記載ノ上海迄ノ定税及上海以外遞送料ノ外別ニ拾錢ノ切手ヲ加貼シ郵便局ヘ差出スヘシ

左ノ各港ニ宛タル郵便物モ右ト同様前拂スルトキハ名宛地迄書留郵便ノ取扱ヲナスヘシ  
鎮江 宜昌 九江 牛莊 北海 打狗 淡水 温州 蕪湖 芝罘 天津

明治二十三年一月二十四日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第十一號

遠江國豊田郡中泉町ニ三等郵便局ヲ置キ中泉郵便局ト稱シ來ル二月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム  
明治二十三年一月二十四日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○第三回内國勸業博覽會事務局告示第九號

第三回内國勸業博覽會規則ニ左ノ通附則ヲ設ク

明治二十三年一月二十五日

第三回内國勸業博覽會副總裁岩村通俊

附則

第一條 東京共同競馬會社ニ於テ明治二十三年五月中ニ開設スル臨時競馬會ノ規則ヲ認可シ該會ヲ本會ノ附屬トス但本件ニ關スル收入支出金ハ該會ノ所得支辨トス

第二條 臨時競馬會ノ競走馬匹中第一著ノモノニハ褒狀ヲ授與ス但博覽會規則第九條ニ據テ出陳シタル馬匹ハ競走馬匹ニ加フルコトヲ許サス

第三條 臨時競馬會ニ關スル諸規則及通知廣告揭示等ハ第三回内國勸業博覽會附屬臨時競馬會事務所ノ名ヲ以テ執行セシム

○第三回内國勸業博覽會事務局告示第十號

第三回内國勸業博覽會規則第六條左ノ通更正ス

明治二十三年一月二十五日

第三回内國勸業博覽會副總裁岩村通俊

第六條 勸物館ハ明治二十三年五月一日ヨリ同十五日マテ及五月二十六日ヨリ六月九日マテノ兩度之ヲ開ク

○遞信省告示第十二號

明治二十二年十二月中西洋形船ヘ左ノ信號符字ヲ附ス

明治二十三年一月二十七日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

信號符字	現狀番號	船名	種類	定製場	船主氏名
HQB	一一六四 一一六四	加茂川丸 Kanogawa Maru	汽	大	大阪商船會社



H G W C	一六五	1 1 5 5	雷電丸 Raiden Maru.	同	同	臨永正七
H G W D	一六六	1 1 6 6	仙臺丸 Sendai Maru.	同	東	京
						日本郵船會社

○大藏省告示第三號

三春第九十三國立銀行東京支店ノ備明治二十三年一月三十一日限閉鎖ス

明治二十三年一月二十八日

大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第四號

北海道廳管下函館國庫金出納所舊都出納支所ヲ舊都郡舊都渡島町へ移ス

明治二十三年一月二十八日

大藏大臣伯爵松方正義

○逓信省告示第十三號

來二月一日ヨリ遠江國豊田郡中泉郵便貯金預所ノ事務ヲ同所中泉郵便局ニ移シ同日ヨリ其事務ヲ繼續取扱ハシム

明治二十三年一月二十八日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

○宮内省告示第七號

昨二十八日午後六時皇女御誕生在ラセラル

明治二十三年一月二十九日

宮内大臣子爵土方久元

○内務省告示第二號

明治二十三年第一回藥劑師試驗舉行地及期日左ノ通相定ム

明治二十三年一月二十九日

内務大臣伯爵山縣有朋

東京府下東京

六月一日

大阪府下大阪

六月一日

○内務省告示第四號

波上宮 沖繩縣那覇若狹町村鎮座

速玉男尊

伊弉册尊

事解男尊

右官幣小社ニ列セラル、旨仰出サル

明治二十三年一月二十九日

内務大臣伯爵山縣有朋

○内務省告示第五號

一多たりや乃花娘 二枚

新潟縣越後國古志郡大字新町村二百八十一番戸丸山盛藏發行

右出版物ハ風俗ヲ壞亂シ、モノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁止ス

明治二十三年一月二十九日

内務大臣伯爵山縣有朋

○逓信省告示第十四號

一帆船伊豆丸検査證書

第三百八十九號 明治二十二年六月十日發給

右ハ新潟縣新潟市磯町通二ノ町南助吉所有帆船伊豆丸へ下付ノ處本船客月十三日後志國瀬棚郡瀬棚村海岸ニ於テ難破ノ際流失ノ旨届出ニ依リ其所在見聞ノ者ハ速ニ管轄廳へ申出可シ

但シ該證書ハ無効ニ屬ス

明治二十三年一月二十九日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

○司法省告示第三號



明治二十二年本省告示第十號中橫濱始審裁判所管内小田原治安裁判所會屋田張所裁判ハ當分不開  
延ノ處明治二十三年ヨリ開廷ス

明治二十三年一月三十一日

司法大臣伯爵山田顯義

○遞信省告示第十五號  
東京兩商船學校規則第一章第四條左ノ通改正ス

明治二十三年二月一日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

東京商船學校規則第一章第四條

本校生徒ハ海軍士官或ハ准士官ノ豫備員トシテ海軍兵籍ニ編入シ海軍一定ノ規則ニ依リ服役ス  
ヘキモノトス

函館商船學校規則第一章第四條

本科生徒ハ海軍豫備員志願者ノミニ限ル而シテ該生徒ハ海軍士官或ハ准士官ノ豫備員トシテ海  
軍兵籍ニ編入シ海軍一定ノ規則ニ依リ服役スヘキモノトス

○遞信省告示第十六號

金貨貯金特別預方ノ儀ハ自今廢止ス

明治二十三年二月一日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第十七號

一帆船玉島丸検査證書

第四百九十四號  
明治二十二年三月十六日發付

右者岡山縣備中國淺口郡玉島村龜山増造所有帆船玉島丸ヘ下付ノ處客年十二月十二日千島國國後  
郡留夜別村字チノミノツニ於テ本船難破ノ節流失候旨届出ニ依リ其所を見聞ノ者ハ速ニ管轄廳ヘ  
申出ヘシ

但該證書ハ無効ニ屬ス

明治二十三年二月一日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○宮内省告示第八號

明治二十三年二月 告示 遞信省第十五號 第十六號 第十七號 宮内省第八號



皇女御名房子ト命セラレ周宮ト稱レ奉ル

明治二十三年二月三日

宮内大臣子爵土方久元

○陸軍省告示第一號

明治二十二年十月當省告示第十七號 士官候補生 幼年學校生 徒志願者心得取扱手續第二十三條へ左ノ但書ヲ追加ス

明治二十三年二月四日

陸軍大臣伯爵大山 巖

但シ下士兵卒ヨリ出身ノ候補生ハ旅費日當金四拾錢ヲ支給ス

○海軍省告示第四號

本年三月水路部ニ於テ使役スヘキ工夫三名徵募ス

明治二十三年二月四日

海軍大臣伯爵西郷從道

○文部省告示第一號

今般第三高等中學校醫學部ニ藥學科ヲ附設シ明治二十年ハ文部省告示第十號高等中學校生徒定員中第三高等中學校ノ頂置科ノ次ニ附設藥學科百人ノ七字ヲ加ヘ計千七百八十八人ト改ム

明治二十三年二月六日

文部大臣子爵榎本武揚

○文部省告示第二號

右ハ畿ニ府立ノ際明治二十二年ハ法律第一號徵兵令第十一條ニ依リ中學校ノ學科程度ト同等以上ノモノト認ムル旨告示レ置ヤタル處今般大阪府市立ト爲シタルニ付更ニ調査ノ上引續キ中學校ノ學科程度ト同等以上ノモノト認ム

明治二十三年二月六日

文部大臣子爵榎本武揚

○逓信省告示第十八號

左ノ逓郵便局名ヲ改稱ス

明治二十三年二月六日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

國郡名

舊稱

改稱

大和國宇陀郡

萩原郵便局

榛原郵便局

同 國廣瀬郡

笠野郵便局

笠尾郵便局

○逓信省告示第十九號

横濱築港工事中東水堤及北水堤築設線ノ相對スル兩極端ヲ標シ其中間ノ航路ヲ示スルニ於テ燈船二艘ヲ碇置シ來ル三月二十日以後毎夜點火ス其位置形質ハ左ノ如シ

一東水堤ノ極端ヲ標示スル燈船ノ位置ハ該端ヨリ東ニ方リ其距離一鏈大低潮時ノ水深五尋ノ處ニシテ該燈船ヲ綠色ニ塗リ橋上ニ綠球ヲ掲ケ夜間ハ不動綠色ノ燈明ヲ點ス但該水堤築設線ハ中村川口ヨリ凡東北ニ距ツル約一鏈ノ處ニ起リ北方ニ向ヒ長サ凡九鏈トス

一北水堤ノ極端ヲ標示スル燈船ノ位置ハ該端ヨリ東ニ方リ其距離一鏈大低潮時ノ水深五尋ノ處ニシテ該燈船ヲ紅色ニ塗リ橋上ニ紅球ヲ掲ケ夜間ハ不動紅色ノ燈明ヲ點ス但該水堤築設線ハ神奈川砲臺ノ東角ヨリ東方ニ距ツル約二鏈ノ處ニ起リ南東ニ向ヒ長サ凡一海里一鏈トス

一兩燈火ハ全度ヲ照輝シ水面ヨリ高サ三丈二尺其光達距離ハ四海里トス

一兩燈船間ノ距離ハ凡一鏈トス

一來ル三月二十日以後該港出入ノ船舶ハ兩燈船中間ノ外通航スヘカラス但水堤ノ極端ニ衝突ヒヤフンカメ入港ノトキハ燈船ヲ經過シタル後凡二鏈ノ間ハ針路ヲ西方ニ取リテ通航シ出港ノトキハ燈船ニ避スル前凡二鏈ノ處ヨリ針路ヲ東方ニ取リテ通航スヘシ



一小船ハ兩水堤ノ内端ト陸地トノ間ヲ出入スルコトヲ得ヘシ  
明治二十三年二月六日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第二十號

今般熊本縣ニ於テ肥後國宇土郡三角港北口ノ西岸ニ燈臺ヲ建設シ不動白色ノ燈明ヲ設ケ明治二十三年三月一日以後毎夜點火ス

一該燈臺ノ位置ハ水路部出版第二百三十七號ノ海圖ニ據レハ北緯三十二度三十七分三十九秒ニシテ東經百三十度二十六分二十三秒ニ當ル

一該燈臺ハ木造四角形白色ニシテ基礎ヨリ燈火マテ高サ一丈四尺ナリ

一該燈火ハ真方位北七十七度五十分西ヨリ北七十度二十分東マテ百四十八度十分間ヲ照輝ス

但右方位ハ燈臺ヨリ測定ス

一該燈火ハ水面ヨリ高サ十二丈九尺其光達距離ハ晴天ノ夜六海里トス

明治二十三年二月六日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○大藏省告示第五號

一金五百万圓 七分利付金祿公債元金

但内金百八拾万圓ハ二十二年度算計豫算ニ據リ償還ノ分

右金額償還ノ爲メ木月中抽籤執行ス

但抽籤ノ都合ニ依リ償還金額ニ多少ノ増減アルヘシ

明治二十三年二月七日

大藏大臣伯爵松方正義

○陸軍省告示第二號

陸軍豫備後備ノ將校同相當官及下士兵卒ニシテ寄留地師管又ハ大隊區ノ兵籍ニ編入ノ者ハ本年五月一日ヲ以テ陸軍豫備後備將校服役條例第一條陸軍豫備後備下士兵卒服役條例第一條ニ依リ本籍所在師管又ハ大隊區ノ兵籍ニ轉セシム但本年五月一日以後引續寄留ノ者ハ本籍ニ於テ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者ヲ定メ師團長又ハ大隊區司令官ニ届出可シ

明治二十三年二月七日

陸軍大臣伯爵大山 巖

○内務省告示第六號

戸隠神社 長野縣信濃國上水内郡戸隠村鎮座

祭神 天手力雄命

右國幣小社ニ列セラレ、旨仰出サル

明治二十三年二月八日

内務大臣伯爵山縣有朋

○大藏省告示第六號

鶴岡第六十七國立銀行ノ備明治二十三年二月十五日山形縣下羽後國飽海郡酒田町大字木町三丁目十二番地ニ支店ヲ設置ス

明治二十三年二月十日

大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第七號

金庫開庫時間ノ備本年四月一日ヨリ左ノ通り相定ム

明治二十三年二月十二日

大藏大臣伯爵松方正義

第一 中央金庫及大阪本金庫

毎年四月一日ヨリ七月十日迄及九月十一日ヨリ翌年三月三十一日迄ハ午前九時ヨリ午後一時迄トス



但土曜日ハ正午十二時限リ閉鎖ス

第一 本倉庫(大阪本倉)及各支倉庫

毎年七月十一日ヨリ九月十日迄ハ午前九時ヨリ正午十二時迄トス  
但土曜日ハ正午十二時限リ閉鎖ス

第二 各倉庫派員

毎年七月十一日ヨリ九月十日迄ハ午前八時ヨリ正午十二時迄トス  
右ハ總テ前各項ノ時間ニ據ルモノトス

○遞信省告示第二十一號

常陸國西茨城郡羽黒郵便局ヲ本月十六日ヨリ同國同郡西那珂村大字岩瀬ニ移レ岩瀬郵便局ト改稱ス

明治二十三年二月十二日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

○遞信省告示第二十二號

町村制實施ノ爲メ新ニ分合シタル町村ノ區域ハ郵便局配達受持區域ト同レカラサルモノ數多有之就テハ郵便物ノ表背宛名人ノ住所ニ新町村名ト番地ノミ記載スルトキハ其地ニ就クニアラサレハ甲乙郵便局中孰レノ受持區ニ屬スヘキカヲ豫知スル能ハヌ取扱上手數ヲ重キ自然到達遲延ヲ生スルモノアリ依テ郵便物差出人ニ於テハ一層注意ヲ加ヘ當分ノ中新町村名ト番地ノ外必ス其大字ナル舊町村名ヲモ記載スヘシ

明治二十三年二月十二日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

○內務省告示第七號

藥劑師試驗受験人心得左ノ通相定ム

明治二十三年二月十四日

內務大臣伯耆山縣有朋

藥劑師試驗受験人心得

第一條 藥劑師試驗ハ當省ヨリ告示シタル試驗舉行地ノ中各自便宜ノ地ニ於テ之ヲ受クルコトヲ得ヘシ

第二條 藥劑師試験ヲ受ケント欲スルモノハ明治二十二年三月內務省令第三號藥劑師試験規則第四條ニ據リ左記書式ノ願書ヲ居住ノ地方廳ヘ差出スヘシ

第三條 藥劑師試験願書ハ許可ノ指令ヲ付セサルニ付該出願者ハ試験舉行ノ期日四日前ニ受験地ニ到着シ宿所氏名ヲ其地方廳ニ届出ヘシ

願書式

住所(寄附ナレハ本籍ヲ併記スヘシ)

氏名

生年月日

右

氏名印

市長(三府ハ所長)若クハ町村長(市町村副市長)兼シタル地方(市長)

氏名印

內務大臣宛

明治二十三年二月 告示 內務省第七號



○海軍省告示第五號

海軍各屬ニ對シ物品ヲ供給セントスル者及各屬ヨリ物品ヲ拂受ケントスル者ハ左ノ規則ニ從フ可

明治二十三年二月十四日

海軍大臣伯耆西郷從道

物品購買賣却規則

第一章 總則

第一條 鎮守府其他各屬ニ於テハ購買セントスル物品ノ標本、雛形、設計圖若クハ製造方法書ヲ定メ且之ニ番號若クハ記號ヲ附シ置クモノトス

物品供給ノ競争ニ加ハラントシ若クハ契約ヲ結ハントスル者ハ前項ノ標本雛形等ヲ熟覽スヘシ又供證ノ爲メ其記號若クハ番號ヲ契約書ニ記入スルコトヲ得

標本雛形等ハ各屬ニ於テ差支ナキトキニ限り請負人ノ請求ニ因リ日數ヲ限り貸與スルコトヲ得貸與中破損亡失スルトキハ該請負人其損失ヲ補償ス可シ

第二條 賣却ニ付スヘキ物品ハ各屬便宜ノ場所ニ於テ拂下ノ競争ニ加ハラントスル者若クハ契約ヲ結ハントスル者ヲシテ熟覽セシムルモノトス

第三條 物品供給ノ競争ニ加ハラントスル者若クハ契約ヲ結ハントスル者二年以來其物品供給ニ從事シタルコトヲ證明スルニハ會計規則第百六十九條製造所商會等ニシテ官許ニ係ルモノハ其指令若クハ許可狀ノ寫問屋仲買人等ハ其取締等ノ與書シタル證明書取締等ヲ置カサル商業人ニアラズテハ市長村長又ハ區長ノ與書シタル證明書ヲ出ス可シ

第四條 物品供給ノ競争ニ加ハラントスル者ノ入札保證金ハ見積代金ノ百分ノ五以上物品供給ノ契約ヲ結ハントスル者ノ契約保證金ハ代金ノ百分ノ十以上會計規則各屬ニ於テ定ムル所ニ據リ

納ム可シ

物品拂下ノ競争ニ加ハラントスル者及契約ヲ結ハントスル者ハ各屬ニ於テ定ムル所ニ依リ入札保證金契約保證金ヲ納ム可シ

競争入札ノ場合ニ於テハ揭示若クハ公告會計規則第百七十三條ノトキ入札保證金額及契約保證金ノ金高若クハ割合ヲ告知ス可シ

隨意契約ノ保證金額ハ主務官ト請負人ト協議決定スル所ニ依ル但場合ニ依リ保證金ヲ免除スルコトアル可シ

第五條 現金ヲ以テ保證金ヲ納ムルトキハ通貨銀行紙幣兌換銀行券日本銀行正金銀行國立銀行預券等ノ内ヲ以テス可シ但銀行ノ預券ニハ保證金トシテ海軍某屬ニ納ムル旨ヲ明記シタルモノニ限ル

第六條 公債證書ヲ以テ保證金ヲ納ムルトキハ大藏省ニ於テ定ムル所ノ價格ニ據リ書入證書ヲ添付ス可シ但利札ハ拂渡期日前ニ下附ス

第七條 入札保證金ハ入札人開札ノ日之ヲ持參シ掛官ニ出ス可シ契約保證金ハ請負人結約ノ日之ヲ納入ス可シ

第八條 入札保證金ハ落札者契約ヲ結ハサルトキハ官ノ所得トシ會計規則第百七十一條落札ナラサル者ニハ即時還附ス

第九條 契約保證金ハ請負人契約ノ義務ヲ果サハルトキ及契約書ニ掲クル處分法ニ依リ全額若クハ幾分ヲ官ノ所得トス但天災其他防制ス可カラサル事故アリテ契約ヲ果サハルトキハ共事由ヲ調査シ實際巴ムヲ得スト認定スルトキハ還附スルコトアル可シ

第十條 契約書ニハ製式、種類、數額、價格、物品受渡期限、保證金額、保證金處分法、物品ヲ交付スヘキ



場所 受渡ノ際施行スヘキ試驗法アルモノハ其方法其他必要ノ條件ヲ遺漏ナク掲載シ且契約書

ニ明文アルモノ、外總テ此規則ニ從フ旨ヲ明記ス可シ會計規則 第八十條

第十一條 契約書ニハ鎮守府ニ在テハ主務部長他各廳ニ在テハ廳長署名捺印スルモノトス

契約書ハ二本ヲ作り請負人拂受人ヲレテ捺印セシメ又證人アルモノハ證人ヲレテ捺印セシメ一本ハ官ニ止メ一本ハ本人ニ下附スルモノトス

豫定價格五百圓未滿ノ隨意契約ニ於テ契約書ヲ用ヒサルトキ會計規則 第八十二條ハ主務課長若クハ主任

官代用書類ニ調印シ請負人ヲレテ署名捺印セシムルモノトス

第十二條 期限ヲ定メ期限内隨時物品供給ノ契約ヲ結ビタル者非常急遽ノ際注文ヲ受クルモ供給ニ應スルコト能ハサル場合ニ於テハ其需要高ヲ他人ニ注文レ既定ノ請負高ヲ減額スルコトアル可シ

第十三條 請負人死亡シ又ハ身代限トナルトキハ相續人又保證人アルモノハ其保證人ニ於テ契約履行ノ責ニ任ス可シ但官ニ於テ其相續人又ハ保證人ニ於テ契約ヲ履行シ難シト認ムルトキハ其契約ヲ解クコトアル可シ

第二章 競争契約

第十四條 競争入札ノ公告會計規則 第七十三條ニハ購買賣部スヘキ物品ノ種類數量保證金額受渡場所受渡期限開札時日其他必要ノ事項ヲ掲グルモノトス

第十五條 競争入札ニ付スル物品ニシテ單價ノ見替價額ヲ要スルモノハ其旨ヲ入札公告ニ記載スルモノトス

第十六條 入札書ニハ入札者ノ職業住所ヲ記載ス可シ入札者會社ナルトキハ其社長又ハ代理人ノ住所姓名ヲ記載ス可シ他人ノ代理トシテ入札スルトキハ委任狀ヲ添附ス可シ又二年以來其商業

ニ從事シタルコトノ證明書其他必要ノ書類ヲ添附ス可シ

第十七條 入札人ハ入札前此規則及契約書案其他標本等アルモノハ其標本等ヲ熟知シタルモノトシ開札後ニ至リ故障ヲ陳フルコトヲ許サス

第十八條 入札書ハ開札ノ日掛官ニ出ス可シ

第十九條 開札ハ鎮守府ニ於テハ主務部長各廳ニ於テハ各廳長主務課長又ハ購買主任官立會ノ上入札書ヲ開封シ要件ヲ朗讀シ購買ハ最低金額賣部ハ最高金額ノ入札人ヲ以テ落札人ト定ム但入札保證金ヲ出サ、ルモノハ入札書ハ開封セシテ卻下ス又入札書共式ニ違ヒ若クハ相當ノ證明書類ヲ出サ、ルモノハ直ニ卻下スルモノトス

第二十條 入札金額一モ豫定價格ノ制限ニ違ヒス再入札ヲ爲サシムルハ會計規則 第七十七條即日同所ニ於テ之ヲ行フ再入札ノ金額仍ホ一モ該制限ニ違ヒサルトキハ其入札ヲ取消スモノトス

第二十一條 同價ノ入札者ヲレテ再入札セシムルコト及抽籤ヲ以テ落札人ヲ定ムルコト會計規則 第七十八條モ亦即日同所ニ於テ之ヲ行フ

第二十二條 入札書ノ見替價格ヲ定ムルニ單價ヲ用ヒ其合計金額ヲ入札金額トナスニ當リ其單價ヲ計算シ總額ニ誤謬アルトキハ其改正ヲ許スト雖モ單價ノ改正ハ之ヲ許可セズ

第二十三條 開札場所ニ於テ見替價格ノ單價ヲ計算スルニ時間ヲ要シ即時落札人ヲ定ムルコト能ハサルトキハ開札時刻後二十四時間以内ニ其單價ヲ精算シ其次日ニ於テ落札人ヲ定ム

第三章 隨意契約

第二十四條 隨意契約ハ鎮守府ニ於テハ主務部長各廳ニ於テハ其廳長ト其契約ヲ結ハントスル請負人トノ間ニ協議シ決定後金額一萬圓未滿ハ十日以内一萬圓以上ハ二十日以内ニ請負人ニ通知シ保證金ヲ納メシメ契約書ニ調印セシム但時宜ニ依リ其延期ヲ要スルトキハ速ニ請負人ニ通知



スルモノトス

第二十五條 隨意契約ヲ結ハントスル請負人前條ノ期日以内ニ確定ノ通牒ヲ得ヌ若シハ確定延期ノ通牒ヲ得タルトキハ其結約ヲ辭スルコトヲ得

第四章 購買物品領收

第二十六條 鎮守府及各屬ニ於テハ検査委員ヲシテ供給物品ノ品質寸尺重量等ノ検査ヲ行ヒ其納入ノ可否ヲ決定セシム

第二十七條 物品供給ノ請負人受渡場所ニ於テ物品ヲ納附スルニハ物品ノ量額單價總價及受渡時日ヲ記載セル納附書ヲ作り検査委員ノ調印ヲ得テ之ヲ物品出納主任ニ交付ス可シ領收書マテノ雜費ハ總テ請負人ニ於テ負擔ス可シ

第二十八條 物品出納主任ニ於テ領收シタル物品ト第二十七條ノ納書ト其數量相合ハサルヲ見出レタルトキハ其事故ヲ之ニ加書シ請負人ニ交附ス該請負人ハ訂正ノ後更ニ検査委員ノ調印ヲ受ケ之ヲ出ス可シ

第二十九條 物品供給ノ請負人ニ於テ物品受渡期日ノ延期ヲ請求セントスルトキハ其期日ヨリ少クシテ三日以前ニ納付ノ日ヨリ三日以内ニ契約書ニ署名シタル主務部長若シハ廳長ニ宛テ理由ヲ詳述シタル願書ヲ出ス可シ

第三十條 供給物品ハ成ルルハク製造所其他供給者ノ記號ヲ附シ若シ物品ニ依リ其記號ヲ附スルコト能ハサルトキハ其外箱若シハ包布ニ之ヲ明記ス可シ

第三十一條 物品領收以前ニ其納入スヘキ物品ノ性質變シ若シハ量額減耗スルコトアルトキハ如何ナル場合ニ於テモ官其實ニ任セサルモノトス

第三十二條 検査委員ニ於テ物品ノ検査ヲ行フニハ契約書ニ明記セル試験法ヲ遵守スルモノトス

若シ契約書ニ其方法ヲ記載セヌ又ハ契約書ヲ用ヒサル供給物品ハ其用途ヲ考量シ適宜ノ試験ヲ行フモノトス此場合ニ於テハ試験法ニ對シ請負人異議ヲ陳フルコトヲ得ス

標本雛形等ト契約書ノ記載事項相合ハサルコトアルトキハ契約書ヲ以テ有効ト爲ス

第三十三條 検査委員ニ於テ物品ノ検査ヲ行フトキハ受渡期限前其時日ヲ請負人ニ告知シ其検査ニ立會ハレム該請負人其告知ヲ受ケルモ其検査ニ立會ハサルトキハ異日請負人ニ於テ検査委員ノ決定スル所ニ對シ異議ヲ陳フルコトヲ得ス

第三十四條 検査委員ニ於テ物品不合格ト認定シ其納入ヲ排卻スルトキ其金額五百圓以上ノ物品ナレハ調書ヲ作り之ヲ請負人ニ下附ス該請負人其決定ニ承服セサルトキハ三日以内ニ主務課長若シハ購買主任官ヲ經由シ鎮守府司令長官若シハ廳長ニ不服ノ事由ヲ申出ツルコトヲ得但し其検査ニ立會ハサルトキハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第三十五條 検査委員ニ於テ物品不合格ト認定スルモ請負人ニ於テ修繕又ハ改良ヲ加フレハ其用ニ適シ領收シ得ヘント思考スルトキハ鎮守府ニ在リテハ司令長官各屬ニ在リテハ廳長其採否ヲ決シ且其修復期日等ヲ定ム但修復若シハ改良ヲ加ヘタル物品ハ更ニ検査委員ニ於テ其検査ヲ行フモノトス

第三十六條 請負人一旦改良若シハ修復ヲ加ヘタル物品ヲ納入セントシ再ヒ其納入ヲ排卻セラレルトキハ再ヒ之ニ修復等ヲ加ヘ納入スルコトヲ許サヌ若シ之ヲ納入セント試ムル者アルトキハ直ニ其契約ヲ解キ契約保證金ヲ官ノ所得トス

第三十七條 排卻シタル物品ニハ其排卻セラレタルコトヲ證スル爲メ符號ヲ附スルコトヲ契約書中ニ記載アルトキハ成ルルヘク商品ノ損害ヲナサハル符號ヲ定メ請負人ニ其時日ヲ告知シ其立會ヲ得テ之ヲ附スルモノトス但請負人ニ於テ検査委員ノ決定ニ對シ異議ヲ申立テタルコトアルト



ヤハ其決了ノ日マテ記號ヲ附スルコトヲ延期スルモノトス

第三十八條 検査委員ニ於テ物品ノ納入ヲ排卻シ其符號ヲ附スルニ當リ其事故ヲ法重量等ノ不足ニ止リ物品ノ品質粗悪ナルニ非サレハ請負人ノ願ニ依リ其記號ヲ附セサルコトアル可シ

第三十九條 物品供給ノ請負人物品ノ不合格ヲ以テ排卻セラレ契約書ニ記載スル日限内若クハ之ヲ搬移スハキ告知ヲ得タル日限内ニ搬移セサルトキハ其延滞一日毎ニ其物品ノ價格二百分ノ一ニ相當スル金額ヲ徴收ス可シ若シ其日限内ニ搬移セス都合ニ依リ官ニ於テ之ヲ場外ニ搬移シタルトキハ其費用ヲ該請負人ニ要求スルコトアル可シ

第四十條 契約書ニ依リ供給物品ノ積卸其他運搬費用ヲ官ニ於テ負擔スヘキトキ該物品不合格ニシテ其納入ヲ排卻スルトキハ其排卻シタル物品數量ノ割ニ隨ヒ該請負人其費用ヲ辨償ス可シ但物品ノ検査ニ係ル費用ハ辨償スルヲ要セス

第四十一條 物品供給ノ契約書中物品ノ納入ヲ排卻セラレタルトキ更ニ代品ヲ納入スルコトヲ結約シ若クハ契約書ニ明文アラサルモ司令長官若クハ廳長ニ於テ其代品納入ヲ許可シタルトキハ検査委員ニ於テ契約書ニ明文アルニ非サレハ更ニ期限ヲ定メ其期限内ニ納入セシム若シ其代品不合格ニシテ再排卻スルトキハ契約保證金ヲ官ノ所得トシ特別ノ場合アルニ非サレハ更ニ又代品ノ納入ヲ許可セス

第四十二條 検査委員ニ於テ納入ヲ排卻シタル物品ハ減價ヲ以テ納入スルヲ請フモ之ヲ許サハルヲ例トス但非常急遽ノ際其納入ヲ許可スルヲ便宜トスルトキハ之ヲ許スコトアルヘシ此場合ニ於テハ鎮守府司令長官若クハ廳長検査委員ヲシテ其相當代價ヲ見積ラシメ該請負人ニ協議ノ後購入スルモノトス

第四十三條 物品ノ供給ニ於テ風袋ノ重量ハ別ニ契約書ニ明文アルニ非サレハ検査委員ノ定ムル

所ニ依ル又物品ノ外箱細包等ハ官ノ所得トス

第四十四條 検査ニ供用シタル物品ハ検査委員ニ於テ該物品全部ヲ排卻スルトキト雖モ請負人ニ之ヲ補償セス但検査ニ供用スヘキ物品ノ量額ハ検査委員ノ定ムル所ニ依ル又検査後殘物アルトキハ溶解シタルモノ其他官有物品ニ因著シタル部分ヲ除クノ外請負人ノ請求アルトキハ返卻スルモノトス

第四十五條 供給物品運搬ノ不便其他特別ノ事故ニ由リ生産地ニ就キ領收スルヲ便宜トスルトキハ生産地ニ於テ該物品ヲ領收スルコトアル可シ

第四十六條 生産地ニ於テ物品ヲ領收スルトキハ領收官吏ニ於テ其検査ヲ行ヒ領收スルモノトス若シ検査器械ノ不足等ニ因リ充分ノ検査ヲ行フコト能ハサルトキハ假検査ヲ行ヒ使用地ニ於テ更ニ其検査ヲ行フモノトス

第四十七條 前條ニ依リ使用地ニ於テ再ヒ物品検査ヲ行フトキハ該検査ヲ終了スルマテ該請負人ニ於テ物品ノ合格不合格ニ對シ其責ニ任スルモノトス

第四十八條 生産地ニ於テ領收スル物品ハ別ニ特約アルニ非サレハ使用地マテ運搬中ニ起ル耗損變質其他ノ事項ハ總テ請負人ニ於テ其責ニ任スルモノトス

第五章 物品供給請負人物品拂受人契約履行ニ關スル諸則

第四十九條 非常若クハ急遽ノ場合ヲ除クノ外契約書又ハ注文書ニ記載スル期限後二十日以内ニ物品ヲ納入スルヲ請フトキハ司令長官若クハ廳長ニ於テ其納入ヲ許否スルモノトス

第五十條 物品供給ノ請負人ハ契約書若クハ注文書ニ於テ規定シタル日限内ニ其納入ヲ許可シタルトキハ其翌日ヨリ起算シ延滞日數中一日コトニ物品價格ノ二百分一ニ相當スル金額ヲ納



メシムルモノトス

第五十一條 物品ノ供給天災其他防制ス可ラサル事故ニ因リ物品納入ノ期限ヲ後ル、トキハ該請負人其事故ヲ證明スヘキ書類ヲ添ヘ主務課長若クハ購買主任官ニ速ニ之ヲ告知ス可シ

第五十二條 物品ノ供給天災其他防制ス可ラサル事故ニ由リ其納入ノ期限ヲ後ル、トキハ其事情ト需要ノ緩急ヲ酌量シ更ニ期限ヲ定メテ之ヲ納入セシメ別ニ延滞ニ對シ金額ヲ徴收セス但天災其他事故ノ其納入期限ヲ延期セシムルニ足ルヤ否ヤハ鎮守府ニ於テハ主務部長各屬ニ於テハ廳長ノ決定スル所ニ依ル

第五十三條 非常急遽ノ際至急供給ヲ要スル物品アルトキ既ニ同種ノ物品隨時供給ヲ請負ヒタル者アレハ納入期限ヲ定メ其事故ヲ告知スルモノトス該請負人直ニ其請書ヲ提出セス若クハ期限内ニ之ヲ納入セサルトキハ鎮守府司令長官若クハ廳長該物品ヲ他人ヨリ供給セシムルコトヲ得但請負人ニ於テ請書ヲ出シタル後期限内ニ物品ヲ納入セサルトキハ其請書ヲ出シタル日ヨリ其期限マテ一日コトニ物品ノ價格百分之二ニ相當スル金額ヲ納メシム

第五十四條 物品供給ノ請負人ニ其期限ノ延期ヲ許シタル後天災其他防制ス可ラサル事故アルニ非スレテ其期限内ニ再ヒ其納入ヲ怠ルトキハ延滞日數一日コトニ物品ノ價格百分之二ニ相當スル金額ヲ納メシメ保證金ヲ官ノ所得トシ且契約ヲ解クモノトス

第五十五條 數期ニ分チ物品ヲ納入スヘキ契約書ニ於テ其納入スル物品毎大粗悪等ニシテ其過半ヲ排除スルニ至ルトキハ保證金ヲ官ノ所得トシ其契約ヲ解クモノトス

第五十六條 物品領收ノ際甲屬ニ於テ排除セラレタル物品ヲ乙屬ニ供給セントシ若クハ外箱又ハ包布等ヲ以テ物品ノ粗悪ヲ隠蔽セントシ若クハ物品ノ性質重量ヲ變改スヘキ異質ノ物品ヲ混入スル等物品ノ性質重量等ニ對シ詐偽ヲ行ハントスルトキハ直ニ契約ヲ解キ保證金ヲ官ノ所得ト

ス仍ホ損害アルトキハ其賠償ヲ要求スルコトアル可シ

第五十七條 物品ノ供給ニ於テ其期ヲ違フコトナク常ニ良好ノ物品ヲ納入スル等其契約履行ニ於テ聊カ不都合ナキトキハ更ニ其契約ヲ繼續スルコトアル可シ但其價格ハ從前ノ契約ニ超過スルコトナキモノトス

第五十八條 物品供給ノ請負人ニ於テ前條ニ依リ契約ヲ繼續セント欲スルトキハ主務課長若クハ購買主任官ニ願出シ可シ

第五十九條 物品拂下人期日内ニ代價ヲ納入セサルトキハ保證金ヲ官ノ所得トシ契約ヲ解クモノトス數期ニ分チ代價ヲ納入スルノ契約ニシテ既ニ納入セル代金アルトキハ之ニ相當スル物品ヲ交附スルコトアル可シ

○逓信省告示第二十三號

石狩國空知郡瀧川村へ三等郵便局ヲ置キ瀧川郵便局ト稱シ來三月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム  
明治二十三年二月十四日 逓信大臣伯備後藤象二郎

○陸軍省告示第三號

本年四月ヨリ觀音崎下ノ關及對馬へ工兵方面支署ヲ置ク  
明治二十三年二月十五日 陸軍大臣伯備大山巖

○司法省告示第四號

明治二十二年本省告示第十五號出張裁判開廷場所管轄區域及期日表中宇都宮始審裁判所ノ部眞岡ヨリ太田原ニ至ルノ欄左ノ通追加改正ス  
明治二十三年二月十七日 司法大臣伯備山田源藏



字		實		實	
實	實	實	實	實	實
茂木	從前	茂木	從前	七月	八月
船母井	船母井出船所管内一箇	船母井	從前	七月	各一箇月間
矢板	矢板出船所管内一箇	矢板	從前	七月	各二箇月間
喜連川	從前	喜連川	從前	八月	各一箇月間
船生	船生出船所管内一箇	船生	從前	八月	各一箇月間
太田原	從前	太田原	從前	八月	各一箇月間

○遞信省告示第二十四號

一西洋形帆船新羅阿寒丸免狀

第五百二十號

明治二十年四月二十七日登載

右ハ渡島國函館區西濱町三十三番地飯田重助所有ノ處明治二十二年十二月二十四日千島國後郡留夜別村字ノソノ沖ニ於テ本船難破ノ際流失セシ旨届出タルニ依リ其所在見聞ノ者ハ速ニ管轄廳ハ申出ハン但該免狀ハ無効ニ屬ス

明治二十三年二月十八日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第二十五號

海軍艦船ハ左ノ通り信號符字ヲ點附ス但明治十九年第八號告示繼續中第一回潛ハ館山ト改稱シ又東電電五卷千代田形鑿敏新龍鑿津畝傍富士山消輝ノ十艦ハ海軍艦船ヲ除却ス

明治二十三年二月十八日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

信號符字	艦名	信號符字	艦名
QQDL	館山 Tate-yama.	QQDW	八咫山 Ya-yama.

QQDM	滿珠 Man-ju.	QQVB	嚴島 Ienko-shima.
QQDN	千尋 Kan-ju.	QQFC	松島 Matsu-shima.
QQDP	小笠 Kataka.	QQFD	橋立 Hashi-date.
QQDR	第一號天 Dai-ichi-Shin-ten.	QQFH	千代田 Chi-ya-da.
QQDS	第二號天 Dai-ni-Shin-ten.	QQFJ	秋津洲 Aki-tsu-shima.
QQDT	第三號天 Dai-san-Shin-ten.	QQFK	大島 O-shima.
QQDV	第四號天 Dai-shi-Shin-ten.	QQFL	千島 Chi-shima.

○遞信省告示第二十六號

一貨幣封入郵便物取扱見合印鑑

通第三八七號

内國通運會社ヘ下付ノ分

右盜取セラレ候旨届出候條自今該印鑑ハ無効トス

明治二十三年二月二十日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○大藏省告示第八號

八幡第四十七國立銀行備明治二十三年二月二十四日ヲ以テ東京市京橋區和泉町二番地ニ支店ヲ設置ス

明治二十三年二月二十一日

大藏大臣伯爵松方正義

○遞信省告示第二十七號

土佐國香川郡名ノ川郷川口郵便局來三月一日ヨリ同郡大崎村字川井ニ移シ大崎郵便局ト改稱ス

明治二十三年二月二十一日

遞信大臣伯爵後藤象二郎



○遞信省告示第二十八號

一貨幣封入郵便物取扱見合印鑑 通第六九五號

内國通運會社へ下付ノ分

右盜難ニ罹リタル旨届出候條自今該印鑑ハ無効トス

明治二十三年二月二十二日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

○大藏省告示第九號

一起業公債證書額面百五十拾圓

一六分利付金祿公債證書額面五万三千五百圓

一七分利付金祿公債證書額面三拾貳万四千七拾五圓

右ハ二十年三 大藏省告示第二十九號ニ依リ二十一年十二月ヨリ本年一月迄ニ日本銀行ニ於テ整理公債證書ト引換マリ

但整理公債證書額面ニ滿サル端數アルハ當該證書へ合算シテ交換セシモノアルニ由ル

明治二十三年二月二十四日

大藏大臣伯耆松方正義

○大藏省告示第十號

一二十年發行整理公債證書額面貳万九千三百圓

内

七百八拾圓

貳万八千五百貳拾圓

大藏省告示第二十九號ニ  
據リ引換發行ノ分  
當該債還元金代リトシテ  
發行ノ分

一二十一年發行整理公債證書額面九百九拾貳万貳千八百圓

内

五万五千四百拾圓

九百八拾六万七千六百六拾圓

一二十二年發行整理公債證書額面三百三拾壹万千八百圓

内

三拾壹万八千六百拾圓

貳百九拾九万三千百九拾圓

大藏省告示第二十九號ニ  
據リ引換發行ノ分  
當該債還元金代リトシテ  
發行ノ分

右ハ二十一年十二月ヨリ本年一月マテ債主ノ請求セシモノニ對シ發行セリ

明治二十三年二月二十四日

大藏大臣伯耆松方正義

○遞信省告示第二十九號

三河國碧海郡西端郵便局本月二十八日限り相廢ス

明治二十三年二月二十五日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

○遞信省告示第三十號

三河國碧海郡北大濱村大字北大濱ニ三等郵便局ヲ置キ北大濱郵便局ト稱シ來ルニ三月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年二月二十五日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

○遞信省告示第三十一號

來三月一日ヨリ三河國碧海郡西端郵便局貯金事務ヲ同郡北大濱郵便局ニ移シ同日ヨリ其事務ヲ繼續取扱ハシム

明治二十三年二月二十五日

遞信大臣伯耆後藤象二郎



○大藏省告示第十一號

大華寺第八十四國立銀行ノ儲明治二十三年三月一日ヲ以テ本店ヲ東京京橋區南新堀一丁目三番地ニ移轉シ支店ヲ石川縣下江沼郡大華寺町字本町十四番地ニ設置ス

明治二十三年二月二十六日

大藏大臣伯爵松方正義

○遞信省告示第三十二號

本年一月中西洋形船へ左ノ信號符字ヲ懸附ス

明治二十三年二月二十六日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

西洋形船

信號符字	免狀番號	船名	種類	定勢場	船主氏名
H G W F	一六七・1167	徳川丸	汽	六	福永正七
		Tokugawa Maru	汽	六	福永正七

○遞信省告示第三十三號

續岐國那珂郡琴平鐵道停車場電信取扱所ニ於テ來三月一日ヨリ公衆通信取扱ヲ開始ス其通信取扱時限ハ明治二十二年十一月一號遞信省告示第二百十四號電報受付時限ニ依リ該取扱所ニ於テハ別便配達ヲ取扱ヒ及琴平村五條村榎井村内ニ宛タル電報ハ直ニ配達ヲナス

但當分ノ内歐字及距離比距離數字ヲ記入シタル和文電報、歐文電報、萬國電信條約書ニ依リ取扱フハキ電報ハ取扱ハス

明治二十三年二月二十七日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第三十四號

陸前國名取郡馬場郵便局ヲ來三月十六日ヨリ同國同郡秋保村ニ移シ秋保郵便局ト改稱ス

明治二十三年二月二十八日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○第三回内國勸業博覽會事務局告示第十一號

第三回内國勸業博覽會規則第五章第四十三條へ左ノ但書ヲ追加ス

明治二十三年二月二十八日

第三回内國勸業博覽會副總裁岩村通俊

但一人ニテ各部又ハ各類ニ出品セシ者其出品各段等ニシテ同種ノ褒賞數箇ヲ受ケタル者ハ證狀ハ數枚ヲ授與スルモ賞牌ハ一箇ヲ授與ス

○第三回内國勸業博覽會事務局告示第十二號

第三回内國勸業博覽會規則第四十五條中、七月一日「トナルヲ」七月十一日「ト改ム

明治二十三年二月二十八日

第三回内國勸業博覽會副總裁岩村通俊



○大藏省告示第十二號

本年四月一日ヨリ六月三十日迄輸入從價稅品元價ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣日本銀貨比較表左ノ通之ヲ定ム

但外國銀貨ト日本銀貨トノ比較ハ從前ノ通

明治二十三年三月一日

大藏大臣 伯耆松方正義

外國貨幣日本銀貨比較表

外國貨幣		日本銀貨
英 官 利	一ギン ト	六・三〇六
獨 逸	一マ ー ク	三〇九
北米合衆國	一ドル ラル	一・二九七
佛 國	一フ ラ ン ク	二五〇
瑞 士	一フ ラ ン ク	二五〇
白 耳 義	一フ ラ ン ク	二五〇
伊 太 利	一リ ラ	二五〇
丁 抹 林	一ク ロ ー ン	三三七
瑞 典	一ク ロ ー ン	三三七
薩 威 威	一ク ロ ー ン	三三七
和 蘭	一ギ ル ド	五二一
西 班 牙	一ピ ー サ	〇六五



番	番	番	番
上	中	下	共
一	一	一	一
三	三	三	三
九	九	九	九
〇	〇	〇	〇
五	五	五	五
七	七	七	七

○遞信省告示第三十五號  
明治二十二年告示第五百一十一號ヲ以テ指定シタル爲替貯金局出張所受持區域中來ル四月一日ヨリ赤間關爲替貯金局出張所受持區内ノ沖繩縣ヲ更ニ大阪爲替貯金局出張所受持區内ヘ編入ス

○遞信省告示第三十六號  
明治二十三年三月五日  
遞信大臣伯備後藤象二郎  
沖繩縣下ニ設立スル郵便局ノ貯金預ケ人等ニシテ貯金ニ關シ差出スヘキ書類ハ來ル四月一日ヨリ總テ大阪爲替貯金局出張所受持區内ヘ差出スヘシ

○宮内省告示第九號  
明治二十三年三月七日  
遞信大臣伯備後藤象二郎  
來ル二十八日 御發號第三節管下ニ於テ陸海軍聯合大演習御施行ヲ京都ヘ行幸 仰出サル 宮内大臣子爵土方久元

○遞信省告示第三十七號  
安藝國佐伯郡玖島村ニ三等郵便局ヲ置キ玖島郵便局ト稱シ來四月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム  
明治二十三年三月七日  
遞信大臣伯備後藤象二郎

○遞信省告示第三十八號  
安藝國佐伯郡友田郵便局來三月三十一日限り相廢ス  
明治二十三年三月七日  
遞信大臣伯備後藤象二郎

○遞信省告示第三十九號  
武藏國橋本郡溝ノ口始メ左ノ郵便局ヘ郵便爲替事務ヲ開施シ來ル四月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム  
但當分ノ内小爲替振出事務ヲ取扱ハス  
明治二十三年三月七日  
遞信大臣伯備後藤象二郎

武藏國橋本郡溝ノ口郵便局	武藏國橋本郡保土ヶ谷郵便局	武藏國北多摩郡上石原郵便局
武藏國北多摩郡田無郵便局	武藏國西多摩郡五日市郵便局	武藏國都筑郡川和郵便局
相模國足柄下郡吉濱郵便局	相模國足柄下郡國府津郵便局	相模國足柄下郡湯本郵便局
相模國愛甲郡田代郵便局	相模國高座郡茅ヶ崎郵便局	相模國高座郡上溝郵便局
相模國鎌倉郡鎌倉郵便局	相模國足柄上郡松田郵便局	相模國足柄上郡關本郵便局
駿河國津原郡岩淵郵便局	駿河國志太郡宗高郵便局	駿河國志太郡岡部郵便局
駿河國益津郡城ノ腰郵便局	駿河國志太郡堀ノ内郵便局	駿河國安倍郡落合郵便局
遠江國榛原郡上長尾郵便局	遠江國榛原郡川尻郵便局	遠江國榛原郡千頭郵便局
遠江國山名郡福田郵便局	遠江國豐田郡中野町郵便局	遠江國豐田郡西波郵便局
遠江國豐田郡横山郵便局	遠江國周知郡犬居郵便局	遠江國城東郡池新田郵便局
遠江國山名郡袋井郵便局	遠江國引佐郡奥山郵便局	遠江國敷智郡新居郵便局
遠江國敷智郡堀江郵便局	遠江國敷智郡三ヶ日郵便局	伊豆國賀茂郡加納郵便局
伊豆國賀茂郡子浦郵便局	伊豆國賀茂郡稻取郵便局	伊豆國君澤郡戸田郵便局
伊豆國君澤郡修善寺郵便局	伊豆國田方郡湯ヶ島郵便局	上野國西澤馬郡下室田郵便局



上野國西群馬郡金古郵便局 上野國新田郡木町郵便局 上野國邑樂郡小泉郵便局  
 上野國邑樂郡板倉郵便局 上野國碓氷郡横川郵便局 上野國綠野郡新町郵便局  
 上野國綠野郡鬼石郵便局 上野國多胡郡吉井郵便局 上野國吾妻郡布施郵便局  
 下野國河内郡上三川郵便局 下野國上都賀郡口栗野郵便局 下野國上都賀郡草久郵便局  
 下野國下都賀郡富田郵便局 下野國安蘇郡苜生郵便局 下野國那須郡高林郵便局  
 下野國那須郡那須郵便局 下野國那須郡黒磯郵便局 下野國那須郡佐久山郵便局  
 下野國足利郡小俣郵便局 下野國鹽谷郡船生郵便局 下野國那須郡氏家郵便局  
 下野國芳賀郡飯野郵便局 加賀國江沼郡山代郵便局 下野國鹽谷郡氏家郵便局  
 加賀國江沼郡山中郵便局 能登國鹿島郡田鶴濱郵便局 加賀國能美郡別宮郵便局  
 能登國鳳至郡鷲川郵便局 能登國鳳至郡劔地郵便局 能登國羽咋郡子浦郵便局  
 能登國珠洲郡小木郵便局 越前國丹生郡浦生郵便局 能登國鹿島郡二宮郵便局  
 越前國丹生郡大森郵便局 越前國大野郡面谷郵便局 越前國丹生郡梅浦郵便局  
 若狹國三方郡早瀬郵便局 若狹國遠敷郡雉川郵便局 越前國南條郡今庄郵便局  
 陸奥國東津輕郡三厩郵便局 陸奥國東津輕郡登田郵便局 若狹國大飯郡本郷郵便局  
 陸奥國西津輕郡木造郵便局 陸奥國南津輕郡碓ヶ岡郵便局 陸奥國東津輕郡小湊郵便局  
 陸奥國南津輕郡藤崎郵便局 陸奥國三戸郡田子郵便局 陸奥國南津輕郡浪岡郵便局  
 陸奥國下北郡佐井郵便局 陸奥國下北郡脇野澤郵便局 陸奥國上北郡三木木郵便局  
 陸奥國北津輕郡小泊郵便局 陸奥國下北郡大畑郵便局 陸奥國下北郡大畑郵便局

○逓信省告示第四十號  
 伊豆國賀茂郡梨木始々左ノ郵便局ニ於テ郵便爲替及ヒ貯金事務ヲ開施シ來ル四月一日ヨリ其事務

ヲ取扱ハシム  
 但當分ノ内郵便小爲替振出事務ヲ取扱ハス  
 明治二十三年三月七日  
 伊豆國賀茂郡梨木郵便局 上野國南勢多郡花輪郵便局 十勝國十勝郡大津郵便局  
 逓信大臣伯爵後藤象二郎

○第三回内國勸業博覽會事務局告示第十三號  
 第三回内國勸業博覽會開會ノ式典ハ本月二十六日トス  
 但本會開設ノ期日ハ規則第一條ノ通ナルヘシ  
 明治二十三年三月七日  
 第三回内國勸業博覽會副總裁岩村連俊

○宮内省告示第十號  
 皇后陛下來四月四日 御發興京都へ 行啓 仰出サル  
 明治二十三年三月八日  
 宮内大臣子爵土方久元

○司法省告示第五號  
 明治二十二年十月當省告示第十號出張裁判開廷場所管轄區域及期日表中岡山ノ部へ左ノ二欄ヲ加ヘ  
 明治二十三年四月ヨリ施行ス  
 明治二十三年三月八日  
 司法大臣伯爵山田顯義

岡山	味野	味野出張所管轄區域ノ内玉井村	一月三月五月	各十日間
	野	甲浦村大西村外立村上村山田	九月十一月	
		村ヲ除ク外一區		

五島ノ前ニ

明治二十三年三月 官報 第三回内國勸業博覽會事務局第十三號 宮内省第十號 司法省第五號 八三



津山ノ下辻堂ノ次ニ

勝間田 勝間田 勝間田 勝間田 勝間田 勝間田 勝間田 勝間田 勝間田 勝間田  
九 月 十 月 十一 月 十二 月 一 月 二 月 三 月 四 月 五 月 六 月 七 月 八 月 九 月 十 月 十一 月 十二 月

○遞信省告示第四十一號

内外郵便爲替 電信爲替及内地ノ清國上海間ニ施ノ爲替料ハ來ル四月一日ヨリ郵便切手ヲ以テ納ム  
ヘシ其切手ハ左ノ區別ニ從ヒ爲替願書小爲替證書原符及再度爲替證書請求書等ニ貼附スヘシ  
明治二十三年三月八日 遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第四十二號

一 内國通幣爲替電信爲替願書小爲替證書原符再度爲替證書請求書ハ各其裏面  
一 外國爲替願書ハ表面 印刷文字 空白ノ位置  
電信爲替ノ爲替料左ノ通改正シ來ル四月一日ヨリ徴收ス  
但本文施行ノ日ヨリ別ニ電信料ヲ納ムルニ及ハス  
明治二十三年三月八日 遞信大臣伯爵後藤象二郎

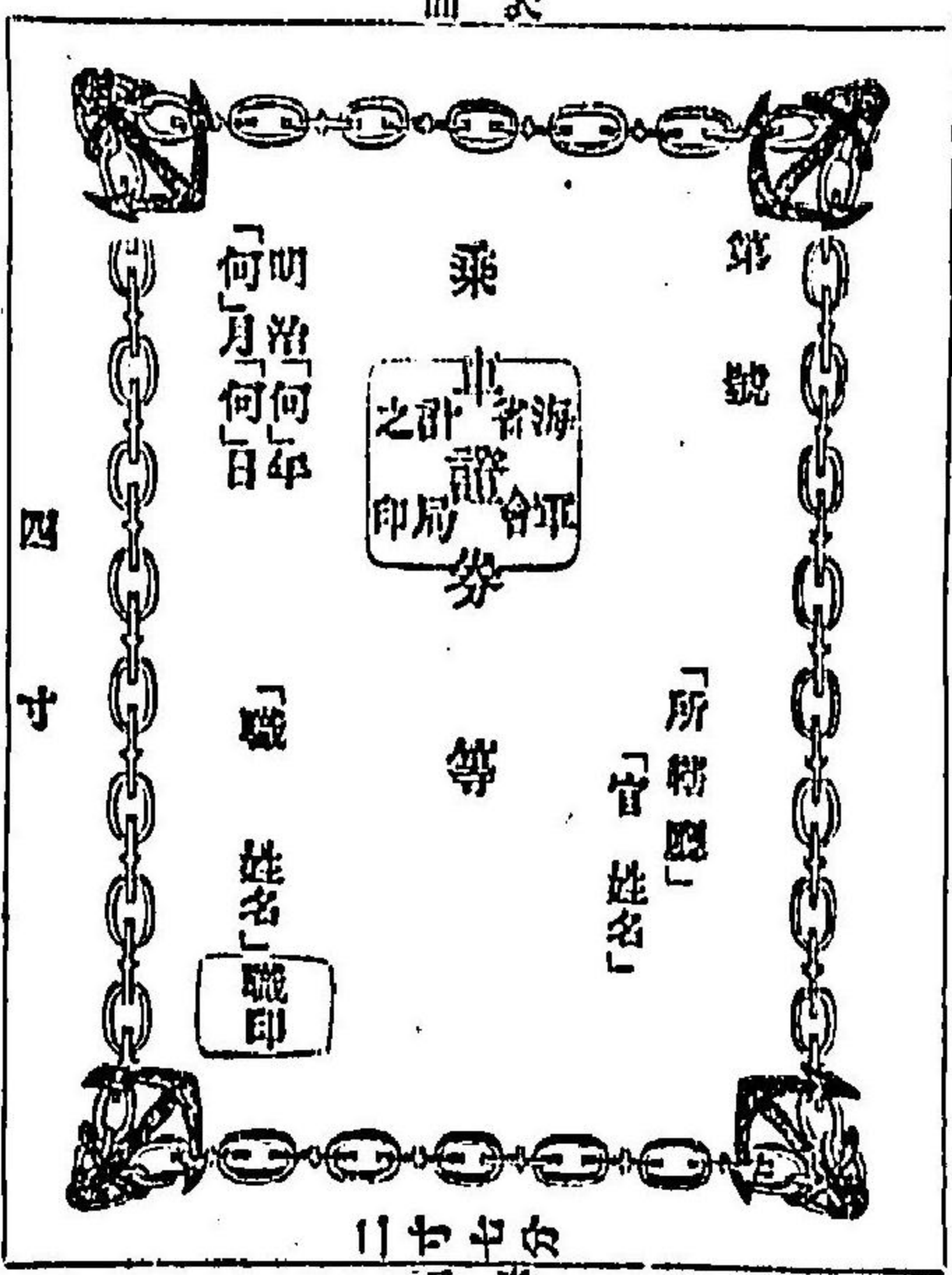
○遞信省告示第四十三號

明治十八年農商務省告示第二十號郵便爲替細則中左ノ通改正來ル四月一日ヨリ施行ス  
明治二十三年三月八日 遞信大臣伯爵後藤象二郎

第五條及第二十三條ノ但書ヲ刪除シ玆ニ第五條第二項中其爲替料及「ノ」五字ヲ刪ル

○海軍省告示第六號

私設鐵道條例第二十一條ニ依リ乘車スル軍人軍屬ニ附與スヘキ乘車證券及搭載スル物品ノ輸送證  
券左ノ通定ム  
明治二十二年三月十日 海軍大臣伯爵西郷從道



此證券ヲ以テ私設鐵道會社ノ汽車ニ乘込  
ム者ハ通常賃金ノ半額ヲ支拂フヲ得ヘシ  
此證券ハ私設鐵道會社ノ各停車場ニ於テ  
乘車切符ヲ買入ルトキ賃金ト共ニ渡ス  
ヘシ  
此證券ハ記名人ノ外効用ナキモノトス  
此證券不用ニ關スルトキハ受取タル郵政  
ハ各地海軍管區又ハ艦隊隊へ還付スヘシ







横濱本金庫所屬横須賀支金庫ノ位置大字横須賀留町ヲ横須賀没入町トス  
岡山本金庫所屬窪谷郡ニ在ル倉敷支金庫ヲ窪谷郡倉敷支金庫トシ英田郡ニ在ル倉敷支金庫ヲ英田郡倉敷支金庫トス

函館本金庫所屬壽都支金庫ノ位置壽都岡崎町ヲ壽都渡島町トス

松江本金庫所屬福井支金庫名ヲ削除シ其出納區域海士知夫兩郡ヲ西郷支金庫ノ區域トス

松山本金庫所屬城邊支金庫名ヲ削除シ其出納區域南宇和郡ヲ宇和島支金庫ノ區域トス

高松本金庫ノ位置香川郡丸龜町ヲ高松市大字丸龜町同本金庫所屬阪出支金庫ノ位置阪出村ヲ阪出町大字阪出村觀音寺支金庫ノ位置觀音寺村ヲ觀音寺町大字觀音寺村長尾西村支金庫ヲ長尾支金庫ト改稱シ其位置長尾西村ヲ長尾村大字長尾西村トス

○陸軍省告示第四號

本年四月廣島縣管下ニ憲兵隊ヲ設ケ其本部ヲ廣島市ニ置ク

明治二十三年三月十一日

陸軍大臣伯爵大山 巖

○陸軍省告示第五號

本年四月熊本縣管下ニ憲兵隊ヲ設ケ其本部ヲ熊本市ニ置ク

明治二十三年三月十一日

陸軍大臣伯爵大山 巖

○逓信省告示第四十四號

駿河國駿東郡獅子濱郵便局來三月三十一日限相廢シ更ニ同郡靜浦村ノ内大字江ノ浦ニ三等郵便局ヲ置キ江ノ浦郵便局ト稱シ來四月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年三月十一日

逓信大臣伯爵藤象二郎

○逓信省告示第四十五號

相模國足柄下郡宮ノ下電信局來四月十六日ヨリ開局ス

但明治二十年六月逓信省告示第百十九號該局ニ係ル開局期限ハ廢止ス

明治二十三年三月十一日

逓信大臣伯爵藤象二郎

○逓信省告示第四十六號

來四月一日ヨリ駿河國駿東郡獅子濱郵便局貯金事務ヲ同郡江ノ浦郵便局ニ移シ同日ヨリ其事務ヲ繼續取扱ハシム

明治二十三年三月十一日

逓信大臣伯爵藤象二郎

○逓信省告示第四十七號

武藏國久良岐郡金澤郵便局へ郵便爲替及貯金事務又並江國榛原郡地頭方郵便局へ郵便爲替事務ヲ開施シ來四月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

但當分ノ内郵便小爲替振出事務ヲ取扱ハス

明治二十三年三月十一日

逓信大臣伯爵藤象二郎

○逓信省告示第四十八號

本月十六日ヨリ攝津國神戸郵便電信局兵庫郵便支局同電信支局ヲ合併シ神戸郵便電信局兵庫支局ト稱シ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年三月十一日

逓信大臣伯爵藤象二郎

○逓信省告示第四十九號

郵便條例第十六條ニ依リ郵便局ノ承認ヲ經テ郵便ニ差出シ得ヘキ鹽種ヲ箱其他相當ノ器物ニ納メ閉緘スルモ其閉緘前ニ現品ヲ郵便電信局郵便局郵便受取所取扱者ニ明示シ其目前ニ於テ之ヲ閉緘



シ差出スモノハ第一種郵便物トナサス第四種郵便物ト認メ取扱フベシ

明治二十三年三月十三日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第五十號

明治二十一年三月告示第二十六號郵便切手賣下人心得來四月一日ヨリ左ノ通改定施行ス

明治二十三年三月十三日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

郵便切手賣下人心得

第一條 郵便切手賣下人ハ其免許ヲ受ケ免許證札賣下所掛札及此心得書ヲ受取リタルトキハ請書

第一號ヲ一等又ハ二等郵便電信局郵便局三等郵便電信局郵便局ニ差出スベシ

第二條 郵便切手賣下人ハ郵便切手 郵便封皮郵便内小同局ヲ郵便ニ差出スベシ

第三條 郵便切手賣下所ハ其免許ヲ受ケタル場所ニ限ルベシ出張所ヲ設ケ之ヲ賣捌キ又ハ行商ヲ

爲メヲ得ス

第四條 郵便切手賣下所ハ衆人ノ見認メ易キ場所ニ一等又ハ二等郵便電信局郵便局ヨリ下渡シタ

ル切手賣下所ノ掛札ヲ掲出スベシ

第五條 郵便切手賣捌方ハ簡便ニシテ可成速ニ需用者ノ請求ニ應スベシ其賣捌時刻ハ少クトモ三

月乃至十月ハ午前五時ヨリ午後十時迄十一月乃至翌年三月ハ午前六時ヨリ午後十時マテハ之ヲ

附絶スルヲ得ス

第六條 郵便切手ハ豫メ日々ノ賣捌高ヲ見積リ缺乏ヲ來タサハル機常ニ相當ノ員數及種類ヲ備置

クベシ

第七條 郵便切手ハ其額面ノ金高ヨリ高價又ハ低價ヲ以テ賣捌クヘカラス又些少メリトモ毀損汚

斑アルカ又ハ醜穢糊稀薄其他切手ノ効用ヲ缺クヘキ患アルモノハ賣捌クヘカラス

第八條 買受ケタル郵便切手汚斑毀損アルカ又ハ醜穢糊稀薄其他切手ノ効用ヲ缺クヘキ患アルモ

ノハ引換ヲ請求スベシ

第九條 賣捌ヲナス郵便切手ハ所轄郵便電信局郵便局ヨリ買受クベシ

第十條 一二等郵便電信局郵便局内郵便切手賣下所ハ同区内郵便受取所ト共ニ中合セ切手類買

受組合ヲ設ケ總代ヲ立テ各所需用ノ切手類ハ其總代ヲシテ買受ヲナサシムベシ

前項組合ハ東京ハ百箇所以上大阪ハ五十箇所以上其他ハ二十五箇所以上ヲ以テ一組合トシ五十

箇所ニ滿タサルモノハ總テ一組合トスベシ

但郵便區市内郵便切手賣下所及郵便受取所三箇所ニ滿タサルモノ及郵便區市外ニアル郵便切

手賣下所及郵便受取所ハ便宜組合ヲ設ケサルモ妨ケナシ

三等郵便電信局郵便局内郵便切手賣下所及郵便受取所多數アリテ三等郵便電信局郵便局ノ事

務上其組合ヲ必要ト認ムルトキハ遞信大臣ハ特ニ命シテ組合ヲ設ケ一二等郵便電信局郵便局區

内ノ例ニ依ラシムルコトアルベシ

第十一條 郵便切手賣下所及郵便受取所ニ於テ組合ヲ設ケ總代ヲ立テタルトキ及之ヲ變更シタル

トキハ連署シ其旨所轄郵便電信局郵便局ニ届出スベシ

第十二條 郵便切手類買受度數ハ一二等郵便電信局区内ニアリテ組合ヲ設ケ總代ヲ立タルモノハ

毎日一回組合ヲ設ケサルモノハ一箇月一回若クハ二回ヲ超ユルヲ得ス

第十三條 切手類買受ノ手續ハ郵便切手賣下所及郵便受取所ニ於テ組合ヲ設ケ總代ヲ立テタルモ

ノハ各自切手類ノ需用アル毎ニ其種類員數ヲ書シ記名捺印シタル需用證ヲ其總代ニ交付シ買受

ヲ求ムベシ總代者ハ其需用高ヲ取纏メ第二號書式ノ切手類買受請求書及第三號書式ノ切手類買

下手數料請求書ヲ作リ代金ト共ニ所轄郵便電信局郵便局ニ差出シ切手類及賣下手數料ヲ受取ル



但總代タル郵便切手買下所又ハ郵便受取所ニ於テ其買下見積高ノ外豫メ餘分ノ切手類ヲ買受ケ組合各所臨時至急ノ需用者ニ立替交付スルモ妨ケナシ

組合ヲ設ケサルモノハ免許鑑札ヲ持參シ第二號書式切手類買受請求書及第三號書式ノ切手類買下手數料請求書ヲ代金ト共ニ差出シ切手類及買下手數料ヲ受取ルヘシ

三等郵便電信局郵便局ニ於テ切手類買受ニ差支フルトキハ買受請求書ニ其局ノ與印ヲ受ケ他ノ三等郵便電信局郵便局ヨリ買受クヘシ此場合ニ於テハ前項免許鑑札持參ニ及ハス

第十四條 郵便切手買下手數料ハ其買下切手高百分ノ五トス

郵便切手買下手數料ハ郵便局ヨリ郵便切手買下ノ都度現金ヲ以テ下渡スヘシ

但三等郵便電信局郵便局ニ於テハ其局ノ便宜ニヨリ郵便切手ヲ以テ下渡スコトアルヘシ

第十五條 郵便切手買下所及郵便受取所ト其總代トノ間ニ係ル切手類代金對賣下手數料金及切手類ノ受授手續並ニ組合ニ關シ要スル費用ノ支辨方等ハ各自ノ協議ヲ以テ之ヲ定ムルモノトス

第十六條 切手買下免許鑑札切手買下所掛札及切手買下人心得書ハ常ニ保存スヘシ若シ水火盜難等ニ罹リ紛失又ハ毀損シタルトキハ一等又ハ二等郵便電信局郵便局三等郵便電信局郵便局ニ届出更ニ其代品ノ下渡ヲ受クヘシ

但毀損ノモノハ所轄郵便電信局郵便局ニ返納スヘシ其代品ノ下渡ヲ受ケタルトキハ請書第四式ヲ同局ニ差出スヘシ

第十七條 買下人轉住改姓名ヲナシタルトキ又ハ買下所ヲ移轉セントスルトキハ一等又ハ二等郵便電信局郵便局三等郵便電信局郵便局ニ届出免許鑑札ノ書換ヲ受クヘシ其書換鑑札ノ下渡ヲ受ケタルトキハ請書第五式ヲ一等又ハ二等郵便電信局郵便局三等郵便電信局郵便局ニ差出スヘシ

但買下所ヲ移轉セントスルトキ共移轉地他ノ一等郵便電信局郵便局監督區ニ屬スルトキハ一等且廢業ノ上其移轉地ニ於テ更ニ免許ヲ受クヘシ

第十八條 買下人自ラ廢業スルカ一等又ハ二等郵便電信局郵便局ヨリ廢業ヲ命セラレタルトキハ免許鑑札及心得書ヲ所轄郵便電信局郵便局ニ返納スヘシ

但買下人自ラ廢業ノトキハ届書ヲ一等又ハ二等郵便電信局郵便局三等郵便電信局郵便局ニ差出スヘシ

第十九條 買下人死亡又ハ逃亡スルカ或ハ廢業スルモ自ラ届出ヲナスコト能ハサルトキハ其家族又ハ親族ニ於テ前條ノ手續ヲナスヘシ

第二十條 買下人廢業ノ時買下切手買戻ヲ請求スルトキハ其原價ノ内ヨリ買下手數料ヲ扣除シタル金額ヲ以テ買戻スヘシ

(第一號書式)

御請書

一 郵便切手買下免許鑑札

一 郵便切手買下所掛札

一 郵便切手買下人心得

右ハ各該郵便切手買下御免許ノ上欄下欄相成正ニ捺受取候也

年月日

道府縣國郡市町村官署  
郵便切手買下人

何 謹 印

何郵便電信局(郵便局)

御中







○内務省告示第八號

一 太平子兵候兵 一册 和歌山縣和歌山市六番町六番地神保之發行

右出版物ハ治安ニ妨害アルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁止ス

明治二十三年三月十四日

内務大臣伯爵山縣有朋

○内務省告示第九號

自今衛生試驗所ニ於テ検査印紙ヲ貼付スルモノハ明治二十二年三月法律第十號藥品營業並藥品取扱規則第二十六條第二十七條ノ藥品トス但第二十七條第二項ノ藥品ハ検査ノ上良品ト認メタルモノニ限ル

明治二十三年三月十四日

内務大臣伯爵山縣有朋

○大藏省告示第十四號

明治十八年六月當省告示第八十八號預金取扱手續中金庫局及國庫金出納所トアルヲ明治二十三年四月一日以降中央金庫及各地金庫ト心得ヘシ

明治二十三年三月十四日

大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第十五號

- 一新公債元金壹萬圓
- 一金札引換公債元金壹萬圓
- 一金札引換無記名公債元金壹萬圓
- 一五分 金祿公債元金壹萬圓
- 一一分 金祿公債元金壹萬圓
- 一六分 金祿公債元金壹萬圓
- 一起業公債元金壹萬圓

一 中山道鐵道公債元金壹萬圓  
右二十三年度歲計豫算ニ據リ償還ノ爲メ來四月中抽籤執行ス  
但抽籤ノ都合ニ依リ償還金額ニ多少ノ増減アルヘシ

明治二十三年三月十四日

大藏大臣伯爵松方正義

○逓信省告示第五十一號

東京郵便電信學校ヲ芝公園内ニ置シ

明治二十三年三月十四日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

○逓信省告示第五十二號

本月二十一日ヨリ信濃國上高井郡須賀郵便局ヲ須賀郵便電信局トシ共事務ヲ取扱ハシム  
但當分ノ内歐文電報數字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス

明治二十三年三月十五日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

○逓信省告示第五十三號

一 乙種二等運轉手免狀 第四百二十六號 明治十八年十一月九日登載  
右ハ石川縣平民栗田忠藏所有ノ處明治二十二年十月日木形船永昇丸へ乗組執職中秋田縣南秋田郡戸賀村海岸ニ於テ本船難破ノ際流失セシ旨届出ニ依リ其所在見聞ノ者ハ速ニ管轄廳へ申出ヘシ但該免狀ハ無効ニ屬ス

明治二十三年三月十五日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

○逓信省告示第五十四號

來ル四月一日ヨリ左ノ郵便電信局名及郵便局名ヲ改稱ス

明治二十三年三月十七日

逓信大臣伯爵後藤象二郎



國郡名	舊稱	改稱
山城國綴喜郡	玉水郵便局	井手郵便局
丹波國船井郡	橋爪郵便局	檜山郵便局
近江國高島郡	市場郵便局	朽木郵便局
近江國栗太郡	橋本郵便局	瀬田郵便局
武藏國南多摩郡	原町田郵便局	町田郵便局
相模國大住郡	曾屋郵便局	桑野郵便局
攝津國八郡郡	下谷上郵便局	谷上郵便局
攝津國八郡郡	東須磨郵便局	須磨郵便局
攝津國有馬郡	湯山郵便電信局	有馬郵便電信局
攝津國川邊郡	多山院郵便局	多田郵便局
播磨國加古郡	東二見郵便局	二見郵便局
播磨國加古郡	西谷新村郵便局	西谷郵便局
播磨國加古郡	寺家町郵便局	加古川郵便局
播磨國加東郡	上瀧野郵便局	瀧野郵便局
播磨國印南郡	志方町郵便局	志方郵便局
播磨國飾東郡	飾津郵便局	飾津郵便局
播磨國神東郡	西田原郵便局	辻川郵便局
播磨國揖東郡	東寄崎郵便局	寄崎郵便局
播磨國赤穂郡	東有年郵便局	有年郵便局

播磨國宍粟郡	三方町郵便局	三方郵便局
播磨國宍粟郡	上三河郵便局	三河郵便局
播磨國宍粟郡	千草郵便局	千種郵便局
但馬國氣多郡	府中新郵便局	府中郵便局
但馬國朝來郡	矢名瀬郵便局	梁瀬郵便局
但馬國美含郡	森木郵便局	市場郵便局
丹波國多紀郡	八上新村郵便局	日置郵便局
丹波國多紀郡	北野新田郵便局	大山郵便局
丹波國氷上郡	柿芝郵便局	成松郵便局
淡路國津名郡	垂井郵便局	江井郵便局
淡路國津名郡	河上郵便局	鮎原郵便局
淡路國三原郡	下灘郵便局	灘郵便局
肥前國杵島郡	柄崎郵便電信局	武雄郵便電信局
肥前國杵島郡	櫻津郵便局	魚目郵便局
波島國茅部郡	尾札部村川波郵便局	川波郵便局
越後國古志郡	中村郵便局	西谷郵便局
越後國東頸城郡	浦田口郵便局	松ノ山郵便局
越後國中魚沼郡	中屋敷郵便局	千手郵便局
越後國中魚沼郡	馬場郵便局	水澤郵便局
越後國北蒲原郡	三門市郵便局	加治郵便局



越後國北蒲原郡	石喜新郵便局	石喜郵便局
越後國北蒲原郡	天王新田郵便局	天王郵便局
越後國南蒲原郡	山王郵便局	帶織郵便局
越後國岩船郡	府屋郵便局	大川谷郵便局
尾張國丹羽郡	學傳郵便局	樂田郵便局
尾張國丹羽郡	稻置郵便局	犬山郵便局
尾張國中島郡	下祖父江郵便局	祖父江郵便局
尾張國海東郡	蟹江木町郵便局	蟹江郵便局
尾張國海西郡	八島新田郵便局	八島郵便局
尾張國知多郡	大符郵便局	大府郵便局
三河國幡豆郡	上橫須賀郵便局	橫須賀郵便局
三河國渥美郡	島村郵便局	島郵便局
三河國北設樂郡	上津具郵便局	津具郵便局
三河國北設樂郡	富山村市原郵便局	市原郵便局
三河國北設樂郡	下黒川村中久名郵便局	中久名郵便局
三河國北設樂郡	東納庫村大平郵便局	大平郵便局
肥後國他田郡	貢村上古閑郵便局	上古閑郵便局
肥後國他田郡	上松尾村百貫石郵便局	百貫石郵便局
肥後國託麻郡	今村砂取郵便局	砂取郵便局
肥後國阿蘇郡	小池野村笹倉郵便局	笹倉郵便局

肥後國阿蘇郡	肥後國阿蘇郡	赤馬場村市ノ原郵便局	市ノ原郵便局
肥後國阿蘇郡	肥後國阿蘇郡	河原村黒岩郵便局	黒岩郵便局
肥後國八代郡	肥後國八代郡	黒川村坊中郵便局	坊中郵便局
陸前國本吉郡	陸前國本吉郡	上宮原郵便局	宮原町郵便局
陸前國本吉郡	陸前國本吉郡	麻崎村柳津郵便局	柳津郵便局
陸前國遠田郡	陸前國遠田郡	御嶽村津谷郵便局	津谷郵便局
陸前國加美郡	陸前國加美郡	瀧谷町郵便局	瀧谷郵便局
陸前國加美郡	陸前國加美郡	小野田本郷郵便局	小野田郵便局
安藝國佐伯郡	安藝國佐伯郡	阪元本郷郵便局	阪元郵便局
安藝國高田郡	安藝國高田郡	和田郵便局	水内郵便局
備後國三次郡	備後國三次郡	仁保島淵崎郵便局	淵崎郵便局
備後國沼隈郡	備後國沼隈郡	上甲立郵便局	甲立郵便局
備後國御調郡	備後國御調郡	羽出庭郵便局	板木郵便局
備後國川上郡	備後國川上郡	上南山郵便局	山南郵便局
下總國千葉郡	下總國千葉郡	江木郵便局	久井郵便局
上總國夷隅郡	上總國夷隅郡	熊牛村標茶郵便局	標茶郵便局
安房國剱夷郡	安房國剱夷郡	野田郵便局	譽田郵便局
常陸國那珂郡	常陸國那珂郡	中野郵便局	西州郵便局
		東江見郵便局	江見郵便局
		石神外宿郵便局	石神郵便局



常陸國久慈郡	小生瀨郵便局	生瀨郵便局
常陸國鹿島郡	波崎郵便局	東下郵便局
下總國豐田郡	木宗道郵便局	宗道郵便局
下總國豐田郡	新石下郵便局	石下郵便局
下野國芳賀郡	谷田貝郵便局	久下田郵便局
下野國鹽谷郡	下鹽原郵便局	鹽原郵便局
下野國上都賀郡	口栗野郵便局	栗野郵便局
下野國河内郡	木吉田郵便局	吉田郵便局
伊勢國度會郡	大内山村間弓郵便局	間弓郵便局
伊勢國一志郡	三渡郵便局	六軒郵便局
伊勢國一志郡	大村郵便局	二木木郵便局
志摩國答志郡	平田郵便局	山田郵便局
甲斐國西八代郡	上ノ郷郵便局	磯部郵便局
甲斐國南巨摩郡	九一色郵便局	上九一色郵便局
甲斐國南巨摩郡	福居郵便局	下山郵便局
甲斐國南都留郡	身延郵便局	大野郵便局
美濃國土岐郡	秋山郵便局	濱澤郵便局
美濃國武儀郡	釜戸村大島郵便局	釜戸郵便局
美濃國武儀郡	中ノ保村間吹郵便局	間吹郵便局
美濃國武儀郡	神淵村朝張郵便局	朝張郵便局

美濃國郡上郡	上田村下田郵便局	下田郵便局
美濃國郡上郡	有穂村小久須見郵便局	小久須見郵便局
美濃國上石津郡	牧田村上野郵便局	牧田郵便局
飛騨國益田郡	中原村保井戸郵便局	保井戸郵便局
飛騨國益田郡	下呂村湯之島郵便局	下呂郵便局
飛騨國益田郡	竹原村御鷹野郵便局	御鷹野郵便局
飛騨國益田郡	三郷村萩原郵便局	萩原郵便局
飛騨國益田郡	朝日村甲郵便局	甲郵便局
飛騨國益田郡	朝日村小瀬ヶ洞郵便局	小瀬ヶ洞郵便局
飛騨國大野郡	高根村野麥郵便局	野麥郵便局
飛騨國大野郡	清見村夏麻郵便局	夏麻郵便局
飛騨國大野郡	清見村三日町郵便局	三日町郵便局
飛騨國大野郡	莊川村新洲郵便局	新洲郵便局
飛騨國大野郡	白川村鳩谷郵便局	鳩ヶ谷郵便局
飛騨國大野郡	清見村大原郵便局	大原郵便局
飛騨國吉城郡	神岡村船津郵便局	船津郵便局
飛騨國吉城郡	上資村在家郵便局	在家郵便局
飛騨國吉城郡	神岡村東茂住郵便局	東茂住郵便局
飛騨國吉城郡	阪上村林郵便局	林郵便局
陸奥國三戸郡	戸來村金ヶ澤郵便局	戸來郵便局



岩代國信夫郡	上飯坂郵便局	飯坂郵便局
岩代國安達郡	高玉村熱海郵便局	熱海郵便局
磐城國磐前郡	上三坂郵便局	三坂郵便局
磐城國田村郡	小野新町郵便局	新町郵便局
磐城國楢葉郡	南小泉郵便局	小泉郵便局
越前國坂井郡	下川内郵便局	川内郵便局
越中國上新川郡	坂井港郵便局	三國郵便局
越中國礪波郡	松本開郵便局	五百石町郵便局
出雲國島根郡	杉本新郵便局	出町郵便局
出雲國意宇郡	加賀浦郵便局	加賀郵便局
出雲國能義郡	大根島入江郵便局	入江郵便局
出雲國仁多郡	西比田郵便局	比田郵便局
出雲國神門郡	小馬水郵便局	馬水郵便局
出雲國飯石郡	上阿井郵便局	阿井郵便局
石見國安濃郡	一盛田郵便局	盛田郵便局
石見國邑智郡	宮内郵便局	須佐郵便局
石見國邑智郡	大家木郷郵便局	大家郵便局
石見國邑智郡	大田町郵便局	大田郵便局
石見國邑智郡	都賀木郷郵便局	都賀郵便局
石見國邑智郡	下口羽郵便局	口羽郵便局

石見國那賀郡	郷田郵便局	江津郵便局
石見國那賀郡	水郷賀郵便局	杵束郵便局
石見國美濃郡	益田本郷郵便局	益田郵便局
隱岐國周吉郡	西郷港郵便局	西郷郵便局
隱岐國海士郡	福井村菱浦郵便局	菱浦郵便局
備前國上道郡	江坂郵便局	三幡郵便局
備中國都宇郡	下撫川郵便局	撫川郵便局
備中國哲多郡	井村郵便局	上市郵便局
美作國真島郡	高田郵便局	勝山郵便局
美作國真島郡	龜水郵便局	落合郵便局
美作國勝北郡	廣戸市場郵便局	廣戸郵便局
周防國玖珂郡	柳井津郵便電信局	柳井郵便電信局
周防國玖珂郡	室木村新港郵便局	新港郵便局
周防國熊毛郡	波野市郵便局	田布施郵便局
周防國佐波郡	八坂村三谷川郵便局	三谷川郵便局
周防國吉敷郡	秋穂浦郵便局	秋穂郵便局
長門國豐浦郡	豐浦郵便局	長府郵便局
長門國大津郡	瀬戸崎郵便局	仙崎郵便局
長門國大津郡	深川湯本郵便局	深川郵便局
長門國大津郡	藏小田村渡場郵便局	渡場郵便局



長門國阿武郡	上小川郵便局	小川郵便局
長門國阿武郡	吉部市郵便局	吉部郵便局
長門國豐浦郡	特牛浦郵便局	特牛郵便局
紀伊國那賀郡	北大井郵便局	池田郵便局
紀伊國那賀郡	名手市場郵便局	名手郵便局
紀伊國那賀郡	毛原宮郵便局	毛原郵便局
紀伊國伊都郡	東富貴郵便局	富貴郵便局
紀伊國日高郡	西村郵便局	山路郵便局
紀伊國日高郡	印南原郵便局	稻原郵便局
紀伊國西牟婁郡	潮岬上野郵便局	潮岬郵便局
紀伊國西牟婁郡	上三栖郵便局	三栖郵便局
紀伊國東牟婁郡	口色川郵便局	色川郵便局
紀伊國東牟婁郡	栗垣内郵便局	佐木郵便局
阿波國那賀郡	中ノ庄郵便局	羽ノ浦郵便局
阿波國美馬郡	曾江山清水郵便局	曾江山郵便局
伊豫國北宇和郡	戸島浦郵便局	戸島郵便局
伊豫國北宇和郡	三浦大内浦郵便局	三浦郵便局
伊豫國東宇和郡	豫子林郵便局	横林郵便局
伊豫國西宇和郡	伊方浦湊浦郵便局	伊方郵便局
伊豫國喜多郡	内之子郵便局	内子郵便局

伊豫國喜多郡	中山村泉町郵便局	中山郵便局
伊豫國越智郡	大野郵便局	九和郵便局
伊豫國宇摩郡	別子山村別子銅山郵便局	別子銅山郵便局
伊豫國宇摩郡	土居村飯武郵便局	飯武郵便局
伊豫國宇摩郡	下山村葱尾郵便局	葱尾郵便局
伊豫國上浮穴郡	大南郵便局	砥部郵便局
伊豫國上浮穴郡	町村郵便局	小田町郵便局
伊豫國上浮穴郡	東川村東古味郵便局	東古味郵便局
伊豫國南宇和郡	西外海浦船越浦郵便局	船越郵便局
土佐國香川郡	名ノ川郷川口郵便局	大崎郵便局
土佐國高岡郡	日下村青木郵便局	日下郵便局
土佐國土佐郡	木川郷大平郵便局	大平郵便局
土佐國香美郡	東川別役郵便局	別役郵便局
土佐國香川郡	池川郷土居郵便局	池川郵便局
土佐國土佐郡	森郷土居郵便局	土居郵便局
土佐國香川郡	上八川村土居郵便局	上八川郵便局
土佐國高岡郡	樽原村奈路郵便局	樽原郵便局
土佐國香川郡	柳ノ瀬村出来地郵便局	柳瀬郵便局
土佐國香川郡	弘岡上ノ村郵便局	弘岡郵便局
土佐國高岡郡	上ノ加江村浦分郵便局	上ノ加江郵便局



筑前國宗像郡	下西郷村福間郵便局	福間郵便局
筑前國鞍手郡	勝野村小竹郵便局	小竹郵便局
筑前國上坐郡	池田村把木郵便局	把木郵便局
筑前國早良郡	東入部郵便局	入部郵便局
筑後國山木郡	飯田郵便局	善道寺郵便局
筑後國三潁郡	若津郵便局	大川郵便局
筑後國三潁郡	上野町郵便局	大善寺郵便局
筑後國上斐郡	北矢部村宮ノ尾郵便局	矢部郵便局
豊前國田川郡	添伊田郵便局	添田郵便局
豊前國田川郡	猪國郵便局	猪膳郵便局
豊前國京都郡	松田郵便局	新町郵便局
豊前國京都郡	大橋郵便電信局	行橋郵便電信局
豊後國大分郡	中判田郵便局	判田郵便局
豊後國大分郡	上直見郵便局	直見郵便局
豊後國大分郡	中戸次郵便局	戸次郵便局
豊後國東國東郡	濱郵便局	來浦郵便局
豊前國宇佐郡	南宇佐郵便局	宇佐郵便局
日向國南那珂郡	吹毛井郵便局	鱒戸郵便局
日向國南那珂郡	福島仲町郵便局	福島郵便局
日向國南那珂郡	橋之口郵便局	覆原郵便局

日向國東諸縣郡 本庄村六日町郵便局 本庄郵便局  
日向國兒湯郡 高城町郵便局 水城郵便局

○海軍省告示第八號

海軍准士官後備役滿期トナリ海軍志願兵豫備役滿期トナリ海軍徴兵後備役滿期トナリタルトキハ  
辭令ヲ用非ス准士官下士ハ免官卒ハ免役トス  
豫備ヨリ後備ニ入ル者ハ辭令ヲ用非ス豫備滿期トナリタルトキハ後備トス  
明治二十三年三月十八日 海軍大臣伯爵西郷從道

○遞信省告示第五十五號

左ノ郵便局ヲ置キ來四月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハレム

明治二十三年三月十九日

遞信大臣伯爵後藤繁二郎

位置	等級	名稱
下野國下都賀郡岩船村	三等	岩船郵便局
美濃國惠那郡猿爪村	三等	猿爪郵便局
美濃國池田郡春日村 <small>大字</small>	三等	香六郵便局
美濃國池田郡德山村 <small>大字</small>	三等	徳山郵便局
飛騨國大野郡上賣村 <small>大字</small>	三等	今見郵便局
飛騨國大野郡白川村 <small>大字</small>	三等	御母衣郵便局
陸中國鹿角郡小阪村 <small>大字</small>	三等	小阪嶺山郵便局
後志國蔭郡黒松内村	三等	黒松内郵便局



豐後國玖珠郡飯田村大字 右田 三等 右田郵便局  
日向國北諸縣郡高城村 大字 三等 高城郵便局  
日向國北諸縣郡高城村 右水 三等 有水郵便局  
備前國和氣郡三國村大字 留政 三等 都留岐郵便局  
備中國後月郡三原村大字 三原 三等 東三原郵便局  
美作國西條郡與津村 三 三等 與津郵便局  
琉球國與那城間切屋慶名村 三 三等 屋慶名郵便局  
琉球國與那城間切糸滿村 三 三等 糸滿郵便局  
琉球國大里間切與那原村 三 三等 與那原郵便局

○逓信省告示第五十六號  
左ノ郵便局本月三十一日限り相廢ス

明治二十三年三月十九日

逓信大臣伯耆後藤象二郎

美濃國方縣郡河渡郵便局 美濃國可兒郡池田町屋郵便局 大和國吉野郡長殿郵便局  
豐後國玖珠郡町田郵便局 日向國北諸縣郡山ノ口郵便局

○逓信省告示第五十七號

來四月一日ヨリ左ノ逓郵便局ヲ移轉改稱ス

明治二十三年三月十九日

逓信大臣伯耆後藤象二郎

國郡名	舊位置	新位置	舊稱	改稱
肥後國天草郡	上村	柳浦	上村郵便局	柳浦郵便局
薩摩國日置郡	郡山村	麥生田村	郡山郵便局	麥生田郵便局

遠江國城東郡 奈良野村 西方村<sup>大字</sup> 奈良野郵便局 堀ノ内郵便局

○逓信省告示第五十八號

東京郵便電信學校規則左ノ通之ヲ定ム

明治二十三年三月十九日

逓信大臣伯耆後藤象二郎

東京郵便電信學校規則

第一章 總則

第一條 東京郵便電信學校ハ郵便電信ニ關スル必須ノ教育ヲ施シ將來郵便電信業務ニ從事スヘキ者ヲ養成スルヲ以テ目的トス

第二條 東京郵便電信學校生徒タル者ハ卒業後二年間逓信省ニ奉職スルノ義務アルモノトス

第三條 東京郵便電信學校ニ甲乙ノ二科ヲ置ク甲科ニ於テハ郵便電信政務ノ理義及其處務ノ方法ヲ教授シ乙科ニ於テハ電機通信技術及郵便電信處務ノ要領ヲ教授ス

第四條 修業年限ハ甲乙兩科各二年トス

第五條 東京郵便電信學校生徒ハ甲乙兩科ヲ合セテ百五十名ヲ定員トス

第六條 教務並ニ生徒ニ關スル諸規則ハ別ニ東京郵便電信學校長ノ定ムル所ニ依ル

第二章 教科

第七條 甲乙兩科ノ學科々目ハ左ニ掲ヘカ如シ

甲科

111

一 作文

二 數學

三 簿記統計



- 四 物理化學
- 五 英語
- 六 佛語
- 七 地理
- 八 歷史
- 九 法律
- 十 經濟
- 十一 交通學
- 十二 電機學
- 十三 實務
- 乙科
- 一 作文
- 二 數學
- 三 簿記
- 四 物理
- 五 化學
- 六 英語
- 七 圖畫
- 八 電機學
- 九 電信技術

十 郵便要項

第三章 學年學期及休業

第八條 學年ハ九月十一日ニ始リ翌年七月十日ニ終ル

第九條 學年ヲ分テ冬夏ノ二學期トス冬學期ハ九月十一日ヨリ翌年二月二十日ニ至リ夏學期ハ二月二十一日ヨリ七月十日ニ至ル

第十條 休業期日ハ左ノ如シ

夏期休業 自七月十一日 至九月十日

冬期休業 自十二月二十五日 至翌年一月十日

學期試験後 一週日

日曜日

祭日祝日

第四章 募集入校及在校

第十一條 募集ハ毎年一回學年ノ終ニ於テシ期日及人員ハ其都度廣告スヘシ

但時宜ニ依リ臨時募集スルコトアルヘシ

第十二條 応募者ハ左記各項ノ資格ヲ具フル者ニ限ル

一 甲科ニ於テ十六年以上乙科ニ於テ十五年以上ノ者

二 身體健康ナル者

三 品行方正ナル者

第十三條 尋常中學校ノ卒業證書ヲ有スル者ハ試験ヲ要セス甲科第一年級ニ入ルヲ許ス

第十四條 尋常中學校ノ第三級以上ニ進級シタル證明書ヲ有スル者ハ試験ヲ要セス乙科第一年級



ニ入ルヲ許ス

第十五條 乙科ヲ卒業シタル者ハ試験ヲ要セス甲科第一一年級ニ入ルヲ許ス

第十六條 第十三條ノ資格ナキ者ニシテ甲科第一一年級ニ入學セント欲スル者ノ入學試験科目ハ左

ノ如シ

一 英語

二 和漢文

三 物理化學

四 内外國地理

五 内外國歴史

六 數學

第十七條 第十四條ノ資格ナキ者ニシテ乙科第一一年級ニ入學セント欲スル者ノ入學試験科目ハ左ノ如シ

一 和漢文

二 物理化學

三 數學

四 英語

第十八條 入校志願ノ者ハ甲號書式ニ倣ヒ學業履歷書ヲ添ヘ入學願書ヲ差出スヘシ

第十九條 入校志願者ハ受験料トシテ金壹圓ヲ願書ニ添ヘ東京郵便電信學校ヘ納ムヘシ

但一旦受納シ上ハ之ヲ返付セサルモノトス

第二十條 入校ノ許可ヲ得タル者ハ保證人ヲ立テ乙號書式ノ在校證書ヲ差出スヘシ

第二十一條 保證人ハ二名トシ東京市ノ公民ニ限ル

第二十二條 保證人府外ニ旅行セントスルトキハ其旨東京郵便電信學校ニ届出ツヘシ

第二十三條 保證人死去若クハ他府縣ニ轉住シ又ハ公民タルノ資格ヲ失フトキハ他人ヲ以テ之ニ代ヘ更ニ保證キ書ヲ書改ムヘシ

第二十四條 生徒ハ都テ授業料ヲ免ス

但課業用ノ文具及書籍ハ之ヲ貸與ス

第五章 進級及卒業

第二十五條 生徒ノ進級ハ學業試験點ニ依テ之ヲ定ム

第二十六條 學業試験ヲ分テ左ノ三種トス

一 臨時試験

二 學期試験

三 卒業試験

第二十七條 臨時試験ハ現ニ履修中ノ學科ニ就キ受持教官ノ見込ヲ以テ臨時之ヲ行フモノトス

第二十八條 學期試験ハ各學期中履修セシ學科ニ就キ冬夏兩學期ノ終ニ於テ之ヲ行フモノトス

第二十九條 卒業試験ハ卒業學年ノ終ニ於テ既ニ履修セシ總學科ノ内主眼ノ科目ニ就テ之ヲ行フ

モノトス

但此場合ニ於テハ夏期臨時試験及夏學期試験ヲ行ハス

第三十條 凡ソ試験ハ教官ノ見込ニ由リ口述筆記又ハ實驗ノ法ヲ以テ之ヲ行ヒ其成績ヲ接シテ

驗點ヲ附ス

第三十一條 試験點數ハ各科目一百點ヲ以テ最高點トシ六十點ヲ及第點トナス

第三十二條 一課目ノ學期試験點數ハ其學期中ノ臨時試験平均點ト學期試験點數トヲ合セテ以



テ共和ヲ除シ之ヲ定ムルモノトス

第三十三條 學期平均點數ハ各科目ノ學期點數ヲ通算シ科目ノ數ヲ以テ共和ヲ除シ之ヲ定ム  
第三十四條 冬夏兩學期ノ點數ヲ合セテ以テ共和ヲ除シ之ヲ學年點數トス

但生徒ノ席順ハ冬學期中ハ學年平均點數ノ順序ニ據リ夏學期中ハ冬學期平均點數ニ據ル

第三十五條 卒業試驗點數ハ前二箇年間三學期ノ科目平均點數ノ和ト卒業試驗點數トヲ合セ四ヲ以テ共和ヲ除シ之ヲ定ムルモノトス

第三十六條 每學年ノ終ニ於テ左ノ表ニ據リ生徒ヲ階級ス

一 學年點數諸科目平均六十點以上	進級
二 同 五十點以上六十點未滿	原級
三 同 五十點未滿	退校
四 一科目 五十點未滿	假進級
五 二科目 五十點以上六十點未滿	原級
六 三科目以上 五十點未滿	退校

第三十七條 二學期引續キ落第シテ原級ニアル者ニハ退校ヲ命ス

第三十八條 凡ソ試験ニ缺席スル者ニハ零點ヲ附ス

第三十九條 冬夏兩學期試験ヲ完クシタル者ニハ進級證書ヲ與ヘ規定ノ學業ヲ全ク卒リタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第四十條 卒業生ニレテ直ニ就職セサル者ハ豫備員トシテ在校セシメ一箇月金五圓ヲ給與スヘシ  
第四十一條 一學年間試験ノ成績優等ニレテ平素品行方正ナル者ハ次學年ノ始メニ於テ褒賞ヲ附與シ又ハ該學年中特待生トナシ學費トシテ一箇月金五圓ヲ給ス

第四十二條 特待生ニシテ品行ヲ損シ學業ヲ怠リタルトキハ直ニ其特待ヲ解ク  
第四十三條 凡ソ褒賞ハ左ノ三種トス

- 一 金圓
  - 二 圖書器械
  - 三 賞狀
- 第四十四條 校則若クハ其他ノ命令規則ニ背戾シタル者ハ其特狀ニ依リ懲罰ス其懲罰ハ左ノ三種トス
- 一 留置
  - 二 罰點
  - 三 退校
- 第四十五條 生徒疾病ニ罹リ一學年引續キ出校セサル者ハ退校ヲ命ス
- 第四十六條 生徒疾病又ハ已ヲ得サル事故ニ依リ退校セント欲シ保證人連署シテ願出ルトキハ之ヲ許ス
- 但疾病ニ由ルトキハ醫員ノ診斷書ヲ添フヘシ

(甲號書式)

入校願書

其志願者 候補校何科志願ニ付御試験ノ上入學許可相成度履歷書相添ヘ此段相願儀也

何處 何國何市郡區何町村何番地  
 寄附居現在ノ住所番地  
 學士族平民某子弟  
 氏 名 印  
 何何何生

年月日

東京郵便電信學校長氏名殿



(乙號書式)

即紙貼用 誓書

今般私債志願ノ通り入學御許可相成候ニ付テハ校則遵守能義勉勵可致ノ勿論御書へ仰命ノ日ヨリ二箇年間奉職御事務ニ従事仕リ何レノ地方へ在御候トモ決テ異議申出間敷候儀テ誓書如斯候也

年月日

可許前同職

氏 名 印  
何年何月生

前書何共今般入學御許可相成候ニ付テハ校則遵守且本人ニ關スル一切ノ事件ハ私引受可申候儀テ保證仕候也

何年何月生

東京市何處何町何番地

正保證人 氏 名 印

副保證人 氏 名 印

東京府何處 長 印

年月日

東京郵便電信學校校長氏名殿

前書保證人ハ東京郵便電信學校規則第二十一條ニ相違スル者ト認ム

○逓信省告示第五十九號

一元逓信監察官吏ノ章 第三號

右ハ京都郵便電信局元俯牧田鼎へ渡置タル處紛失セシメタル旨届出タリ依テ該印鑑ハ自今無効トス

明治二十三年三月二十日

逓信大臣伯耆後藤象二郎

○逓信省告示第六十號

本年二月中西洋形船へ左ノ信號符字ヲ照附ス

明治二十三年三月二十日

逓信大臣伯耆後藤象二郎

西洋形船

信號符字	免狀番號	船	名	種類	定數場	船主氏名
HGWJ	一六八八	1188	ソウシ丸	Souchi Maru	汽	東京 田中平八

○大藏省告示第十六號

一紙幣百拾萬圓四千五百圓也

右ハ銀貨ト交換支消紙幣損傷紙幣銀貨ト交換ノ分及紙幣ト交換セシ損傷紙幣等ノ合計ニシテ三月十一日ヨリ十四日迄印刷局構内ニ於テ會計検査院官吏立會處棄セリ

明治二十三年三月二十一日

大藏大臣伯耆松方正義

○陸軍省告示第六號

本年二月當省告示第三號中觀音崎ヲ横須賀ニ改ム

明治二十三年三月二十二日

陸軍大臣伯耆大山 巖

○内務省告示第十號

櫻原神宮 奈良縣下大和國高市郡白根村鎮座

神武天皇

右官幣大社ニ列セラレ、旨仰出サル

明治二十三年三月二十四日

内務大臣伯耆山縣有朋

○内務省告示第十一號

版權登錄料版權免許料並登錄證再度下付手数料版權免許證明書下付手数料納付ノ爲メ現金持參スルモノハ左ノ時間タルヘシ

四月二十日ヨリ七月十日迄

午前八時ヨリ午後二時ニ至ル



七月十一日ヨリ九月十日迄  
九月十一日ヨリ四月十九日迄

午前八時ヨリ同十一時ニ至ル  
午前九時ヨリ午後三時ニ至ル

内務大臣伯露山縣有朋

○文部省告示第三號

右ハ明治二十二年法律第一號徵兵令第十一條ニ依リ中學校ノ學科程度ト同等以上ノモノト認ム  
明治二十三年三月二十五日  
文部大臣子爵榎本武揚

○遞信省告示第六十一號

來四月一日ヨリ日向國北諸縣郡山ノ口郵便局貯金事務ヲ同郡高城郵便局ニ移シ同日ヨリ其事務ヲ  
繼續取扱ハシム  
明治二十三年三月二十五日  
遞信大臣伯爵後藤象二郎

○大藏省告示第十七號

二十一年度備荒儲蓄金收支精算報告別冊ノ通り  
明治二十三年三月二十六日  
大藏大臣伯爵松方正義

(別冊)

第九回備荒儲蓄金收支精算報告

明治二十三年第三十一號布告備荒儲蓄法第十條ニ據リ明治二十一年度即チ明治二十一年四月一日ヨリ  
同二十二年三月三十一日ニ至ル一週年度中央及府縣儲蓄金ノ出納ヲ告示スルニ方リ茲ニ其要領  
ヲ提記ス

中央儲蓄金

一中央儲蓄金前年度越高ハ三百四拾壹万七千六百五拾三圓八錢現金預ケ金及米穀原價 本年度ニ於テ  
收入セシハ中央儲蓄金三拾万圓預ケ金利子拾貳万五千三百三圓七拾三錢八厘掃集米拂代等ニ於テ

テ四百貳拾五圓六拾壹錢四厘ナリ此内支出セシ金額ハ米穀賣却損等ニ於テ貳万貳百貳拾六圓貳  
拾三錢四厘之ヲ扣除スレハ殘額即チ末尾ノ有高ハ三百八拾貳万三千五百五拾六圓拾九錢八厘ナリ  
而シテ之レカ類別ヲ舉レハ現金七百貳拾四圓八拾六錢貳厘預ケ金三百八拾壹万九百五拾五圓五  
拾錢四厘米穀買上代價出費万四千四百七拾五圓八拾三錢貳厘ニシテ即チ第一號表ノ如シ

府縣儲蓄金

一府縣儲蓄金前年度越高ハ千貳百四拾八万九千六百六拾三圓三拾六錢九厘現金及公債證券原價米穀  
原價地租賣與金等 本年度ニ於テ收入セシモノ貳百六拾八万四千九百七拾三圓八拾貳錢貳厘此内全ク支出セシ金額  
四拾壹万八千九百拾圓七拾三錢三厘ヲ扣除スレハ本期末尾ノ有高千四百七拾五萬五千七百貳拾  
六圓四拾五錢八厘ナリ即チ第二號表ノ如シ  
一本年度歳首ノ金額千貳百四拾八万九千六百六拾三圓三拾六錢九厘之ヲ前年度歳首ノ金額千三拾  
三万三千貳百貳拾壹圓三錢三厘ニ比スレハ貳百拾五万六千四百四拾貳圓三拾三錢六厘ノ増加ナ  
リ又本期收入高貳百六拾八万四千九百七拾三圓八拾貳錢貳厘之ヲ前年度收入高貳百五拾九万七  
千八百四拾六圓貳拾八錢貳厘ニ比スレハ八万七千七百貳拾七圓五拾四錢ノ増加ナリ而シテ之カ類  
別ヲ掲ケレハ公儲金ニ於テ六千貳百四拾圓三錢八厘益金ニ於テ八万貳千八百九圓五拾五錢六厘  
ナリ然レトモ公儲金缺額補充ニ於テ七百八拾九圓三拾六錢七厘雜收ニ於テ千百貳拾貳圓六拾八  
錢七厘寄附金ニ於テ拾圓ヲ減少シタルニ由リ差引前記ノ増加ニ至レリ  
又本期支出高四拾壹万八千九百拾圓七拾三錢三厘之ヲ前年度支出高四拾三万九千三百五拾五圓  
貳拾八錢ニ比スレハ貳万四千四百四拾四圓五拾四錢七厘ノ減額ナリ今之カ類別ヲ掲レハ救助費ニ於  
テ壹万九千九百六拾六圓九拾錢三厘儲蓄費ニ於テ五百六拾四圓五拾六錢壹厘倉庫費ニ於テ壹万千  
三百拾六圓五拾壹錢七厘ナリ然レトモ缺損金ニ於テ二千五百五拾六圓三拾貳錢八厘過誤納下戻ニ



於テ貳百四拾七圓拾錢六厘ヲ增加シタルニ由リ差引前記ノ減額ニ至レリ  
 又末期殘額總計千四百七拾五萬五千七百貳拾六圓四拾五錢八厘之ヲ前年度殘額總計千貳百四拾  
 八萬九千六百六拾三圓三拾六錢九厘ニ比スレハ貳百貳拾六萬六千六百六拾三圓八錢九厘ノ增加ナリ  
 而シテ之レカ類別ヲ掲ケレハ公債證書原價ニ於テ貳百五拾五萬七千九百貳拾圓八錢三厘ナリ然  
 レトモ現金ニ於テ九千九百五拾五圓六拾壹錢九厘米穀原價ニ於テ拾七萬九千九百五拾貳圓壹錢三厘  
 地租貸與ニ於テ拾萬三千九百九拾九圓三拾六錢貳厘ヲ減少シタルニ由リ差引前記ノ增加ニ至レリ  
 卽チ第三號表ノ如シ

一 現金前年度越前高ハ百三拾六萬七千七拾六圓貳拾六錢七厘ニシテ本年度ニ於テ收入セシハ公債金  
 ニ於テ九拾貳萬三千九拾六圓六拾九錢壹厘配付金ニ於テ九拾萬圓其他地租貸與返納公債金餘額  
 補充公債證書當額公債證書賣却代米穀賣却代及益金雜收ニ於テ百九拾九萬六千貳拾八圓九拾五  
 錢五厘總計五百拾七萬八千九百壹圓九拾壹錢三厘ナリ卽チ第四號表ノ如シ

一 末期ニ於テ支出ニ係ル金額ヲ類別スレハ救助費ニ於テ貳拾八萬九千九百九拾四圓五錢地租貸與  
 儲蓄費食糧米穀買入代公債證書買入代缺損金過額納下戻ニ於テ三百五拾三萬五百四拾七圓貳拾  
 壹錢五厘總計三百八拾貳萬四千九拾壹圓貳拾六錢五厘之ヲ前項收入高五百拾七萬八千九百九拾  
 壹錢三厘ヨリ扣除スルトキハ末期末尾ノ現金在高ハ百三拾五萬七千九百六拾圓六拾四錢八厘ニ  
 シテ卽チ第五號表ノ如シ

一 罹災ノ爲メ賑給シタル金額内際及被害ノ種別ハ第六號表及第七號表ノ如シ

一 公債證書前年度越前高ハ額面千五拾四萬九千三百八拾三圓此原價千貳千九百九拾七圓貳拾六錢五  
 厘末期ニ於テ購入シタル額面三百四拾貳萬六千九拾圓代價三百四拾五萬貳千四百九拾九圓六拾壹  
 錢四厘當額益及賣却益ニ於テ拾萬八千九拾五圓八拾五錢九厘交換受額面五拾壹萬四千九百圓原

價四拾五萬九千貳百六拾六圓拾八錢四厘此内賣却セシモノ額面貳千圓實價貳千八拾五圓當額  
 面九拾九萬三千七百五拾貳圓實價九拾九萬三千七百五拾貳圓當額損及賣却損ニ於テ六千三百八  
 拾八圓三拾九錢交換拂額面五拾壹萬四千九百圓原價四拾五萬九千九百六拾六圓拾八錢四厘ヲ扣  
 除スレハ末期末尾ノ在高額面千貳百九拾七萬九千六百四拾壹圓原價千貳百五拾六萬九百拾七圓三  
 拾四錢八厘ナリ卽チ第八號表ノ如シ

一 米穀前年度越前高ハ石數拾九萬四千九拾壹石六斗六升四合此原價六拾四萬貳千三百三圓貳拾五錢九  
 厘末期ニ於テ購入シタル石數壹萬六千八百四拾三石九斗五升三合代價四萬四千四百三拾圓貳拾  
 三錢此内賣却セシ石數五萬九百四拾六石六斗壹升三合實價拾貳萬貳千七百六圓六拾錢三厘缺減  
 石數三千八百五拾八石壹斗壹升八合原價壹萬三千四百拾圓四拾七錢貳厘救助石數貳百六拾石壹斗  
 四升原價六百三拾圓貳拾四錢三厘賣却損ニ於テ八萬七千貳百貳拾四圓九拾貳錢五厘ヲ扣除スレ  
 ハ末期末尾ノ在高石數拾五萬貳千三百貳拾四石七斗四升六合原價四拾六萬貳千五百六拾壹圓貳  
 拾四錢六厘ナリ卽チ第九號表ノ如シ

一 地租貸與前年度越前高ハ四拾七萬八千貳百八拾六圓五拾七錢八厘末期ニ於テ貸與セシハ壹萬四千  
 七拾九圓七拾四錢八厘過額納下戻壹圓六拾七錢此内返納拾壹萬五千五百六拾八圓七拾錢壹厘乘  
 損千六百七拾六圓七拾錢換拂戻入三拾五圓三拾七錢九厘ヲ扣除スレハ末期末尾ノ在高三拾七萬  
 五千八拾七圓貳拾壹錢六厘ナリ卽チ第十號表ノ如シ

第一號

二十一年度中央儲蓄金出納表

所 在	前年度越前	收 入	支 出	出 殘 額
大 藏 省	三,四七九,五三〇.八〇	四,五七九,五三三.二二	一〇,〇一三,三三三.三三	三,八二一,五六一.九八







宮崎縣	鹿兒島縣	熊本縣	佐賀縣	大分縣	福岡縣	高知縣	愛媛縣	香川縣	德島縣	和歌山縣	山口縣	廣島縣	岡山縣	島根縣	鳥取縣	富山縣	石川縣	福井縣
1,377,078	50,169,066	1,866,266	3,353,772	1,959,588	4,282,810	1,517,405	1,048,800	1,684,422	1,684,422	3,353,772	1,959,588	1,048,800	4,282,810	3,353,772	1,866,266	1,746,000	1,517,405	1,684,422
28,545,515	3,689,643	5,042,991	10,990,912	4,958,841	10,733,091	3,677,057	1,077,091	5,125,714	5,125,714	10,990,912	4,958,841	10,990,912	10,990,912	10,990,912	10,990,912	10,990,912	10,990,912	10,990,912
1,377,078	50,169,066	1,866,266	3,353,772	1,959,588	4,282,810	1,517,405	1,048,800	1,684,422	1,684,422	3,353,772	1,959,588	1,048,800	4,282,810	3,353,772	1,866,266	1,746,000	1,517,405	1,684,422
1,377,078	50,169,066	1,866,266	3,353,772	1,959,588	4,282,810	1,517,405	1,048,800	1,684,422	1,684,422	3,353,772	1,959,588	1,048,800	4,282,810	3,353,772	1,866,266	1,746,000	1,517,405	1,684,422

第三號

二十一年度府縣備蓄金收支増減比較表

鹿兒島縣	熊本縣	佐賀縣	大分縣	福岡縣	高知縣	愛媛縣	香川縣	德島縣	和歌山縣	山口縣	廣島縣	岡山縣	島根縣	鳥取縣	富山縣	石川縣	福井縣
50,169,066	1,866,266	3,353,772	1,959,588	4,282,810	1,517,405	1,048,800	1,684,422	1,684,422	3,353,772	1,959,588	1,048,800	4,282,810	3,353,772	1,866,266	1,746,000	1,517,405	1,684,422
3,689,643	5,042,991	10,990,912	4,958,841	10,733,091	3,677,057	1,077,091	5,125,714	5,125,714	10,990,912	4,958,841	10,990,912	10,990,912	10,990,912	10,990,912	10,990,912	10,990,912	10,990,912
50,169,066	1,866,266	3,353,772	1,959,588	4,282,810	1,517,405	1,048,800	1,684,422	1,684,422	3,353,772	1,959,588	1,048,800	4,282,810	3,353,772	1,866,266	1,746,000	1,517,405	1,684,422
50,169,066	1,866,266	3,353,772	1,959,588	4,282,810	1,517,405	1,048,800	1,684,422	1,684,422	3,353,772	1,959,588	1,048,800	4,282,810	3,353,772	1,866,266	1,746,000	1,517,405	1,684,422



科目	殘額		比	增減
	本年度	前年度		
農具料	52,404.14	55,333.60	0	2,929.46
內種穀料	53,554.58	55,847.80	0	2,293.22
地租補助	7,890.96	18,237.33	0	10,346.37
雜費	2,322.28	680.95	1,641.33	0
儲蓄費	22,587.57	18,081.58	0	4,505.99
倉庫費	5,944.61	17,232.18	0	11,287.57
缺損金	10,880.74	10,545.27	3,335.47	0
過限納下戻	793.73	546.59	247.14	0
總計	148,910.33	149,555.28	0	644.95
現金	1,574,940.44	1,527,072.27	0	47,868.17
公債證券	33,999,441.00	30,549,343.00	0	3,450,098.00
米穀	33,800,117.34	30,000,197.34	0	3,799,920.00
石炭	1,313,347.64	1,909,914.64	0	596,567.00
原價	4,225,613.34	4,110,359.64	0	115,253.70
地租貸與	3,550,872.22	4,781,545.78	0	1,230,673.56
總計	14,518,557.68	12,889,422.68	1,629,135.00	1,629,135.00



































第七號

二十一年度府縣備荒備蓄救助費內譯表

府縣名	食料	小屋掛料	農具料	種穀料	地租補助	避難所費	雜費	合計
東區	0	0	0	0	0	254	0	254
京都府	10,988	101,000	101,000	5,990	0	0	0	218,978
京都府	28,872	281,293	225,905	8,867	0	0	0	794,937
大阪府	47,500	380,875	9,800	22,510	0	3,335	0	854,020
神奈川縣	258,779	1,124,000	110,000	22,510	0	0	0	1,515,289
兵庫縣	54,977	110,630	22,510	11,153	55,243	8,652	0	253,165
長崎縣	42,751	403,000	14,000	2,673	0	0	0	462,424
新潟縣	32,870	355,900	1,000	13,310	0	0	0	402,080
埼玉縣	47,588	67,500	0	0	0	0	0	115,088
群馬縣	1,461,059	229,170	7,600	1,688	0	0	0	2,700,917
千葉縣	4,921	1,340,450	49,230	1,944	228	0	0	6,633,727
茨城縣	1,979	3,467,079	22,955	18,858	228	25,867	0	32,754,279
栃木縣	1,908	1,444,333	1,010	4,680	0	0	0	32,754,279
奈良縣	13,907	1,749,900	9,700	14,700	0	0	0	32,754,279
三重縣	331,876	8,011,000	4,175	29,300	0	0	0	8,889,351
愛知縣	58,432	4,879,990	10,440	18,000	0	0	0	4,956,862

昭和二十一年三月 農林省 大藏省 第七號























府縣名	前年度越前		貸與	過誤納下戻	支納		樂捐	讓拂戻入	殘額
	入	出			入	出			
香川縣	11,100	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛縣	11,100	0	0	0	0	0	0	0	0
總計	22,200	0	0	0	0	0	0	0	0

備考  
本表愛媛縣前年度越前高石數拾四石九斗六升原價五拾九圓貳拾錢七厘ヲ前年度精算得殘高石數貳拾六石四斗原價百五圓五拾八錢七厘ニ對比シ不敷拾壹石四斗四升原價四拾六圓三拾七錢ノ減少ハ二十一年十二月勅令第七十九號ヲ以テ香川縣設置ニ由リ該縣ハ愛媛縣ヨリ引繼高ニシテ香川縣越前高石内へ編入シタルニ由ル

第十號

二十一年度府縣備荒儲蓄金地租貸與出納表

府縣名	前年度越前		貸與	過誤納下戻	支納		樂捐	讓拂戻入	殘額
	入	出			入	出			
京都府	7,000	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪府	7,900	0	0	0	0	0	0	0	0
神奈川縣	6,000	0	0	0	0	0	0	0	0
兵部	3,800	0	0	0	0	0	0	0	0
庫部	2,700	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎縣	2,500	0	0	0	0	0	0	0	0
新潟縣	1,100	0	0	0	0	0	0	0	0

府縣名	前年度越前	貸與	過誤納下戻	支納	樂捐	讓拂戻入	殘額
埼玉縣	1,100	0	0	0	0	0	0
群馬縣	1,100	0	0	0	0	0	0
千葉縣	1,100	0	0	0	0	0	0
茨城縣	1,100	0	0	0	0	0	0
栃木縣	1,100	0	0	0	0	0	0
奈良縣	1,100	0	0	0	0	0	0
三重縣	1,100	0	0	0	0	0	0
愛知縣	1,100	0	0	0	0	0	0
靜岡縣	1,100	0	0	0	0	0	0
滋賀縣	1,100	0	0	0	0	0	0
岐阜縣	1,100	0	0	0	0	0	0
長野縣	1,100	0	0	0	0	0	0
宮城縣	1,100	0	0	0	0	0	0
福島縣	1,100	0	0	0	0	0	0
山形縣	1,100	0	0	0	0	0	0
青森縣	1,100	0	0	0	0	0	0
岩手縣	1,100	0	0	0	0	0	0
秋田縣	1,100	0	0	0	0	0	0
山形縣	1,100	0	0	0	0	0	0
福島縣	1,100	0	0	0	0	0	0
茨城縣	1,100	0	0	0	0	0	0
栃木縣	1,100	0	0	0	0	0	0
群馬縣	1,100	0	0	0	0	0	0
埼玉縣	1,100	0	0	0	0	0	0
東京府	1,100	0	0	0	0	0	0







相稱レ共事務ヲ取扱ハレム

但當分ノ内歐文電報歐字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス

明治二十三年三月二十七日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

國郡名

局名

山城國葛野郡

伏見郵便電信局

越中國下新川郡

魚津郵便電信局

若狹國遠敷郡

小濱郵便電信局

○遞信省告示第六十四號

來四月一日ヨリ安藝國佐伯郡友田郵便局貯金事務ヲ同郡玖島郵便局ニ移レ同日ヨリ共事務ヲ繼續取扱ハレム

明治二十三年三月二十七日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第六十五號

一遞信省監察章 東第二六二號

右ハ東京郵便電信局鐵道郵便係員備會田義彰ニ渡置タル處落失セル旨届出タリ依テ該印章ハ自今無効トス

明治二十三年三月二十七日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○海軍省告示第九號

海軍部内ノ工事ヲ請負ントスル者ハ左ノ規則ニ從フヘシ

明治二十三年三月二十八日

海軍大臣伯爵西郷從道

工事請負規則

第一章 總則

第一條 海軍工事ノ請負ハ一式請負及分科請負トス

一式請負トハ共工事一口ノ材料職工人夫等合セテ之ヲ一人若クハ一社ニ請負ハシムルモノヲ謂フ

分科請負トハ共工事一口ノ材料職工人夫等ヲ類別シテ之ヲ各二人若クハ二社以上ニ請負ハシムルモノヲ謂フ

第二條 鎮守府其他各廳ニ於テハ請負ハシメントスル工事ノ設計圖若クハ仕様書ヲ作り置クモノトス

工事請負ノ競争ニ加ハラントシ若クハ契約ヲ結ハントスル者ハ前項ノ設計圖仕様書ヲ熟覽スヘシ

第三條 工事請負ノ競争ニ加ハラントシ若クハ契約ヲ結ハントスル者ハ掛官ノ立會ヲ得テ現工場ヲ熟覽スルコトヲ得

第四條 請負ノ競争ニ加ハラントシ若クハ契約ヲ結ハントスル者ハ市町村長又ハ區長ノ與書ヲ受ケ或ハ會社組合等ニシテ官許ニ係ルモノハ其指令書若クハ許可狀ノ寫ヲ添ヘ二年以來其職業ニ従事シタル證明書ヲ出スヘシ

第五條 請負ノ競争ニ加ハラントスル者ノ入札保證金ハ見積代金ノ百分ノ五以上契約保證金ハ共代金ノ百分ノ十以上各廳ニ於テ定ムル所ニ依リ納ムヘシ

隨意契約ノ保證金ハ主務官ト請負人ト協議決定スル所ニ依ル但場合ニ依リ保證金ヲ免除スルコトアルヘシ



第六條 現金ヲ以テ保證金ヲ納ムルトキハ通貨銀行紙幣兌換銀行券日本銀行正金銀行國立銀行預券等ノ内ヲ以テス可シ但銀行ノ預券ニハ保證金トシテ海軍某屬ニ納ムル旨ヲ明記シタルモノニ限ル

第七條 公債證書ヲ以テ保證金ヲ納ムルトキハ大藏省ニ於テ定ムル所ノ價格ニ據リ書入證書ヲ添付ス可シ但利札ハ拂渡期日前ニ下附ス

第八條 入札保證金ハ入札人入札ノトキ之ヲ掛官ニ出スヘシ契約保證金ハ請負人結約ノトキ掛官ノ指示スル所ニ納入スヘシ

第九條 入札保證金ハ落札者契約ヲ結ハサルトキハ官ノ所得トシ會計規則 第七十一條落札ナラサル者ニハ即時還附シ落札者ニハ契約保證金納入ノ後之ヲ還付ス

第十條 契約保證金ハ竣功證書ヲ付與シタル後之ヲ還付ス若シ請負人契約ノ義務ヲ果サハルトキ及契約書ニ掲グル處分法ニ依リ金額若クハ幾分ヲ官ノ所得トス但其事由天災其他防制スヘカラサル事故ニ原由スルモノト認定スルトキハ還付スルコトアルヘシ

第十一條 契約書ニハ請負事項請負金額保證金額始終期限保證金處分法、金額仕拂期限、其他一切必要ナル條件ヲ掲載シ且契約書ニ明文アルモノ、外總テ本規則ニ從フ旨ヲ明記シ會計規則 第八十條ニ仕樣書仕譯書等必要書類ヲ添付スヘシ

第十二條 契約書ニハ請負人保證人連署捺印シ領守府ニ在テハ建築部長第二局ニ在テハ局長若クハ主務課長署名捺印スルモノトス

契約書ハ正副二本ヲ作り一本ハ官ニ留メ一本ハ請負人ニ於テ所持スルモノトス豫定價格五百圓未満ノ隨意契約ニ於テ契約書ヲ用ヒサルトキ會計規則 第八十二條ハ請負人署名捺印シタル其代用書ニ主務課長若クハ主任官調印スルモノトス

第十三條 請負人死亡シ又ハ身代限トナルトキハ保證人ニ於テ請負人ト同一ノ資格アル者ヲ撰

ミ官ノ許可ヲ得テ契約ヲ履行セシムヘシ若シ保證人其義務ヲ果サハルトキハ契約ヲ解キ保證金ヲ官ノ所得トス但既濟部分ニ對スル仕拂金額ハ検査官吏ノ認定會計規則 第六十七條ニ依リ下附スヘシ

第二章 競争契約

第十四條 競争入札ノ公告會計規則 第七十三條ニハ其入札ニ附スヘキ事項設計圖、仕樣書等必要ナル書類ヲ示ス場所、工事主任官吏ノ職氏名、開札日時、保證金額其他必要ノ事項ヲ掲グルモノトス

第十五條 入札書ニハ必ス仕譯書ヲ添ヘ入札人ノ職業住所姓名ヲ記載スヘシ入札者會社ナルトキハ其社長又ハ代理人ノ住所姓名ヲ記載スヘシ他人ノ代理トシテ入札スルトキハ委任狀ヲ添付スヘシ又二年以來其職業ニ從事シタル證明書ヲ提出シ且相當ノ資産ヲ有スル保證人之ニ連署調印ス可シ

第十六條 入札人ハ入札前本規則及設計圖、仕樣書等必要ナル書類其他現工場等ヲ熟知シタルモノト爲ルヲ以テ開札後ニ至リ故障ヲ陳フルコトヲ附サス

第十七條 入札書ハ開札ノ日掛官ニ出ス可シ

第十八條 開札ハ領守府ニ在テハ建築部長第二局ニ在テハ局長又ハ主務課長立會ノ上入札人ノ面前ニ於テ主任官入札書ヲ開封シ其要件ヲ朗讀記帳シ最低金額ノ入札人ヲ以テ落札者ト定ム但入札保證金ヲ出サハル者ノ入札書ハ開封セシメテ却下ス又仕譯書ヲ添付セズ入札書其式ニ違ヒ相當ノ證明書類ヲ出サス若クハ保證人ヲ有セサル者ノ入札ハ直ニ却下スルモノトス

第十九條 入札金額一モ豫定價格ノ制限ニ達セズ再入札ヲ爲サシムル會計規則 第七十七條トキハ即日同所ニ於テ之ヲ行フ再入札ノ金額仍ホ一モ該制限ニ達セサルトキハ其入札ヲ取消スコトアルヘシ

第二十條 落札トナルヘキ同價ノ入札人數名アルトキハ即日同所ニ於テ再入札ヲ爲サシメ仍ホ同



價ノ入札人アルトキハ抽籤ヲ以テ落札人ヲ定ム會計規則第七十八條

第二十一條 第十九條及前條ニ依リ再入札ヲ爲シタル落札者ハ二日以内ニ其落札金額ニ對スル仕  
課書ヲ出スヘシ之ヲ出サハルトキハ保證金ノ金額若クハ一部ヲ官ノ所得トシ契約ヲ結ハサルコ  
トアルヘシ

第二十二條 入札金額ノ仕課書ニ誤謬アルトキハ其訂正ヲ許スト雖トモ入札金額ノ改正ハ之ヲ許  
サス

第三章 隨意契約

第二十三條 隨意契約ハ鎮守府ニ在テハ建築部長第二局ニ在テハ局長若クハ主務課長其契約ヲ結  
ハントスル請負人ヲシテ見積價格書及仕課書ヲ出サシメ其金額五千圓未満ハ一週日以内五千圓  
以上ハ二週日以内ニ之ヲ決定シ請負人ニ通知シ保證金ヲ納メシメ且契約書ニ御印セシム但時宜  
ニ依リ延期ヲ要スルトキハ速ニ請負人ニ通知スルモノトス

第二十四條 一口五百圓未満ノ隨意契約ノ場合ニ於テハ主務課長若クハ主任官ハ請負人ヲシテ見  
積價格書及仕課書ヲ出サシメ五日以内ニ之ヲ決定シ請負人ニ通知シ仕課書又ハ承諾書ニ御印セ  
シム但保證金ヲ要スルトキハ前條ニ依ル

第二十五條 隨意契約ヲ結ハントスル請負人前兩條ノ期日内ニ確定ノ通知ヲ得ス若クハ確定延期  
ノ通知ヲ得タルトキ其契約ヲ辭スルコトヲ得

第四章 工事ノ施行及検査

第二十六條 工事請負ノ契約ハ請負人ニ於テ自ラ工事ニ係ル一切ノ事項ヲ擔任シ官ノ許可ヲ得ス  
シテ工事ノ全部若クハ一部ヲ他人ニ請負ハシムルコトヲ得ス若シ許可ヲ得スシテ之ヲ他人ニ請  
負ハシムルコトアルトキハ保證金ノ金額若クハ一部ヲ官ノ所得トシ契約ヲ解クコトアル可シ

第二十七條 工事ハ契約書ニ記載スル日時ニ必ス其工事ニ著手シ工事主任官吏ノ指揮アルニ非ツ  
レハ仕様書設計圖等ヲ遵守シ少シモ之ヲ變更スルコトヲ許サス

第二十八條 海軍官廳ノ構内ニ於テ工事ヲ施行スルトキハ請負人必ス構内取締ニ係ル諸則ヲ遵守  
シ材料物品ノ出入火災ノ豫防其他一般ノ事項ニ注意シ日々ノ服業時間ハ工事主任官吏ノ許可ヲ  
受ク可シ

第二十九條 工事施行中現工場ニハ請負人若クハ適當ノ代理人常ニ臨在シ工事ニ係ル事項ヲ擔任  
シ工事主任官吏ノ巡檢スルトキハ必ス之ニ隨伴ス可シ若シ主任官吏ニ於テ成績不充分ト認ムル  
所アルトキハ直ニ之ヲ改修セシム

第三十條 請負人ハ其使役スル職工人夫等ノ行爲ニ係ル一切ノ責任ヲ負フモノトス若シ官ニ於  
テ職工人夫中強硬命ニ服セズ其他不正ノ行爲等アルモノアルカ若クハ從前海軍官廳ニ於テ使役  
レ行爲不正ノ爲解雇シタルモノ等アルトキハ其使役ヲ禁止スルコトアルヘシ

第三十一條 工事ニ使役スル職工ハ各職業ニ區別シ其工程ニ依リテ人員ヲ配置シ一週間毎ニ其名  
簿ヲ工事主任官吏ニ出ス可シ

第三十二條 工事ニ使用スル材料物品ハ其工場掛官若クハ主任官吏ヲシテ運入コトニ検査セシム  
検査ヲ經サル材料物品ハ一切使用スルコトヲ許サス

第三十三條 工事ニ使用スル倉庫車馬器具器械等及其雜費ハ契約ニ明文アルモノヲ除クノ外總テ  
請負人ニ於テ調辦スルモノトス若シ官有倉庫等ヲ使用セシムルトキハ相當ノ使用料ヲ徴收スル  
モノトス

第三十四條 工事ノ全部若クハ其一部ノ竣成シタルトキハ建築部長若クハ主務課長ヲシテ竣功檢  
査ヲ行ハシム其成績合格ト認ルトキハ其契約書ニ署名捺印シタル部局課長ヨリ請負人ニ證認



書ヲ付與ス但之ヲ付與スル以前ニ於テハ其築造物件ニ何等ノ故障アルモ官其責ニ任セズ

第三十五條 竣功検査ヲ行フトキハ其時日ヲ請負人ニ告示シ其検査ニ立會ハシム該請負人共告知ヲ受クルモ検査ニ立會ハサルトキハ検査ノ結果ニ對シ異議ヲ申立ルコトヲ得ス

第三十六條 竣功検査ニ於テ其成績不合格ト認ルトキハ司令長官若クハ局長ノ特許スル日數ヲ限リ之ヲ改修セシム

第三十七條 請負人ニ於テ検査諸員ノ認定ニ服スルヲ得サルトキハ三日以内ニ當該官吏ヲ經由シ司令長官若クハ局長ニ其事由ヲ申立ルコトヲ得

第五章 契約履行ニ關スル諸則

第三十八條 請負人ニ於テ契約書若クハ其代用書類ニ明記シタル竣功期限ノ延期ヲ請求セントスルトキハ其期日ヨリ少ナクモ三日以前ニ理由ヲ詳述シタル願書ヲ出スヘシ

司令長官若クハ局長前項ノ願書ヲ受ケタルトキハ契約書若クハ其代用書類ニ明記シタル請負日數ノ五分ノ一以内ノ日數ヲ限り許否スルモノトス

第三十九條 契約書若クハ其代用書類ニ明記シタル竣功期限内ニ(許可ニ係ル延期日)其事項ヲ竣ラヌ又ハ改修期限内ニ之ヲ改修セサルトキハ其翌日ヨリ起算シ延滞日數一日コトニ請負金額ノ二分ノ一ニ相當スル金額ヲ請負金額ノ内ヨリ減殺スルモノトス

前項ノ延滞日數契約書若クハ其代用書類ニ明記シタル期限日數ノ五分ノ一ニ相當スル日數ニ及フトキハ直ニ契約ヲ解キ其保證金ヲ官ノ所得トス但既濟部分ニ對スル金額ハ検査官吏ノ認定スル所ニ依リテ之ヲ下付ス

第四十條 天災其他防制スヘカラサル事故ニ因リ約定期限ヲ後ルヽトキハ該請負人共事故ヲ證明スヘキ書類ヲ添ヘ速ニ主務課長若クハ主任官吏ニ之ヲ告知スヘシ

前項ノ場合ニ於テ其約定期限ヲ改ムルト否トハ局長若クハ建築部長ノ決定スル所ニ依ル

第四十一條 請負事業著手ノ後官ノ都合ニ依リ一時中止又ハ廢止ヲ要スルトキハ請負人ニ於テ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス但廢止ノ場合ニ在テハ保證金ヲ還附シ其既濟部分及現場ニ運入シタル材料ニ對スル金額ヲ下付シ及運入ニ係ル雜費ヲ辨償シ其材料ハ官ノ所得トス

第四十二條 前條ニ依リ工事請負人ニ於テ工事ヲ一時中止セラレ共中止一年以上ニ及フトキハ其契約ヲ辭スルコトヲ得此場合ニ於テハ保證金ヲ還附スル等前條工事廢止ノ例ニ依ル

第四十三條 官ノ都合ニ依リ請負事業ノ一部若クハ數部ノ變換ヲ要スルトキハ請負人ニ於テ異議ヲ申立ツルコトヲ得サルモノトス但此場合ニ在テハ仕譯書ヲ改調セシメ請負金額ヲ増減スヘシ

第四十四條 請負人ハ建造物件ノ性質ニ依リ保存期ヲ約定シ其期限内ニ生シタル破損等建造ノ粗略ニ基キタル證アルモノハ自費修理スルモノトス若シ此修理ヲ怠ルトキハ官ニ於テ之ヲ修理シ其費支辨セシム但時宜ニ依リ保證金トシテ契約保證金ノ一部ヲ官ニ領置スルコトアルヘシ

○農商務省告示第一號

第十回獸醫開業試驗舉行地方及其期日左ノ通和定ム志願ノ者ハ明治十八年第十七號布達及同年第十九號告示ニ準據シ其願書ニ試驗ヲ受ケント欲スル地名ヲ記載シ本年六月中居住ノ地方廳ヘ差出スヘシ

明治二十三年三月二十八日

明治二十三年九月二日

同 九月十六日

山形縣下山形  
長野縣下長野  
盛手縣下盛岡  
福井縣下福井

農商務大臣岩村通俊



同	十月七日	〔島取縣下島取〕 〔奈良縣下奈良〕
同	十月二十二日	〔山口縣下山口〕 〔愛媛縣下松山〕
同	十一月五日	福岡縣下福岡
同	十一月十八日	佐賀縣下佐賀
同	十二月二日	東京府下東京

○遞信省告示第六十六號

一甲種一等遞轉手免狀

第百十號

明治二十年四月十二日登簿

右ハ丁扶國人クヌッド、ピーター、ロハンセン所有ノ處汽船越中丸へ乗組執職中本年三月三日青森縣下尻矢崎ニ於テ本船難破沈没ノ際流失セシ旨届出ニ依リ其所在見聞ノ者ハ速ニ管轄廳へ申出ツヘシ但該免狀ハ無効ニ屬ス

明治二十三年三月二十八日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○大藏省告示第十八號

本年ハ當省告示第二號德島木金庫日和佐支金庫ノ位置大字日和佐浦村ヲ奥河内村ト改ム

明治二十三年三月二十九日

大藏大臣伯爵松方正義

○遞信省告示第六十七號

渡島國熊石始メ左ノ郵便局ニ郵便爲替事務ヲ開始シ來ル四月十六日ヨリ其事務ヲ取扱ハレム但シ當分ノ内郵便小爲替振出事務ヲ取扱ハス

明治二十三年三月二十九日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

渡島國爾志郡熊石郵便電信局

渡島國上磯郡木古内郵便局

○農商務省告示第二號

明治二十二年ハ農商務省告示第一號第三條中「金壹圓」ヲ「金五圓」ニ第七條ヲ「代價及手数料ハ現金又ハ爲換券ヲ以テ當省會計局へ納ム」ヘシ但東京市内ニ限リ納入告知書ヲ發送スヘシト改正ス

明治二十三年三月三十一日

農商務大臣岩村通俊



○文部省告示第四號

右ハ明治二十二年一月法律第一號徵兵令第十一條ニ依リ中學校ノ學科程度ト同等以上ノモノト認ム  
鳥取縣立農學校 徵兵令  
明治二十三年四月一日  
文部大臣子爵榎本武揚

○司法省告示第九號

明治二十二年本省告示第十號中德島始審裁判所管内德島治安裁判所富岡出張所同奥河内出張所  
町治安裁判所川島出張所裁判開延期日左ノ通改正シ明治二十三年五月ヨリ施行ス  
明治二十三年四月二日  
司法大臣伯爵山田顯義  
德島治安裁判所富岡出張所 一月 五月 七月 十月 各一箇月間  
德島治安裁判所奥河内出張所 二月 五月 十一月 各一箇月間  
脇町治安裁判所川島出張所 三月 六月 九月 十二月 各一箇月間

○逓信省告示第六十八號

民有地ニ建設セル電信柱敷地手當金請求方ハ自今前年四月ヨリ次年三月マテノ分ハ其年七月三十  
一日マテニ交付候補該敷地手當金ヲ受領スヘキ者ハ左ノ書式ニ據リ其年四月五日迄ニ管轄地方廳  
ハ交付方申出ツヘシ但受領者ハ最寄協議ノ上便宜代理人ヲ定メ交付方申出ツルモ妨ケナシ  
明治二十三年四月四日  
逓信大臣伯爵後藤象二郎

(書式)

一 金額欄  
但明治何年何月ヨリ何月マテ電信柱敷地手當金請求方ハ自今前年四月ヨリ次年三月マテノ分ハ其年七月三十  
日迄ニ交付候補該敷地手當金ヲ受領スヘキ者ハ左ノ書式ニ據リ其年四月五日迄ニ管轄地方廳  
ハ交付方申出ツヘシ但受領者ハ最寄協議ノ上便宜代理人ヲ定メ交付方申出ツルモ妨ケナシ  
付金額欄  
(注) 書式ニ一水ノ手當金額ハ厘位ニ止ムヘシ



右等賞金交付相成度候也

年月日

何處何郡何町何番地

何 某

北海道廳長官府縣知事宛

○司法省告示第十號

明治十四年中仙臺裁判所盛岡支廳並ニ明治十五年以來盛岡始審裁判所ニ於テ刑事ニ關シ領置シタル金錢物品ニシテ所有主不分明ナルモノ數種有之候條右下渡ヲ請フモノハ事由ヲ詳記シ明治二十三年六月三十日迄ニ盛岡始審裁判所ヘ申出ヘシ

明治二十三年四月五日

司法大臣伯備山田顯義

○逓信省告示第六十九號

千島國國後郡東津村字瀬石ニ三等郵便局ヲ置キ瀬石郵便局ト稱シ來五月一日ヨリ共事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年四月五日

逓信大臣伯備後藤象二郎

○逓信省告示第七十號

東京電信建築區第十部ヘ左ノ電信線路ヲ編入ス

明治二十三年四月五日

逓信大臣伯備後藤象二郎

長野縣上水内郡吉田村間  
同 高井郡須賀村間

○逓信省告示第七十一號

來五月一日ヨリ管岐國石田郡郷ノ浦郵便局ヲ郷ノ浦郵便電信局トシ共事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年四月七日

逓信大臣伯備後藤象二郎

○宮内省告示第十二號

與佐世保兩鎮守府及江田島海軍兵學校ヘ 行幸 仰出サル  
但御發禁日限ハ道テ 仰出サルヘシ

明治二十三年四月九日

宮内大臣子爵土方久元

○内務省告示第十二號

一開化ものハせくし  
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認メ其發賣頒布ヲ禁止ス

明治二十三年四月九日

内務大臣伯備山縣有朋

○大藏省告示第十九號

起業公債證書ニ屬スル明治二十四年以降ノ利札ハ本年十二月渡利金支拂ノ後第一國立銀行三井銀行本支店及代理店ニ於テ該證書ヘ貼付割印シテ下渡サシムヘシ  
但貼付ノ時期及手續等ハ第一國立銀行三井銀行ヨリ廣告スヘシ

明治二十三年四月九日

大藏大臣伯備松方正義

○内務省告示第十三號

國幣中社  
阿蘇神社 熊本縣肥後國阿蘇郡宮地村鎮座  
右官幣中社ニ昇格ノ旨仰出サル

明治二十三年四月十日

内務大臣伯備山縣有朋



○司法省告示第十一號

明治二十二年本省告示第十號中橫濱始審裁判所管内小田原治安裁判所厚木出張所裁判ハ當分不開廷ノ處明治二十三年四月ヨリ開廷ス

明治二十三年四月十日

司法大臣伯露山田顯義

○大藏省告示第二十號

岐阜本金庫大垣支金庫ヲ本月十三日ヨリ安八郡大垣町大字大垣優町へ移ス

明治二十三年四月十一日

大藏大臣伯露松方正義

○逓信省告示第七十二號

一 逓信監察官吏ノ章 名第四七號  
右ハ愛知縣名古屋市矢場町舊郵便貯金預所へ下渡置タル處今般紛失セル旨届出タリ依テ該印章ハ自今無効トス

明治二十三年四月十一日

逓信大臣伯露後藤象二郎

○海軍省告示第十號

海軍技工三名採用ス出身志願ノ者ハ左ノ規則ニ據リ四月三十日マテニ出願ス可シ

明治二十三年四月十二日

海軍大臣伯露西郷從道

海軍技工臨時採用規則

第一條 海軍技工ヲ志願スルコトヲ得ヘキ者ハ年齡本年ニ於テ滿二十年以上三十年未滿身長五尺以上身體完全強健精神異狀ナキ者タルヘシ但左ニ掲グル者ハ志願スルコトヲ得ス  
一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

二 刑事被告トナリ裁判未決ノ者

三 身代限リノ處分ヲ受ケ負債ノ義務ヲ免レサル者

第二條 志願人身體検査ニ合格シタルトキハ學術ヲ試験ス身體検査ニ合格セサルトキハ學術ヲ試験セシム

第三條 志願人學術試験ニ合格シタルトキハ試驗成績ノ順序ニ依リ技工ニ採用ス

第四條 學術試験ノ科目ハ左ノ如シ

- 一 數學 四則比例 二 普通測量術 三 製圖 山脈沙點
- 四 讀書 歴史 地理 五 作文 公用文 記事文

第五條 志願人ノ身體検査學術試験ハ五月五日ヨリ水路部ニ於テ行フ

第六條 志願人ハ検査時日前東京ニ到着シ止宿所ヲ水路部ニ届出ヘシ

第七條 志願人ハ左ノ書式ニ依リ市町村長ノ與書押印アル願書及戶籍明細書ヲ水路部ニ出スヘシ

願書式

海軍技工採用願

海軍技工マラシコトヲ志願候ニ付御検査ノ上御採用被下度此際察願候也

明治二十三年 月 日

市町村長(可) (村) (寄附) (寄附)

向來職ノ形又向キ

氏 名

海軍大臣伯露氏名殿

市町村長 氏 名 印

前書ノ通水人志願相違無之候也







○遞信省告示第七十四號

名古屋電信建築區第四部第五部第六部ヲ左ノ通改正ス

明治二十三年四月十六日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

名古屋電信建築區

部名	區	城	備考 建電 手本 屋地名
第四部	滋賀縣下長濱間 石川縣下金澤間 同 勝山間	福井縣下八重垣村間 同 阪井港間	福井
第五部	石川縣下金澤間 新潟縣下直江津間 同 七尾間	石川縣下津幡間 同 金沢間 同 富山縣下高岡間 同 伏木間	金澤

○大藏省告示第二十一號

預金局金貨預リノ儀ハ預金本局ノ外各地金庫ニ於テハ來ル五月一日ヨリ廢止ス

明治二十三年四月十七日

大藏大臣伯爵松方正義

○海軍省告示第十一號

本年七月横須賀水雷隊佐世保水雷隊對馬水雷隊ニ要スル水雷夫ヲ徵募ス人員徵募區域ハ左ノ如シ

明治二十三年四月十七日

海軍大臣伯爵西鄉從道

水雷隊 設置地	徵募人員	徵	募	區	城
佐世保	六十人	長崎縣管下 東彼杵郡 北松浦郡	久良岐郡 橋邊郡 鎌倉郡 高坐郡 大住郡		
對馬管敷	百二十人	長崎縣管下 對馬國			

○遞信省告示第七十五號

北見國利尻郡鬼脇村ニ三等郵便局ヲ置キ鬼脇郵便局ト稱シ來ル五月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年四月十七日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第七十六號

佛蘭西國ニ於テ「マダガスガル」國「ママト」ニ設置ノ郵便局ハ以來同國「マシヤンガ港(Majunga)」ノ郵便事務ヲ兼攝候ニ付同港ニ發著ノ郵便物ハ萬國郵便聯合條約及同細目規則ニ準據取扱且聯合國同様ノ郵便稅ヲ課スヘシ

明治二十三年四月十八日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○海軍省告示第十二號

本年二月告示第五號物品購買賣却規則第十三條「死亡」ノ下ニ「失踪」ノ字ヲ加ヘ第五十七條第五十八條ヲ削除ス

明治二十三年四月十九日

海軍大臣伯爵西鄉從道

○遞信省告示第七十七號

來五月一日ヨリ磐城國三春三河國西尾及伯耆國倉吉電信局ヲ三等トシ各同地郵便局ニ合併左ノ通相稱シ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年四月十九日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

但當分ノ内歐文電報數字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス

明治二十三年四月十九日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

國郡名

局名

磐城國田村郡

三春郵便電信局

三河國幡豆郡

西尾郵便電信局



伯耆國久米郡 倉吉郵便電信局

○逓信省告示第七十八號

本年三月中西洋形船へ左ノ信號符字ヲ附メ

明治二十三年四月十九日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

西洋形船

信號符字	免狀番號	船名	種類	定駁場	船主氏名
HGWK	1169	第一號 幸運輪丸 Kenyu Maru No. 2	汽	大阪	尼崎伊三郎
HGWL	1170	陽田川丸 Sanidagawa Maru	汽	同	大阪商船會社
HGWM	1171	雁丸 Karigane Maru	帆	渡島國函館	辻松之丞
HGWN	1172	第一號 敷川丸 Hijikawa Maru No. 1	汽	伊豫國長濱	敷川會社
HGWP	1173	第二號 敷川丸 Forichi Maru No. 2	帆	陸奥國青森	大村龜松
HGWQ	1174	大黒丸 Daikoku Maru	汽	尾張國熱田	共立汽船會社
HGWR	1175	第一號 丹波丸 Daichi Maru	汽	播磨國神戸	日本汽船會社

○大藏省告示第二十二號

當省金庫局大阪出張所業務ノ備ハ自今當省金庫局ニ於テ取扱ハシム

明治二十三年四月二十一日

大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第二十三號

神戸本金庫姫路支金庫ヲ本月二十日ヨリ姫路市大字姫路西呉服町へ移ス

明治二十三年四月二十一日

大藏大臣伯爵松方正義

○逓信省告示第七十九號

第三種郵便物ヲ差出ス者ハ郵便局ニ於テ其検査ヲ容易ナラシメンカ爲メ本紙ニ印刷シタル「逓信省認可」ノ文字ハ卷封又ハ包裝メノ外部ニ表出スル様注意スヘシ

明治二十三年四月二十二日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

○逓信省告示第八十號

左ノ鐵道停車場電信取扱所ニ於テ來五月一日ヨリ尋問電報及別使配達電報モ亦發著共之ヲ取扱フ

明治二十三年四月二十二日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 武藏國神奈川鐵道停車場電信取扱所 | 相模國藤澤鐵道停車場電信取扱所 |
| 相模國國府津鐵道停車場電信取扱所 | 相模國平塚鐵道停車場電信取扱所 |
| 相模國戸塚鐵道停車場電信取扱所  | 相模國大磯鐵道停車場電信取扱所 |
| 相模國鎌倉鐵道停車場電信取扱所  | 尾張國龜崎鐵道停車場電信取扱所 |
| 遠江國袋井鐵道停車場電信取扱所  | 駿河國興津鐵道停車場電信取扱所 |
| 駿河國岩淵鐵道停車場電信取扱所  | 駿河國島田鐵道停車場電信取扱所 |
| 上野國磯部鐵道停車場電信取扱所  | 上野國横川鐵道停車場電信取扱所 |
| 攝津國西ノ宮鐵道停車場電信取扱所 | 攝津國神崎鐵道停車場電信取扱所 |

○内務省告示第十四號

一 改頁輕便手形 東京市赤坂區青山町五丁目七十六番地寄附新編縣平民押見釜八發行

右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁止ス

明治二十三年四月二十三日

内務大臣伯爵山縣有朋



○遞信省告示第八十一號

一 遞信監察官吏ノ章 形第八號

山形郵便電信局雇東端丸渡ノ分

右本月十二日夜盜難ニ罹リタル旨届出タリ依テ該印章ハ自今無効トス

明治二十三年四月二十三日 遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第八十二號

來ル五月十六日ヨリ越前國坂井郡坂井港電信局ヲ三國電信局ト改稱ス

明治二十三年四月二十四日 遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第八十三號

左ノ郵便電信支局ニ電信爲替ヲ開設シ來ル五月十六日ヨリ共事務ヲ取扱ハレム

明治二十三年四月二十四日 遞信大臣伯爵後藤象二郎

滋津國神戸市兵庫郵便電信支局

○司法省告示第十三號

明治二十二年本省告示第十號中横濱始審裁判所管内八王子治安裁判所中野出張所裁判ハ管分不開

延ノ處明治二十三年五月ヨリ開廷ス

明治二十三年四月二十五日 司法大臣伯爵山田顯義

○遞信省告示第八十四號

來五月一日ヨリ近江國坂田郡磯井郵便局ヲ同郡柏原村ニ移シ柏原郵便局ト改稱ス

明治二十三年四月二十六日 遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第八十五號

來五月一日ヨリ丹波國北條郡宮ノ脇郵便局ヲ同郡宮島村大字板橋ニ移シ板橋郵便局ト改稱ス

明治二十三年四月二十六日 遞信大臣伯爵後藤象二郎

○内務省告示第十五號

一 どうしけいおきあもんく 一册 山口縣長阿國阿武郡萩川島村八十九番地寄留置院縣平民藤井孫次郎發行

右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁止ス

明治二十三年四月二十八日 内務大臣伯爵山縣有朋

○大藏省告示第二十四號

一金三百萬圓 七分利付金祿公債元金

但内金八拾六萬圓ハ二十三年度歲計豫算ニ據リ償還ノ分

右金額償還ノ爲メ來五月中抽籤執行ス

但抽籤ノ都合ニ由リ償還金額ニ多少ノ増減アルヘシ

明治二十三年四月二十八日 大藏大臣伯爵松方正義

○農商務省告示第三號

來明治二十四年(一千八百九十一年)一月ヨリ向フ三箇月以上ノ見込ヲ以テ英領ジャマイカ島ニ於

テ博覽會開設ニ付出品セント欲スル者ハ左ノ條規ニ據ルヘシ

但政府ニ於テハ該會ニ參同セズ

明治二十三年四月二十八日 農商務大臣岩村通俊

一千八百九十一年ジャマイカ島博覽會條規摘譯



第一條 當博覽會ハシヤマイカ島ノ物産、製造物、及工藝品博覽會ノ一ニシテ英國及諸外國並ニ諸殖民地ノ工藝品、機械、農工物産ヲ併セテ陳列スルモノトス

第二條 當博覽會ハ一千八百八十九年第三十三號ノ法律ニ從テシヤマイカ博覽會委員ノ誘導ト管理スル所ニ依ル

第三條 當博覽會ハ便宜ヲ謀リキングストン市街ノ北境ク非ペンクロッヂノ土地ニ於テ博覽會ノ爲ニ建築スヘキ家屋ニ於テ開設ス

第四條 當博覽會ハ一千八百九十一年一月ノ火曜日ヨリ開設シ三箇月間以上繼續ス

第五條 事務ノ一定ヲ要スル爲メ各國及殖民地ニ於テハ出品人ノ爲ニ幹旋スヘキ中央事務官或ハ專任委員ノ設置アルヘシ

此事務官或ハ委員ハ左ノ職務ニ從フヘシ

(甲)規則條規及書式ヲ分配シ或ニ出品人タルヘキ者ニ之ヲ配附スヘシ

(乙)書式成就セシ時ハ出品目錄ヲ受取ルヘシ

(丙)一切ノ事務ハ直ニ博覽會書記官ニ商議シ及出品場席等ニ就テノ請求ハ時々書記官ニ進達スヘシ

(丁)委員ハ若干ノ場所ヲ必要ナリト決定セシ時ハ之ヲ各受持ノ國及殖民地ノ出品人ニ區畫ヲ定テ配當スヘシ

第六條 何等ノ性質ノ費用ニテモ一國、或ハ一殖民地ノ名義ニ關係セサルモノハ其國或ハ殖民地ノ管理ニ屬セス總テ出品人各自ノ負擔タルヘシ

第七條 列品區畫ハ委員ニ於テ印刷ニ附シ之ヲ製シ一千八百九十年五月一日或ハ其前ニ書記官ノ許ニ差出シ置クヘシ

第八條 書記官ハ一千八百九十年六月一日前ニ委員ノ決議ヲ報告シ及若干ノ場席ヲ定メ若干ノ分劃スヘシ

第九條 博覽會場ニ於テ出品目錄ノ受領ハ一千八百九十年九月一日ヨリ相始メ同年十二月一日後ニ及フ者ハ總テ出品ヲ許サス

交付セシ場所及一千八百九十年十二月一日迄ニ滿チサル場所ハ委員ニ返還シ再交附ニ屬スヘシ

第十條 總テノ出品物ハ左ノ區畫ニ從テ陳列スヘシ

第一部 原料品

第二部 原料品ヲ收ル器具

第三部 原料品ヲ製造物ニ整理スル機械及方法

第四部 諸製造物

第五部 教育品

第六部 美術、文學及學術

每部ヲ別テ附録ニ示セル所ノ普通分科ノ組織ニ從テ類ト爲ス此附録ハ其類ニ對シ物名ノ簡略ナル數ヲ掲ク

第十一條 英國或ハ諸外國或ハ諸殖民地ヨリ搬送ノ荷物ハ其見易キ所ニ(Jamaica Exhibition)ノ記號ヲ附シ出品人各自又ハ其代理者若クハ委託引受人若クハ本國又ハ本殖民地ノ定メタル委託引受人ニ宛特ニ發送地ノ國名又ハ殖民地名ヲ見易キ所ニ記入シ詳細ナル目錄ヲ添フヘシ其目錄ノ寫一通ハ郵便ヲ以テ出品物引受人ニ向ケ送付スルモノトス

第十二條 博覽會ニ送ルヘキ各物品荷物ニハ爾先、出品人ノ氏名及類名ヲ定メタル票札ヲ附スヘシ

第十三條 諸外國ノ出品人ハ出品運搬及取繼ハ之ヲ各自ニ於テ爲シ或ハ委託引受人ニ爲サシムル



ノ準備ヲ爲ス可シ

第十四條 シヤマイカ島ニ於ケル諸外國又ハ諸殖民地ノ出品委託引受人ハ出品物ノ受入、荷解、閉場後取片附等ノ帶ニ應スヘシ

第十五條 出品人ハ開場中賣買ニ供セサル出品ノ陳列ニ要スル場席料ヲ拂フニ及ハス其賣買品ニ供スル場席料ハ書記官ニ於テ之ヲ廣告スヘシ

第十六條 列品席 會場中一國又ハ一殖民地ニ附與スヘキ場席ハ公衆ノ通路ヲ除キタル床張ノ所ヲ以テ之ニ充ツヘシ

第十七條 飾箱 格段ノ容積又ハ雛形ノモノニアラサレハ敷蓋及飾柵ヲ設ケス然レトモ委員ノ特別ナル許可ナキ限りハ左ノ高ニ超ユルコトヲ得ス  
 飾箱及限隔 床上十英尺  
 飾柵 同 三英尺  
 敷蓋 同 一英尺

右ニ記載セル構造ハ出品人各自ノ自辨タルヘシ

第十八條 床ノ平面上ニ英尺六英尺寸揃ノ柵ヲ設クヘシ此柵ハ每區分割シテ面積ノ内ニアルモノトス

第十九條 裝飾物懸札調整方及印刷又ハ手記ノ票札等特約ニ據リ委員ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第二十條 出品荷物ハ到着次第荷解ヲ爲シ其明箱ハ出品人又ハ委託引受人ニ於テ之ヲ取片附ルモノトシ明箱置所ハ別ニ之ヲ設ケス

第二十一條 特別ノ許可ヲ得ルニアラサレハ出品人ニ分割セシ場席ハ他ニ讓與スルコトヲ許サス又既ニ許可セシ物品ノ外搬入スルコトヲ許サス

第二十二條 出品人ハ賣買ニ供スル物品ニ代價ヲ附シ縦覽人ノ便利ニ供スヘシ

第二十三條 賣約濟ノ物品ハ特別ノ許可アルニアラサレハ開場中搬出スルヲ許サス消耗スヘキ物品ハ特別ノ陳列ニ依ル

第二十四條 水、瓦斯、又ハ蒸氣力ヲ要スル器具ヲ出品セント欲スル者ハ許可ヲ得テ必要ノ容積ヲ定メ器械ノ運轉ヲ示ス者ハ其速力ヲ定ムヘシ而シテ滑車、瓦斯、水力、蒸氣力等據附ニ係ル費用ハ出品人ノ自辨ニシテ尙本會ノ委員或ハ擔當吏ノ指揮ニ從フヘシ

第二十五條 酒精則チアルコール、油、香水ノ如ク消耗スヘキ物品及他ノ物品ヲ損スル憂アル物品及公衆ニ不便ヲ與フル恐アル物品ハ堅牢ニシテ密封セル適當ノ小櫃詰トシテ陳列スヘシ

第二十六條 雷管、烟火、化學上製造ノ摺附水及類似ノ物品ハ其製造ノ方式ノヨリ許可シ可燃性ヲ含ムモノハ會場ヨリ退カシムルコトアルヘシ

第二十七條 凡出品物ニレテ危險或ハ有害ト認ムルモノハ陳列ヲ許サス

第二十八條 列品物ハ出品人ヨリ特別ノ許可ヲ得ルニアラサレハ何等ノ方法ニ於テモ之ヲ寫眞シ圖取シ陳寫シ又ハ模造スルコトヲ許サス

第二十九條 本會ニ就テ生シタル紛議ノ裁斷ハ特ニ命セラレタル事務官ノ職權タルヘシ

第三十條 委員ハ何ナル場合ニ於テモ或事故ヨリ陳列品ニ被シタル損失又ハ償金ニ對シテ其責ヲ受ケス然レトモ責任中接近ノ關係ヨリシテ障得ヲ未發ニ防クノ必要ヲ覺知セシ時之カ豫防ヲ爲スハ委員ノ注意ニアルモノトス

第三十一條 委員ハ本會條規ニ違背セル出品人ノ物品ヲ退場セシムヘキ權ヲ有ス

第三十二條 シヤマイカ島ニ輸入スル博覽會出品物ハ何レノ港ヲ問ハス稅關吏ニ於テ正當ト認ル時ハ無檢査ニテ通關シ博覽會場ニ搬入セシメ閉場後之ヲ輸出地ニ積出ス時モ亦同シ海關稅ハ其



出品物ヲシヤマイカ島ニ於テ賣却スルニアラサレハ之ヲ課セス

第三十三條 本會委員ノ管理ニ屬セサル出品人ハ閉場後直ニ出品物取片付方ニ著手レ一箇月内ニ完結スヘシ若シ一箇月内ニ完結セサル時ハ委員ニ於テ其取片付ヲ爲シ且ツ物品ヲ賣却シテ其費用ニ充テ或ハ委員指派シテ賣却スルコトアルヘシ

第三十四條 出品人タルヘキ者ハ博覽會事務局ノ爲ニ設ケタル規則條規ヲ熟知シ且ツ之ヲ遵守ス

第三十五條 本會委員ハ本會ノ條規ヲ追加變更改正或ハ刪除スヘキ權ヲ有ス

シヤマイカ博覽會條規附錄

出品物分科組織

第一部 原料品

第一類 礦物門原料品

イ 礦物

ロ 鐵物

ハ 磷酸鹽及天然肥料

ニ 炭及化石

ホ シヤマイカ島ノ礦泉其分析及功能

第二類 植物門原料品

イ 食物 甘蔗莖穀類 根菜 糖古草シュロ コロ

ロ 菓物及捕物 バナナ 橙等

ハ 纖維 麻 蓆 蔴 マニラ 麻 椰子 綿 羊毛

ニ 木材

ホ 藥材 烟草 格加 幾那等

ハ 醬料 滋養物 咖啡 胡椒 生姜 シヤマイカ胡椒 糖水酒

ト 染料 蘇木 ロニス テック アンナット

チ 油 香油 椰子油 緊要油類

リ 園藝植物

第三類 動物門原料品

イ 牛 馬 羊 豚等

ロ 家畜 鳥 魚 龜等

ハ 蜜蜂 及 蠶

ニ 毛 角 龜甲 珊瑚等

第二部 原料品ヲ收ムル器具

第四類 採礦術 地質學 穿鑿採礦用ノ器具

第五類 農業及園藝器具

第六類 漁具 獵銃 及 狩獵具

第三部 原料品ヲ製造物ニ整理スル機械及方法

第七類 礦業門中ノ器具

イ 陶工車等

ロ 硝子吹器

ハ 陶磁器製造具

ニ 寶石製造具



第八類

金銀匠器鐵匠器具  
植物門中ノ器具

- イ 製糖器械 楨古非鹽漬器、アルロールド、西穀米、糊製造器、玉蜀黍拔器、乾燥器
- ロ 菓物乾燥器、橙包裝器等
- ハ 織綿、網、蠟、帽、籠、編物、製造器、抄紙器具
- ニ 大工道具、木匠道具
- ホ 葉卷、紙卷、烟草製造器
- ヘ 咖啡挽具、糖水酒蒸溜器
- ト 油榨出及滴落器

第九類

動物門中ノ器具

- イ 獸肉及魚類漬器
- ロ 製乳所牛酪製造所模型
- ハ 製絲製毛編物器
- ニ 蠟甲、角製造器具

第四部

諸製造物

第十類 礦業門製品

- イ 陶器、硝子、磁器
- ロ 寶石
- ハ 裁縫器、縫針、及裁縫裝置
- ニ 溫熱、光線作用ノ金屬器裝置
- ホ 蒸氣機械
- イ 金、銀、銅器、照時計及懷中時計

第十一類

植物門製品

- イ 砂糖、楨古非、糊、麵、麵食
- ロ 罐詰、乾燥、砂糖漬菓物
- ハ 絲、絹、貝、起、刷子、紙、織物
- ニ 家具、木造農家及住家ノ模型

第十二類

動物門製品

- イ 漬肉、漬魚
- ロ 製乳所ノ製品
- ハ 毛、生絲ノ製品
- ニ 革、角、骨類ノ製品

第十三類

第一第二第三部以上ノ製品

第五部 教育

第十四類 幼稚園使用物

第十五類 職工學校使用物

第十六類 尋常教育ノ組織方法及使用物

第六類 美術、文學及學術

第十七類 美術

建築



- ロ 繪畫寫眞
- ハ 彫刻
- ニ 音樂
- 第十八類 文學
  - イ シヤマイカ島及西印度ノ書籍等
  - ロ 英國同斷
  - ハ 英領殖民地同斷
  - ニ 米國同斷
  - ホ 各國同斷
  - ヘ 製本
  - ト 印刷

第十九類 學術

- イ 西印度ノ地圖及海圖
- ロ 機關衛生瓦斯電氣天文學
- ハ アルスロポロザ

○文部省告示第五號

愛知縣名古屋市市立名古屋商業學校

右ハ該ニ縣立ノ際明治二十二年ハ法律第一號徵兵令第十一條ニ依リ中學校ノ學科程度ト同等以上ノモノト認ムル旨告示シ置キタル處今般名古屋市市立ト爲シタルニ付更ニ調査ノ上引續キ中學校ノ學科程度ト同等以上ノモノト認ム

明治二十三年四月三十日

文部大臣子爵榎木武揚

○宮内省告示第十五號(官報五月一日)

聖上

皇后兩陛下來ル五月五日京都 御發聲名古屋御泊六日東京 還幸仰出サル

明治二十三年四月三十日

宮内大臣子爵土方久元

○農商務省告示第四號

林產物公賣規程左ノ通相定ム

明治二十三年五月三日

農商務大臣岩村通俊

林產物公賣規程

第一章 競争入札

第一條 林產物ノ公賣ハ入札方法ヲ用非テ施行ス可シ

第二條 林產物ヲ入札ニ付レントスルトキハ少クトモ入札期日ノ十五日以前ニ揭示若クハ官報新聞紙及其他ノ方法ヲ以テ可成ク廣ク之ヲ公告スヘシ

公告ニハ左ノ各項ノ諸件ヲ揭示ス可シ

- 一 入札ニ付スヘキ物件
  - 二 入札スヘキ場所
  - 三 入札スヘキ日限及時刻
  - 四 入札ノ保證金額
  - 五 入札ニ付スヘキ物件ノ所在地
  - 六 入札ニ付スヘキ物件ノ明細書標本表示スルノ必ノ所在地林產物公賣規程及ヒ特別契約書
- 案 林產物公賣規程ノ外特ニ契 其他契約ヲ要スル條件等ヲ示ス場所



七 入札掛長ノ官氏名

第三條 入札ニ付スヘキ物件ノ豫定價額ハ之ヲ封書トナシ入札函ニ差入レ置クモノトス

第四條 左ノ諸項ノ一ニ觸ル、者ハ入札ヲナスコトヲ得ス

一 林産物ヲ買受ケ共代金意納中ノ者

二 官林ニ關スル損害賠償若クハ違約金ノ辨償ヲ終ヘサル者

三 入札ニ付スヘキ物件ニ對シ罪ヲ犯シタル者

第五條 入札セント欲スル者ハ該物件若クハ其標本又ハ明細書及ヒ此規程並ニ特別契約書其  
該契約ニ必要ナル條件ヲ熟閱シ豫シメ不都合ナキ様心得置ク可シ

入札人ハ第一號書式ニ依リ入札書ヲ作り入札保證金ト共ニ豫定ノ日時ニ入札所ニ持參シ入札掛  
員ノ面前ニテ右保證金ノ員數ヲ收メ之ヲ封シテ入札掛員ニ差出シタル上ニテ入札ス可シ

第六條 入札掛長前條ノ保證金ヲ受領シタルトキハ第二號書式ニ依リ預證ヲ作り入札人へ交付ス  
ヘシ

第七條 入札函ハ入札締切時限ニ達スルト同時ニ閉鎖スヘシ

第八條 左ニ掲グル入札ハ無効トス

一 入札書ノ要領不明ナルモノ

二 誤字脱字汚染塗抹其他ニ由リ金員及ヒ氏名ヲ認知シ難キモノ

三 開札ニ立會ハサルモノ、入札

第二章 開札再入札落札

第九條 入札ヲ終タルトキハ入札人ヲ開札所へ呼集シ入札掛長若クハ其代理者ハ入札人ノ面前ニ  
於テ入札函ヲ開キ先ツ入札書ト入札人トヲ一々照合シ入札書ヲ開封シ番號金額及氏名ヲ高ク讀

上ケ入札掛員ヲシテ之ヲ筆記セシメ豫定代價以上ノ最高額入札人ヲ落札人ト定メ之ヲ各入札人  
ニ報告スヘシ

第十條 開札ノ上入札一モ豫定價額ニ違セサルトキハ其旨ヲ各入札人ニ報告シ再ヒ入札セント欲  
スルモノヲシテ即時ニ再入札ヲナサシム若シ再入札ノ望ムナキトキハ其公賣ハ取消スヘシ

第十一條 落札トナルヘキ同價額ノ入札人二名以上アルトキハ其入札人ヲシテ即時ニ再入札ヲナ  
サシメ尙同價ノ入札アルトキハ直ニ抽籤ヲ以テ落札人ヲ定ム

第十二條 落札人入札ヲ取消シタルトキハ遞次繰下ケ落札人ヲ定ムヘシ但其繰下ケハ豫定價額以  
上ニ止ルモノトス

第十三條 落札人定リタルトキ若クハ落札人ナク公賣ヲ取消タルトキハ入札掛長ハ即時ニ豫定價  
額ノ封書ヲ開封シ之ヲ各入札人ニ報告スヘシ

第十四條 落札人定リタル上ハ其場ニ於テ直ニ他ノ入札人へ保證金預リ證書ト引換ニ入札保證金  
ヲ還付シ落札人ニハ賣買契約締結後ニ之ヲ還付ス

第十五條 落札人定リタルトキハ即時ニ落札代金十分ノ一ニ當ル内金ヲ契約保證金トシテ拂込ミ  
第三號書式則ニ據リ賣買契約書ヲ作り結約者雙方署名捺印シ各一通ヲ領收シ置ク可シ但シ落札  
人ハ其便宜ニ依リ落札代價十分ノ一以上ノ金額若クハ其全額ヲ即納スルコトヲ得

第三章 代價拂込物件引渡

第十六條 落札人約定日限内ニ賣買代金ノ拂込ミヲ了リタルトキハ其落札物件ヲ管スル署所ニ出  
頭シ其拂込證(交付票ヲ受取リタル)ヲ示シ之カ引渡ヲ請求ス可シ

落札物件ハ其代價ノ幾分ヲ拂込ムトモ之ニ對スル内渡ヲナサハルモノトス

第十七條 落札物件所管ノ署所前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ約定ノ日限内ニ之ヲ引渡ス可シ



第十八條 買受人物件ノ引渡ヲ受タルトキハ第四號書式則ニ據リ領收證ヲ作り引渡掛員ニ差出し  
約定ノ期限内ニ其物件ヲ所在地ヨリ搬出スヘシ

第十九條 物件ノ所有權ハ物件ノ引渡ヲ受ルニ隨ヒ買受人ニ移轉スルモノトス

第四章 違約處分 損害賠償

第二十條 左ノ場合ニ於テハ入札保證金ヲ還付セシ

- 一 落札ノ上買買契約ヲ落札人ニ於テ締結セサルトキ
- 二 開札後ニ入札ノ取消ヲナシタルトキ

第二十一條 左ノ場合ニ於テハ契約保證金ヲ還付セシ締結ノ契約ハ解除スルモノトス

- 一 落札人買買契約締結後代金ヲ約定ノ期限内ニ拂込マサルトキ
- 二 落札人買買契約締結後代金拂込以前ニ契約ヲ取消シタルトキ
- 三 落札人約定ノ期限内ニ物件ノ引渡ヲ受ケサルトキ

第二十二條 落札人物件ノ引渡ヲ受ケタル後豫期外ノ障礙ニ遇ヒ之ヲ約定期限内ニ搬出シ了ルコ  
トヲ得サルトキハ其事由ヲ具シ更ニ期限ヲ定メテ搬出期限ノ延期ヲ請求ス可シ此ノ場合ニ於テ  
ハ當該署所ハ左ノ割合ヲ以テ其間ノ該物件置場ニ係ル借地料ヲ課シ之ヲ前納セシム可シ

- 一 落札代價金百圓以上ノモノハ一日ニ付其千分ノ一
- 二 落札代價金百圓未満ノモノハ一日ニ付金十錢

但搬出延期ヲ要スルノ事由天災若クハ事變ニ屬スルトキハ特ニ右借地料ヲ免ス可シ

第二十三條 前條ノ場合ニ於テ落札人搬出延期ノ請求ヲナスシテ恣ニ約定日限ヲ過ルトキハ當  
該署所ハ前條ノ割合ニ二倍スルノ借地料ヲ取立ツ可シ  
本條及以前條ノ場合ニ於テ落札人右借地料ヲ納メサルトキハ當該署所ハ其搬出未済ノ物件ヲ差

押ヘ本人ヲ立會ハシメテ之ヲ公賣ニ付シ其代金ヲ以テ借地料及ヒ差押公賣其他ノ諸入費ヲ支拂  
口猶ホ殘金アルトキハ之ヲ還付シ若シ不足スルトキハ更ニ之ヲ要求ス可シ

第二十四條 落札人若クハ雇人落札物件ヲ伐採荒蕪若クハ製造運搬等ノ際ニ於テ當該署所ニ損害  
ヲ與ヘタルトキハ當該署所ハ之ニ對スル賠償引當トシテ搬出未済ノ物件ヲ差押ヘ若クハ其事業  
ヲ中止シ期限ヲ定メ相當ノ賠償金ヲ要求ス可シ

落札人右賠償金ヲ承諾シタル上之ヲ期限内ニ納メサルトキハ第二十三條第二項ノ手續ニ依リテ  
之ヲ處分ス可シ

第五章 雜件

第二十五條 公賣物件入札後又ハ買買契約締結後天災事變等ノ避クヘカラサルノ原因ニ由リ目的  
ノ事件ヲ亡失毀損シタル爲メ公賣ヲ取消シ之カ爲メニ入札人落札人又ハ買受人ニ於テ損害ヲ生  
スルモ當該署所共責ニ任セシ

第二十六條 公賣物件ハ當初入札人ニ於テ熟覽シタルモノニ付落札後數量若クハ物質等ニ多少ノ  
差違アリ又ハ物件ノ内部ニ腐朽等アルモ當該署所ハ共責ニ任セシ

第二十七條 立木竹公賣ノ場合ニ於テ其根株ハ公賣外ノモノトス但シ別段ノ契約アルモノハ此限  
ニテラス

第二十八條 入札人落札人又ハ買受人代理人ヲ以テ諸般ノ事項ヲ履行セシムルトキハ代理人ハ其  
委任狀ヲ當該署所ニ示スヘシ

第二十九條 落札人其物件ヲ搬出以前ニ於テ他へ買買讓與シタルトキハ雙方連署シテ當該署所ニ  
届出テ認可ヲ受ク可シ



<p>第一號書式</p> <p>印紙 入札書</p> <p>第 號</p> <p>一何々(物件ノ名稱ヲ記スヘシ) 何程(數量)</p> <p>此代金何程</p> <p>第 號</p> <p>一何々</p> <p>何程</p> <p>此代金何程</p> <p>(以下此例ニ准シ公告ニ掲載ノ物件概目ヲ一々記載スヘシ)</p> <p>右代金ヲ以テ買受申度林産物及賣却物其他公示ノ特別契約ノ條項ヲ承諾シ保證金相添ヘ入札費並出候也</p> <p>年 月 日</p> <p>住所</p> <p>姓 名 (印)</p> <p>(代理人ナルトキハ代理人ノ住所姓名ヲ併記捺印スヘシ以下皆同シ)</p> <p>入札掛長官姓名宛</p>	
<p>第二號書式</p> <p>第 號</p> <p>證</p> <p>一金何程</p> <p>但何々入札保證金</p> <p>納人 姓 名</p>	

<p>右封ノ條項置候也</p> <p>年 月 日</p> <p>入札掛長官 姓 名 (印)</p> <p>第 號</p> <p>一金何程</p> <p>但何々入札保證金</p> <p>年 月 日</p> <p>納人 姓 名</p>		<p>第三號書式</p> <p>買賣契約書</p> <p>印紙</p> <p>此印紙ハ賣入ヘ領收シ置クモノ、 ミニ買入ヨリ貼付スルモノトス、 今般別紙入札書ノ通落札セシニ付林産物及賣却物其他左記ノ條項ヲ承諾シ買賣契約ヲ締結シ雙方署名ノ上各一通ヲ領收シ置クモノ也</p> <p>年 月 日</p> <p>買入 入札掛長官 姓 名 (印)</p> <p>住所</p> <p>買入 姓 名 (印)</p> <p>一代價拂込何年何月何日限</p>
---	--	---



- 一 物件引渡何年月何日限
- 一 物件引渡ヲ請求スヘキ官署
- 一 物件引渡場所
- 一 何々
- 一 契約ヲ要スル條件ヲ列記ス

第四號書式

印紙

證

第 一 號

第 二 號

第 三 號

第 四 號

第 五 號

第 六 號

第 七 號

第 八 號

第 九 號

第 十 號

第 十 一 號

第 十 二 號

第 十 三 號

第 十 四 號

第 十 五 號

第 十 六 號

第 十 七 號

第 十 八 號

第 十 九 號

第 二 十 號

第 二 十 一 號

第 二 十 二 號

第 二 十 三 號

第 二 十 四 號

第 二 十 五 號

第 二 十 六 號

第 二 十 七 號

第 二 十 八 號

第 二 十 九 號

第 三 十 號

第 三 十 一 號

第 三 十 二 號

第 三 十 三 號

第 三 十 四 號

第 三 十 五 號

第 三 十 六 號

第 三 十 七 號

第 三 十 八 號

第 三 十 九 號

第 四 十 號

第 四 十 一 號

第 四 十 二 號

第 四 十 三 號

第 四 十 四 號

第 四 十 五 號

第 四 十 六 號

第 四 十 七 號

第 四 十 八 號

第 四 十 九 號

第 五 十 號

第 五 十 一 號

第 五 十 二 號

第 五 十 三 號

第 五 十 四 號

第 五 十 五 號

第 五 十 六 號

第 五 十 七 號

第 五 十 八 號

第 五 十 九 號

第 六 十 號

第 六 十 一 號

第 六 十 二 號

第 六 十 三 號

第 六 十 四 號

第 六 十 五 號

第 六 十 六 號

第 六 十 七 號

第 六 十 八 號

第 六 十 九 號

第 七 十 號

第 七 十 一 號

第 七 十 二 號

第 七 十 三 號

第 七 十 四 號

第 七 十 五 號

第 七 十 六 號

第 七 十 七 號

第 七 十 八 號

第 七 十 九 號

第 八 十 號

第 八 十 一 號

第 八 十 二 號

第 八 十 三 號

第 八 十 四 號

第 八 十 五 號

第 八 十 六 號

第 八 十 七 號

第 八 十 八 號

第 八 十 九 號

第 九 十 號

第 九 十 一 號

第 九 十 二 號

第 九 十 三 號

第 九 十 四 號

第 九 十 五 號

第 九 十 六 號

第 九 十 七 號

第 九 十 八 號

第 九 十 九 號

第 一 百 號

第 一 百 一 號

第 一 百 二 號

第 一 百 三 號

第 一 百 四 號

第 一 百 五 號

第 一 百 六 號

第 一 百 七 號

第 一 百 八 號

第 一 百 九 號

第 二 百 號

第 二 百 一 號

第 二 百 二 號

第 二 百 三 號

第 二 百 四 號

第 二 百 五 號

第 二 百 六 號

第 二 百 七 號

第 二 百 八 號

第 二 百 九 號

第 三 百 號

第 三 百 一 號

第 三 百 二 號

第 三 百 三 號

第 三 百 四 號

第 三 百 五 號

第 三 百 六 號

第 三 百 七 號

第 三 百 八 號

第 三 百 九 號

第 四 百 號

第 四 百 一 號

第 四 百 二 號

第 四 百 三 號

第 四 百 四 號

第 四 百 五 號

第 四 百 六 號

第 四 百 七 號

第 四 百 八 號

第 四 百 九 號

第 五 百 號

第 五 百 一 號

第 五 百 二 號

第 五 百 三 號

第 五 百 四 號

第 五 百 五 號

第 五 百 六 號

第 五 百 七 號

第 五 百 八 號

第 五 百 九 號

第 六 百 號

第 六 百 一 號

第 六 百 二 號

第 六 百 三 號

第 六 百 四 號

第 六 百 五 號

第 六 百 六 號

第 六 百 七 號

第 六 百 八 號

第 六 百 九 號

第 七 百 號

第 七 百 一 號

第 七 百 二 號

第 七 百 三 號

第 七 百 四 號

第 七 百 五 號

第 七 百 六 號

第 七 百 七 號

第 七 百 八 號

第 七 百 九 號

第 八 百 號

第 八 百 一 號

第 八 百 二 號

第 八 百 三 號

第 八 百 四 號

第 八 百 五 號

第 八 百 六 號

第 八 百 七 號

第 八 百 八 號

第 八 百 九 號

第 九 百 號

第 九 百 一 號

第 九 百 二 號

第 九 百 三 號

第 九 百 四 號

第 九 百 五 號

第 九 百 六 號

第 九 百 七 號

第 九 百 八 號

第 九 百 九 號

第 一 千 號

第 一 千 一 號

第 一 千 二 號

第 一 千 三 號

第 一 千 四 號

第 一 千 五 號

第 一 千 六 號

第 一 千 七 號

第 一 千 八 號

第 一 千 九 號

第 二 千 號

第 二 千 一 號

第 二 千 二 號

第 二 千 三 號

第 二 千 四 號

第 二 千 五 號

第 二 千 六 號

第 二 千 七 號

第 二 千 八 號

第 二 千 九 號

第 三 千 號

第 三 千 一 號

第 三 千 二 號

第 三 千 三 號

第 三 千 四 號

第 三 千 五 號

第 三 千 六 號

第 三 千 七 號

第 三 千 八 號

第 三 千 九 號

第 四 千 號

第 四 千 一 號

第 四 千 二 號

第 四 千 三 號

第 四 千 四 號

第 四 千 五 號

第 四 千 六 號

第 四 千 七 號

第 四 千 八 號

第 四 千 九 號

第 五 千 號

第 五 千 一 號

第 五 千 二 號

第 五 千 三 號

第 五 千 四 號

第 五 千 五 號

第 五 千 六 號

第 五 千 七 號

第 五 千 八 號

第 五 千 九 號

第 六 千 號

第 六 千 一 號

第 六 千 二 號

第 六 千 三 號

第 六 千 四 號

第 六 千 五 號

第 六 千 六 號

第 六 千 七 號

第 六 千 八 號

第 六 千 九 號

第 七 千 號

第 七 千 一 號

第 七 千 二 號

第 七 千 三 號

第 七 千 四 號

第 七 千 五 號

第 七 千 六 號

第 七 千 七 號

第 七 千 八 號

第 七 千 九 號

第 八 千 號

第 八 千 一 號

第 八 千 二 號

第 八 千 三 號

第 八 千 四 號

第 八 千 五 號

第 八 千 六 號

第 八 千 七 號

第 八 千 八 號

第 八 千 九 號

第 九 千 號

第 九 千 一 號

第 九 千 二 號

第 九 千 三 號

第 九 千 四 號

第 九 千 五 號

第 九 千 六 號

第 九 千 七 號

第 九 千 八 號

第 九 千 九 號

第 一 萬 號

第 一 萬 一 號

第 一 萬 二 號

第 一 萬 三 號



○遞信省告示第八十七號

遞信大臣伯爵後藤象二郎

私設電信電話線其他電機ニ係ル工事ノ執行ヲ遞信省ニ委託セントスルトキハ左ノ手續ニ據ルヘシ

明治二十三年五月七日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

- 一 私設電信電話線ノ架設及臨時ノ修理其他總テ電機建設ニ係ル工事ノ執行方ヲ遞信省ニ請求シ其許可ヲ得タルトキハ共工事ニ要スル物品ハ電信建築官ノ承認ヲ經テ工事委託者ヨリ之ヲ電信建築官ニ交付スヘシ
- 二 工事ニ關スル官吏ノ旅費、工夫及雇人ノ賃金、電柱代價又ハ工事現場ニ於テ臨時ニ購入スヘキ物品代價ハ委託者ヨリ直ニ電信建築官ノ指定スル請求人ニ交付スヘシ但諸費支拂場所及支拂人名ハ豫メ電信建築官ニ通知シ置クヘシ
- 三 電信建築官工事現場ニ於テ諸費ノ支拂ヲ必要ト認メ之ヲ委託者ニ通知スルトキハ支障ナキ様取計フヘシ
- 四 私設電信電話線ヲ遞信省所屬電信柱ニ添架シタル後其線路維持ニ係ル費用ハ遞信省ニ於テ別ニ定ムル手續ニ依リ之ヲ納付スヘシ

○海軍省告示第十三號

明治二十三年海軍志願兵徵募兵員左ノ通改正ス

明治二十三年五月八日

海軍次官子爵樺山資紀

海軍志願兵徵募隊	鎮守府	水兵	火夫	水工	鍛冶	番附夫	廚夫	小計
第一	横須賀	九四	七三	二	一一	五	七	一九二

第二	吳	一九六	二八	一三	〇	二〇	七	二六四
第三	佐世保	一二五	三八	七	一	〇	一一	一八三
合計		四二五	一三九	二二	一一	二五	二六	六三九

○遞信省告示第八十八號

本月十六日ヨリ伊勢國松阪及志摩國鳥羽電信局ヲ三等トシ各同地郵便局ニ合併左ノ通相稱シ共事務ヲ取扱ハシム

但當分ノ内歐文電報數字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス

明治二十三年五月十日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

- 國郡名
- 伊勢國飯高郡
- 志摩國答志郡
- 松阪郵便電信局
- 鳥羽郵便電信局

○遞信省告示第八十九號

本月十六日ヨリ武藏國川越及信濃國飯田電信局ヲ三等トシ各同地郵便局ニ合併左ノ通相稱シ共事務ヲ取扱ハシム

但當分ノ内歐文電報數字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス

明治二十三年五月十日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

- 國郡名
- 武藏國入間郡
- 信濃國下伊那郡
- 川越郵便電信局
- 飯田郵便電信局



○遞信省告示第九十號

一西洋形帆船長樂丸免狀第九百七十二號 明治十九年九月二十一日登報  
右ハ東京市深川區冬木町九番地山川松五郎所有ノ處明治二十二年十二月十二日福島縣下勢城國勢前郡小名濱港ニ於テ本船難破ノ際流失セシ旨届出タルニ依リ其所在見聞ノ者ハ速ニ管轄廳ヘ申出ヘシ但該免狀ハ無効トス

明治二十三年五月十日

遞信大臣伯備後藤桑二郎

○第三回内國勸業博覽會事務局告示第十四號

第三回内國勸業博覽會規則第三十八條二項及第四十五條ヲ左ノ通り更正ス

明治二十三年五月十日

第三回内國勸業博覽會副總裁岩村通俊

第三十八條二項更正

特別入場券ハ登收ヲ以テ開會中來觀スルコトヲ得但入場ノ際在場券ト引換ヘ出場ノ時各自之ヲ特別入場券ト交換スヘシ  
他ノ入場券ハ入場ノ際門衛ニ渡スヘシ  
第四十五條更正

賽賞授與式ハ明治二十三年七月十一日トス

○内務省告示第十六號

大阪藝妓評判錄 第二卷 一册 大阪府東成郡清瀬村六百三番邸芝實惠發行  
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁止ス

明治二十三年五月十二日

内務大臣伯備山縣有朋

○遞信省告示第九十一號

巴里締結里斯本改正萬國郵便聯合條約實施細目規則第三十二條第八節左ノ通り修正ス

明治二十三年五月十四日

遞信大臣伯備後藤桑二郎

第八「アデン」「ザンヂバル」「マスカット」「波斯灣及ヒ「ガヂェル」ニ設置スル印度郵便局ハ英領印度郵政廳ニ屬スルモノトス

○海軍省告示第十四號

本年二月告示第五號物品購買賣却規則第五條ヲ左ノ如ク改正シ第六條中「大藏省ニ於テ定ムル所ノ價格」ノ十三字ヲ「納付前月ノ東京取引所平均相場」ト改メ第十二條中「請負人死亡」ノ下ニ「若クハ失踪」ノ五字ヲ加ヘ第三十九條中「請負金額ノ内ヨリ減殺ス」ノ十一字ヲ「納付セシム」ト改ム

明治二十三年五月十五日

海軍大臣伯備西郷從道

○海軍省告示第十五號

本年三月告示第九號工事請負規則第六條ヲ左ノ如ク改正シ第七條中「大藏省ニ於テ定ムル所ノ價格」ノ十三字ヲ「納付前月ノ東京取引所平均相場」ト改メ第十二條中「請負人死亡」ノ下ニ「若クハ失踪」ノ五字ヲ加ヘ第三十九條中「請負金額ノ内ヨリ減殺ス」ノ十一字ヲ「納付セシム」ト改ム

明治二十三年五月十五日

海軍大臣伯備西郷從道

○第三回内國勸業博覽會事務局告示第十五號

明治二十一年八月二十八日當局告示第三號第三回内國勸業博覽會出品部類目錄中第三部一類其十二ノ次ハ左ノ一項ヲ追加ス







○大藏省告示第二十五號

根室本金庫釧路支金庫ヲ本月二十日ヨリ同郡真砂町へ移ス

明治二十三年五月二十一日

大藏大臣伯爵松方正義

○文部省告示第六號

右ハ畿ニ府立ノ際明治二十二年ノ法律第一號徵兵令第十一條ニ依リ中學校ノ學科程度ト同等以上ノモノト認ムル旨告示レ置キタル處今般京都市市立ト爲シタルニ付更ニ調査ノ上引續キ中學校ノ學科程度ト同等以上ノモノト認ム

明治二十三年五月二十一日

文部大臣芳川顯正

○大藏省告示第二十六號

一紙幣三百五拾壹萬八千四百八拾九圓九拾錢

右ハ銀貨ト交換セシ消紙幣及紙幣ト交換セシ損傷紙幣ノ合計ニシテ五月十二日以來三日間印刷局構内ニ於テ會計検査院官吏立會燒棄セリ

明治二十三年五月二十二日

大藏大臣伯爵松方正義

○逓信省告示第九十四號

下總國結城及常陸國下館鐵道停車場電信取扱所ニ於テ來ル六月一日ヨリ公衆通信取扱ヲ開始ス其通信取扱時限ハ午前七時ヨリ午後七時マテトシ且結城ハ結城宿内下館ハ下館宿内ニ宛テタル電報ニ限リ直配達ヲナシ兩所トモ別使配達ヲ取扱フ

但萬國電信條約書ニ依リ取扱フヘキ電報及歐文電報ハ取扱ハス

明治二十三年五月二十二日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

○逓信省告示第九十五號

武藏國川崎駿河國御殿場遠江國中泉及近江國米原鐵道停車場電信取扱所ニ於テ來ル六月一日ヨリ公衆通信取扱ヲ開始ス其通信取扱時限ハ午前六時ヨリ午後十時迄川崎御殿場中泉ハ一般電信局電報受付時限ニ據リ各取扱所ニ於テ別使配達ヲ取扱ヒ米原ハ米原村一圓川崎御殿場中泉ハ各取扱所ヨリ三町以内ニ宛テタル電報ハ直配達ヲナス

但萬國電信條約書ニ依リ取扱フヘキ電報及ヒ歐文電報ハ各所トモ之ヲ取扱ハス

明治二十三年五月二十二日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

○逓信省告示第九十六號

下野國矢板及岩代國本宮鐵道停車場電信取扱所ニ於テ來ル六月一日ヨリ公衆ノ通信取扱ヲ開始ス其通信取扱時限ハ午前七時ヨリ午後七時迄トシ且矢板宿内及本宮宿内ハ直配達ヲナシ兩所トモ別使配達ヲ取扱フ

但萬國電信條約書ニ依リ取扱フヘキ電報及歐文電報ハ之ヲ取扱ハス

明治二十三年五月二十二日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

○逓信省告示第九十七號

來ル六月一日ヨリ信濃國諏訪郡上諏訪郵便局及上諏訪電信局ヲ合併其等級ヲ三等トシ上諏訪郵便電信局ト相稱シ其事務ヲ取扱ハシム

但シ當分ノ内歐文電報歐字及亞刺比亞數字ヲ配入シタル和文電報ハ取扱ハス

明治二十三年五月二十二日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

○内務省告示第十八號

明治二十三年第二回醫術開業試驗師試驗舉行ノ地及日期日左ノ通相定ム



明治二十三年五月二十三日

醫術開業試験

東京府下東京

十月一日

京都府下京都

十一月一日

長崎縣下長崎

十月十日

長崎ニ於テハ齒科試験ヲ舉行セム

藥劑師試験

東京府下東京

十月二十日

大阪府下大阪

十一月二十日

○遞信省告示第九十八號

本年四月中西洋形船へ左ノ信號符字ヲ點附ス

明治二十三年五月二十三日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

西洋形船

信號符字	免狀番號	船名	種類	定埠	船主氏名
H G W S	一七六 176	新嘉坡丸 Hachibuka Maru.	汽	阿波國下助任村古川	共同汽船會社
H G W T	一七七 177	新嘉國丸 Shin-Tsukuni Maru.	汽	大	志路兵衛
H G W V	一七八 178	第四 宇和島丸 Uwajima Maru. No.4.	汽	伊豫國宇和島	宇和島運輸會社
H J B C	一七九 179	錦川丸 Nishikigawa Maru.	汽	大	大阪商船會社
H J B D	一八〇 180	共同運輸丸 Kidouunyu Maru.	汽	同	尼崎伊三郎
H J B F	一八一 181	第四 天龍丸 Tenryu Maru. No.4.	帆	土佐國下知村字神堤附則川	天龍社
H J B G	一八二 182	宮古丸 Miyako Maru.	帆	渡島國函館	今井榮七

○遞信省告示第九十九號

明治十九年遞信省告示第百十五號水液脂肪類見本ヲ交換シ得ル國名中ホソシユラス共和國ヲ追加ス

明治二十三年五月二十三日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○大藏省告示第二十七號

京都本金庫向日町支金庫ヲ乙訓郡向日町大字寺戸へ同被部支金庫ヲ何鹿郡被部町大字被部町へ本月二十日ヨリ移ス

明治二十三年五月二十四日

大藏大臣伯爵松方正義

○宮内省告示第十八號

本年三月二十八日能久親王殿下ノ王女誕生武子ト名ケラル

明治二十三年五月二十八日

宮内大臣子爵土方久元

○遞信省告示第百號

左ノ郵便局ニ電信爲替ヲ開設シ來ル六月十六日ヨリ共事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年五月三十一日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

後志國小樽郡小樽郵便局

○遞信省告示第百一號

一貨幣封入郵便物取扱見合印鑑 第壹四七號

内國通運會社へ下付ノ分

右盜難ニ罹リタル旨届出候條自今該印鑑ハ無効トス



明治二十三年五月三十一日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第百二號

來六月一日ヨリ東京市本郷郵便支局及本郷電信支局ヲ合併シ東京郵便電信局本郷支局ト稱シ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年五月三十一日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第百三號

來六月十六日ヨリ甲斐國東八代郡日影村字駒飼ニ三等郵便局ヲ設キ駒飼郵便局ト稱シ同日ヨリ共事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年五月三十一日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○大藏省告示第二十八號

本年七月一日ヨリ九月三十日迄輸入従價稅品元價ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣日本銀貨比較表左ノ通之ヲ定ム

但外國銀貨ト日本銀貨トノ比較ハ從前ノ通

明治二十三年六月二日

大藏大臣伯爵松方正義

外國貨幣日本銀貨比較表

外國貨幣	日本銀貨
金	日本銀貨
英吉利	六・三三七
獨逸	三〇五
北米合衆國	一・二八二
佛蘭西	二四七
瑞西	二四七
白耳義	二四七
伊太利	二四七
丁棟	三四三
瑞典	三四三
瑞成	三四三
和蘭	五・一五
西班牙	〇・六四



衛 尉 牙	一三三三
土 耳 其	一五五五

○陸軍省告示第七號

明治二十三年各師管ヨリ徵集スヘキ近衛及海軍新兵ノ員數左表ノ通定ム

明治二十三年六月三日

陸軍大臣伯爵大山 熾

府 守 鎮	近 衛			所 管 兵 團			計
	歩 兵	砲 兵	工 兵	第 一 師	第 二 師	第 三 師	
橫 須 賀	一三二	一四八	二五七	二四一	二八五	三〇八	二五〇
水 兵	一三一	一四八	二五七	二四一	二八五	三〇八	二五〇
火 兵	六五	七三	九六	九六	〇	〇	二五〇
吳	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
水 兵	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
火 兵	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
保 世 佐	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
火 兵	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
水 兵	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
計	一九六	二二二	一七七	一七三	二六〇	二一九	一三四六

總 計	六九八	四七八	四一八	四五八	五六八	四六九	三〇八九
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

○司法省告示第十六號

弘前始審裁判所管内青森治安裁判所野邊地出張所今般火災ニ罹リ保存ノ登記簿及ヒ公證簿悉皆燒失セシヲ以テ管轄各村ノ地所建物船舶ニ付從前登記ヲ受ケタルモノ及ヒ公證ヲ受ケタル者等ハ本年六月三十日限り更ニ該出張所ニ登記ヲ願ヒ出ツ可シ但右期限内ハ今般燒失セシニ依リ更ニ登記ヲ爲スヘキモノノ外登記ヲ停止ス

明治二十三年六月三日

司法大臣伯爵山田顯義

○陸軍省告示第八號

本年ハ陸地測量部修技所生徒ヲ募集セス但爾後募集スルトキハ其旨更ニ告示ス

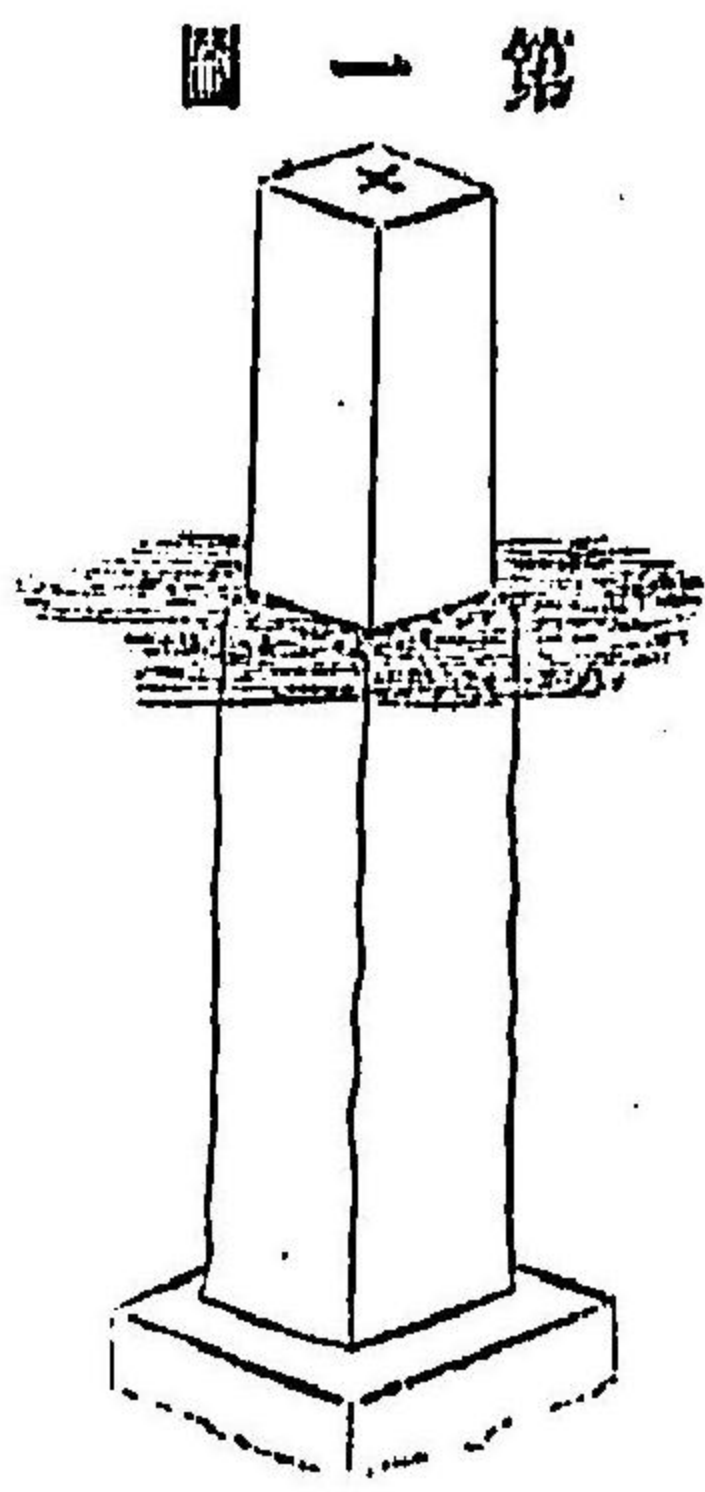
明治二十三年六月四日

陸軍大臣伯爵大山 熾

○海軍省告示第十六號

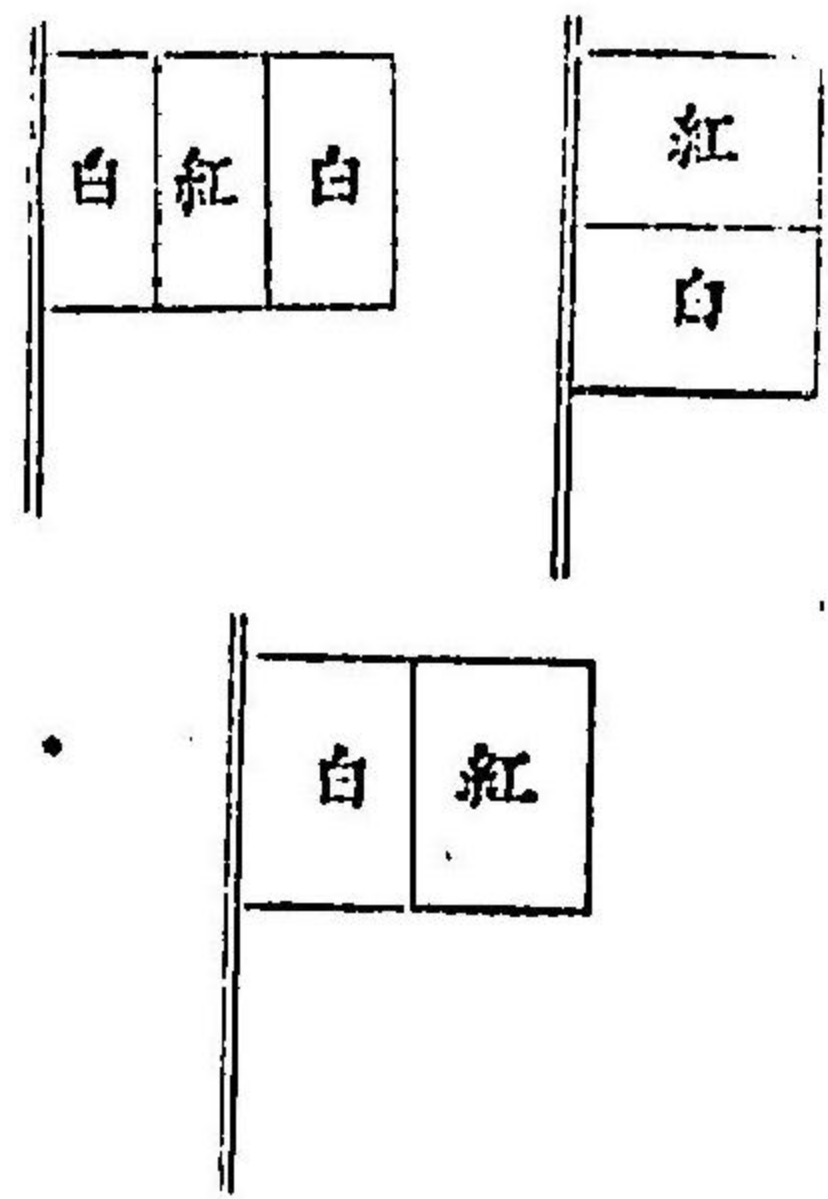
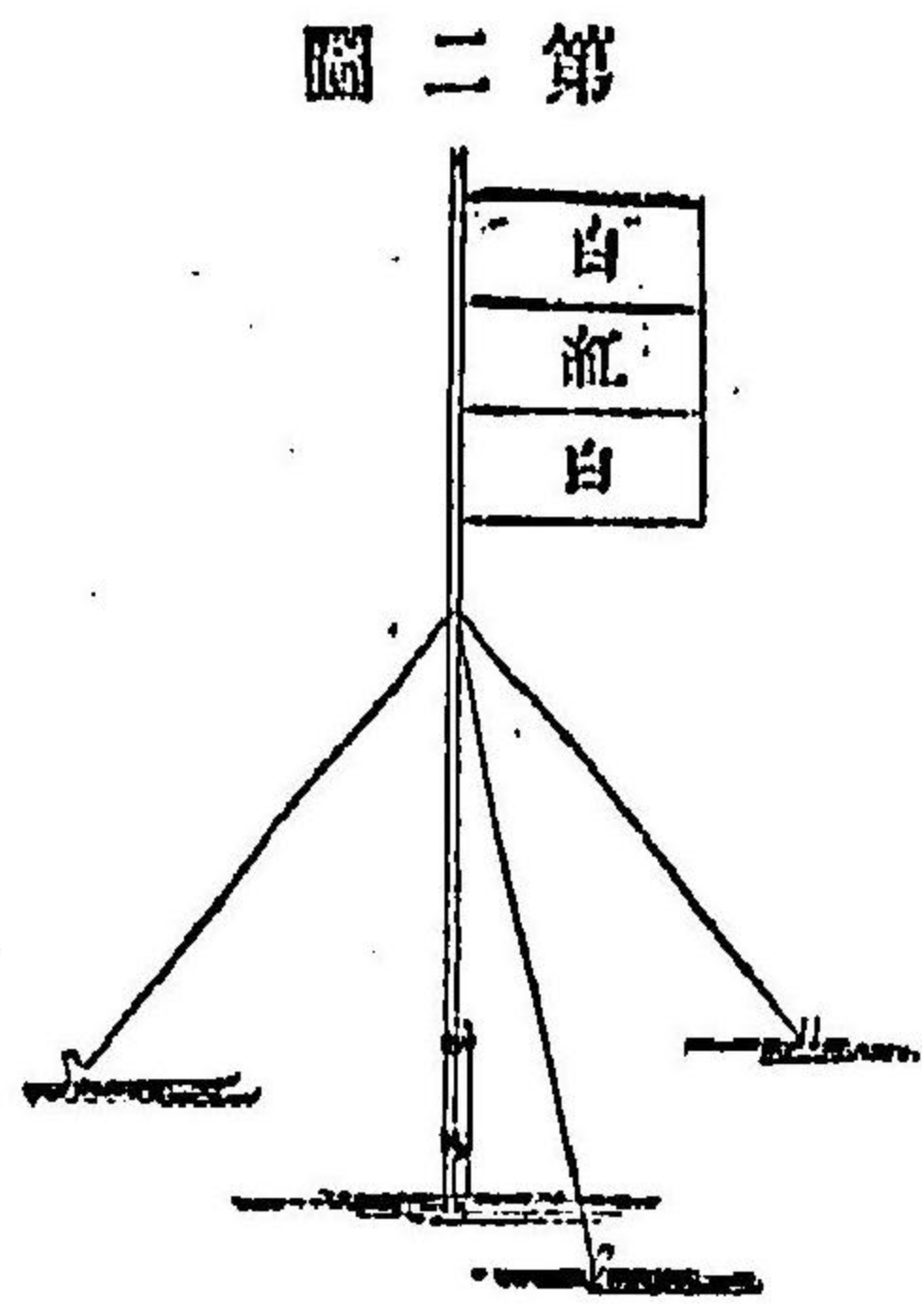
水路測量條例中第一條ノ其點標測標及第三條ノ測量官證票ハ左ノ如シ  
明治二十三年六月四日  
海軍大臣子爵樺山資紀  
其點標 木標ハ測量標設置ノ位置中重要ナル場所ニ於テ測標撤去ノ後永遠保存ノ爲メ設置スルモノトス則第一圖ノ如シ



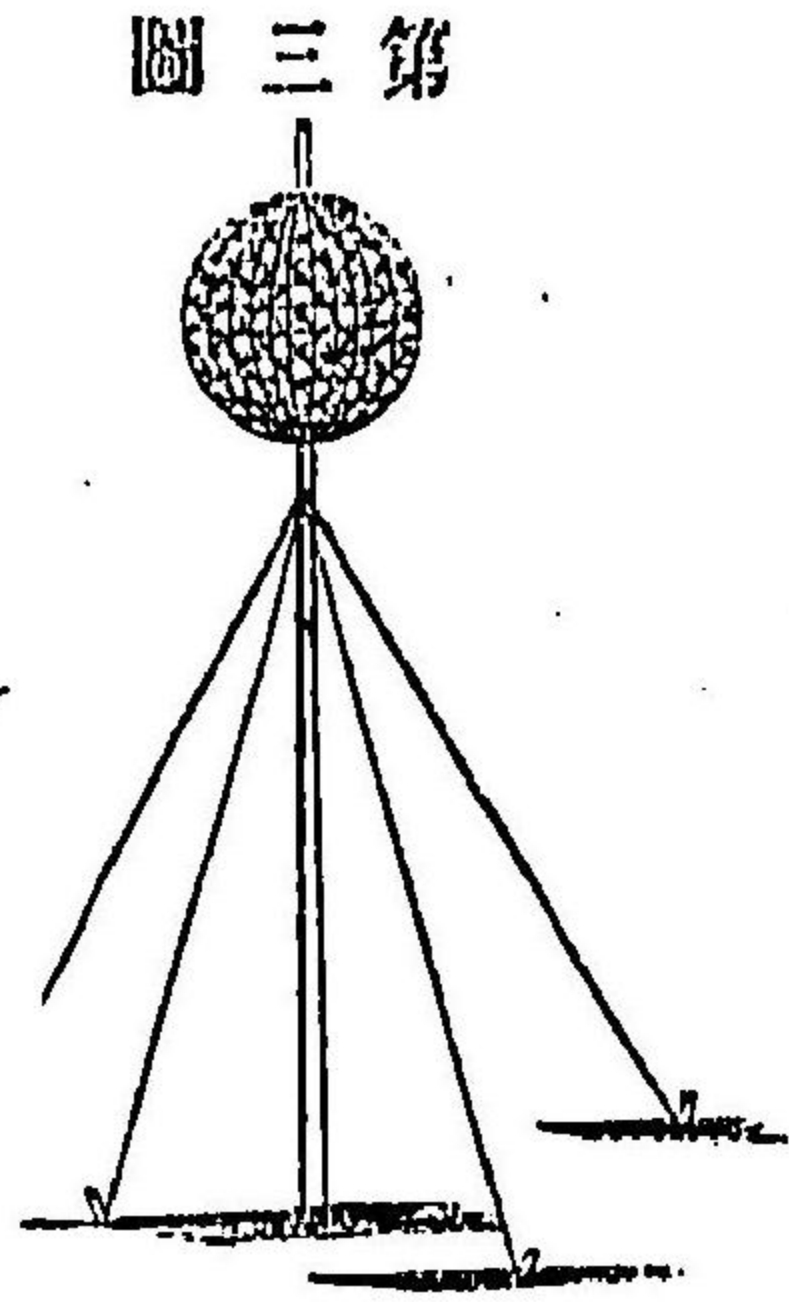


第一圖 標材ハ堅實ノ石ヲ用ユ方柱ニシテ幅約五六寸 標面上ニ顯ナルコト約一尺五寸餘ハ土中ニ 埋ム表面ニ經度或ハ緯度測點點面ニハ水路 部標面ニハ年月日ヲ刻ス

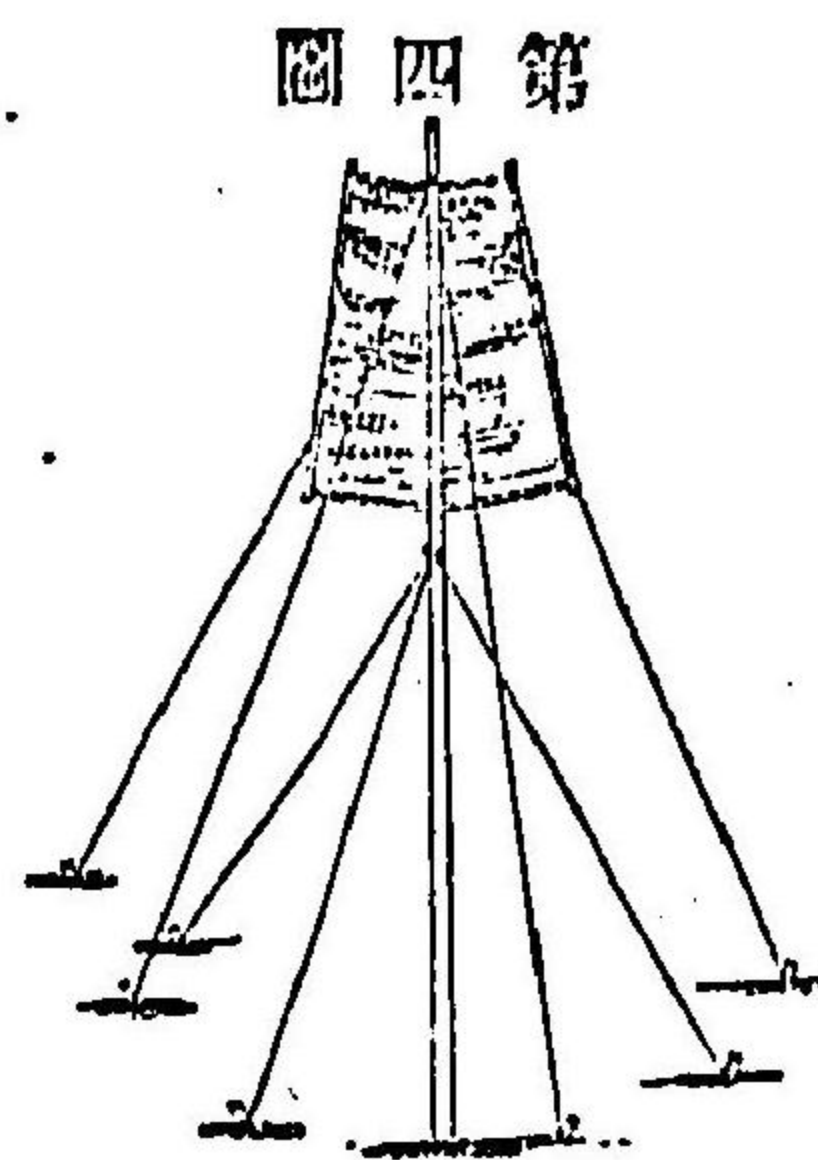
測標 木標ハ測量中設置シ測量終レハ撤去スルモノトス則第二圖以下ノ如シ



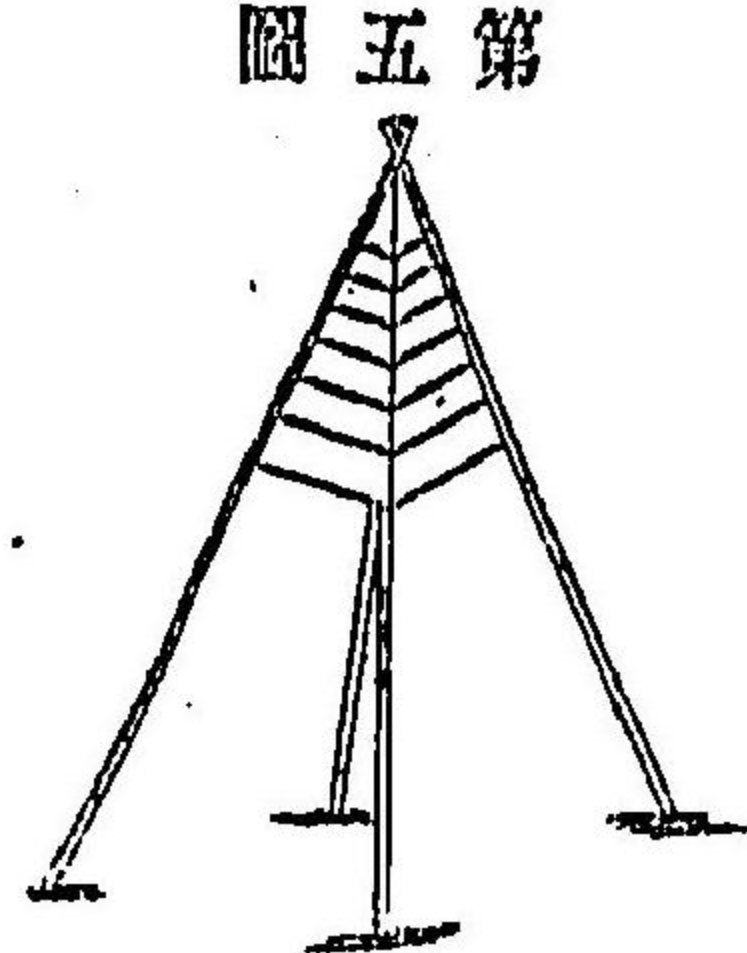
第二圖 紅白二色ノ金印ヲ用ユ其大サハ測量ノ難易ニ照シテ各大小アリ竿ハ竹杭ハ木片片面ニ水路測點ト書ス或ハ傍側ニ木標ヲ 添設シテ之レニ書スルコトアルヘシ 張綱ハ標樁ヲ用ユ場合ニヨリ麻若クハ鐵繩ヲ用ユルコトアルヘシ



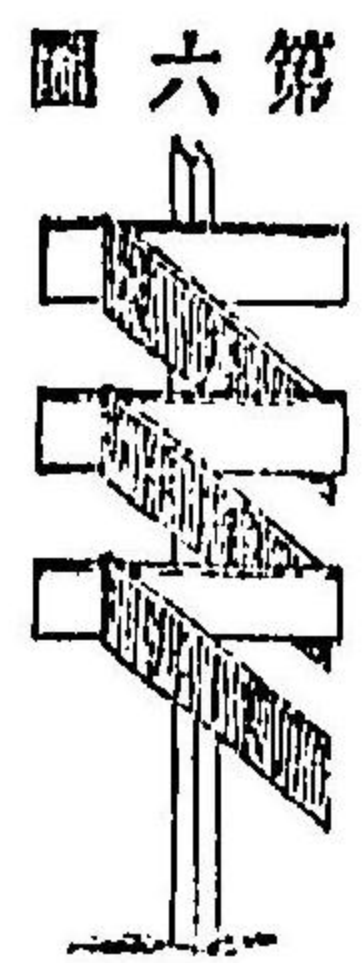
第三圖 黒色或ハ白色又ハ黒白二色三分色シタ ル 磁球ヲ用ユ杆ハ木片張綱ハ前同斷



第四圖 黒或ハ白漆シタル薄板ハ木板ヲ木片 ニ付シ高ク之ヲ掲ケ或綱前同斷

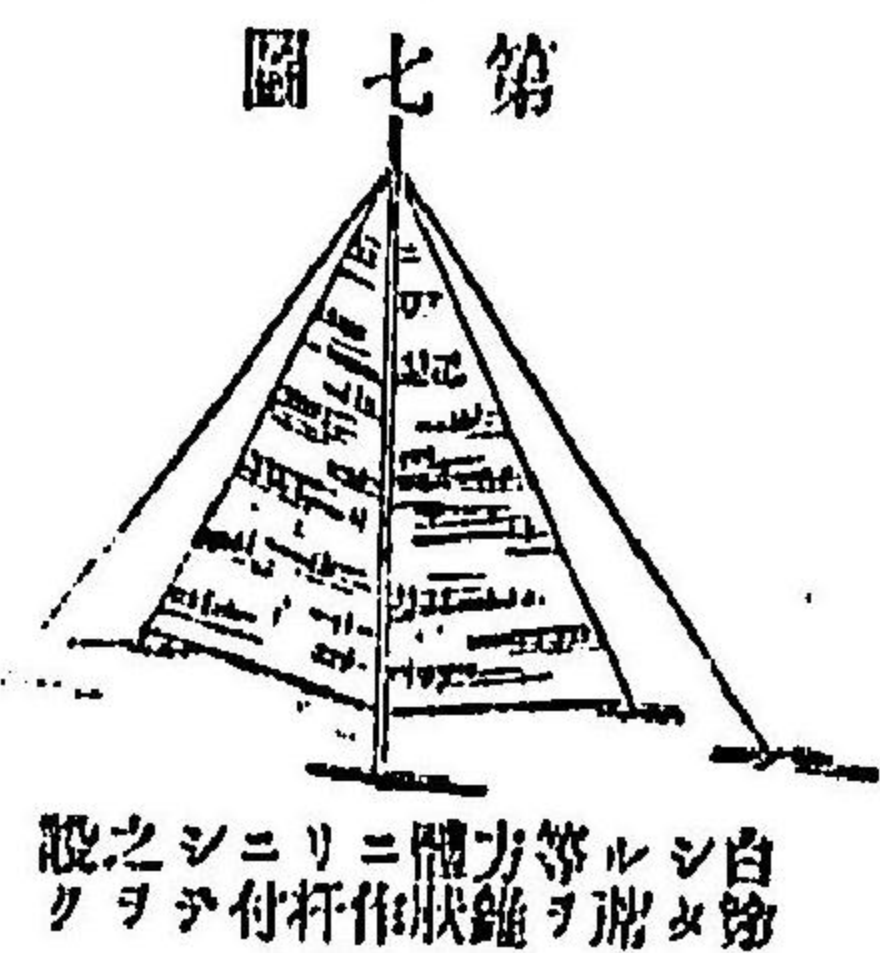


第五圖 四柱ヲ錐體 狀ニ樹立シ 其上部ニ黒 漆ハ白漆シ タル木板或 ハ白漆シタル 板ヲ張付ス

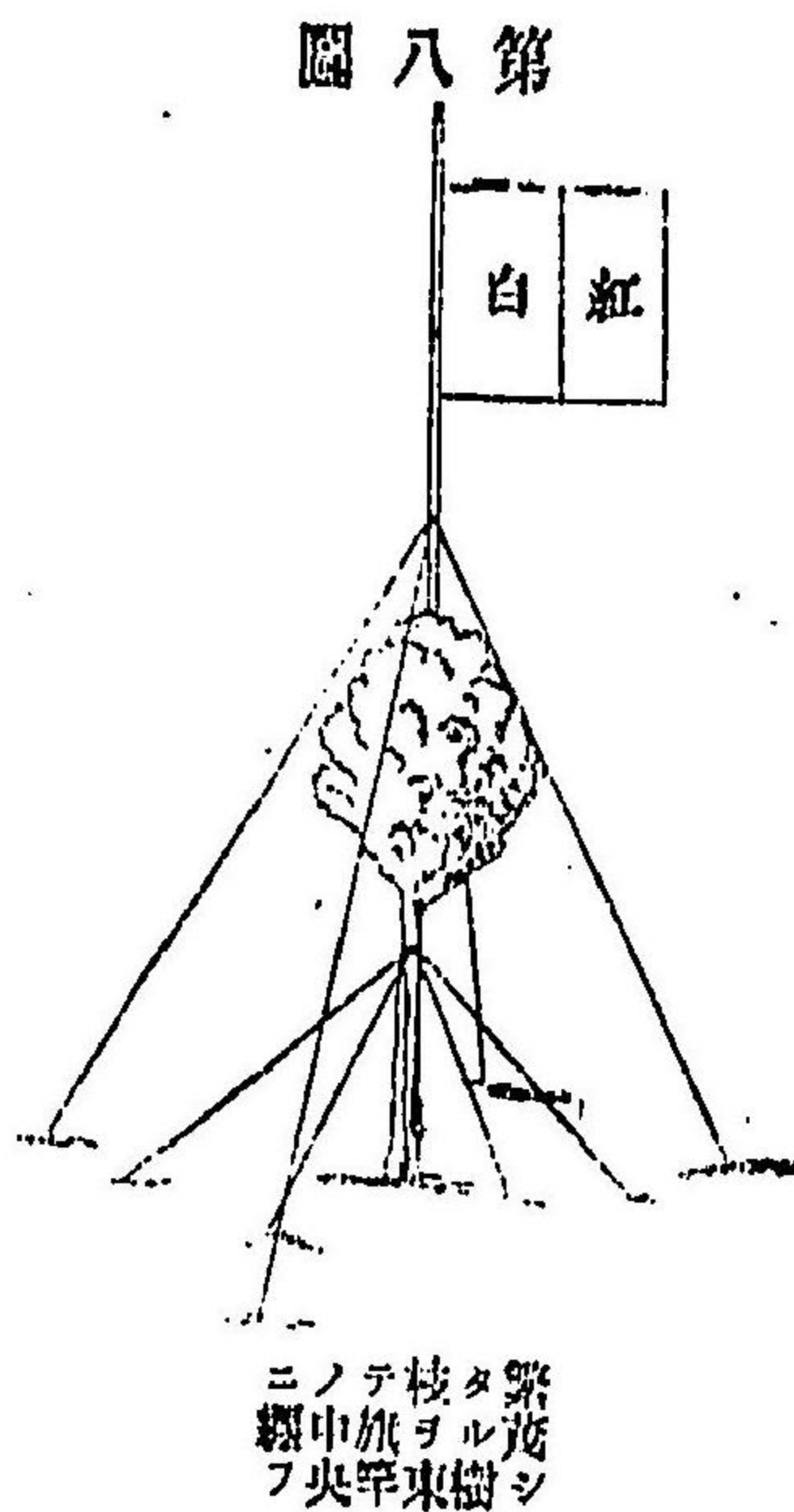


第六圖 木片ニ白漆 シタル木板 張付ス





第七圖 白旗ニシテ中央ニ赤ノ縦線アリ 旗ノ上ニ青ノ横線アリ 旗ノ下ニ白ノ横線アリ



第八圖 白旗ニシテ中央ニ赤ノ縦線アリ 旗ノ上ニ青ノ横線アリ 旗ノ下ニ白ノ横線アリ

右ニ示シタルモノ、外岸角、石垣ヲ白塗シテ標トナス又樹木牆垣柵及家屋等ノ目標トナルヘキモノヲ撰ミ白塗シテ測標トスルコトアルヘシ

測量官證票

面 表	號(何)號
印刷	水路測量證

面 裏	職官氏名
-----	------

○遞信省告示第四百四號  
本年五月告示第九十五號但書萬國電信條約書ニ依リ取扱フヘキ電報ノ次ニ「遞信料前納電報」ノ七字

ヲ加フ

明治二十三年六月四日

遞信大臣伯備後藤象二郎

○海軍省告示第十七號

佐世保水雷隊ニ要スル水雷夫ハ本年八月ニ於テ徵募ス

明治二十三年六月五日

海軍大臣子爵樺山資紀

○海軍省告示第十八號

- 一 海軍造船工學校生徒ヲ志願スル者ハ鎮守府造船部ノ職工トナリ六箇月以上現業ニ服シタル者ニシテ年齢ハ十七年以上二十五年以下ノ者タルヘシ
- 二 左ニ掲クル者ハ生徒ヲ志願スルコトヲ得ス
  - 一 陸軍ノ豫備役後備兵役ニ在ル者
  - 二 徵兵令第二十八條ニ當ル者
  - 三 身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ義務ヲ免レサル者
  - 四 刑ニ處セラレタル者若クハ刑事被告人トナリ裁判未決ノ者
  - 五 有妻ノ者
- 三 志願人ハ父兄親族若クハ一家ヲ成ス身元確實ナル者二人以上連署ノ願書ニ本籍市町村長又ハ區長ノ證印ヲ受ケ所屬ノ造船部ニ出スヘシ
- 四 志願人生徒ヲ命セラレタルトキハ本籍市町村長又ハ區長ノ證印アル戸籍明細書ヲ横須賀鎮守府造船部ニ出スヘシ

明治二十三年六月六日

海軍大臣子爵樺山資紀



○遞信省告示第百五號

本月十六日ヨリ左ノ郵便局名ヲ改稱ス

明治二十三年六月六日

國郡名	舊稱	改稱
肥前國北松浦郡	消志々岐郵便局	志々伎郵便局
對馬國上縣郡	琴村郵便局	琴郵便局
壹岐國壹岐郡	諸吉村瀛邊郵便局	瀛邊郵便局
肥後國葦北郡	岩城村中村郵便局	津奈木郵便局
肥後國阿蘇郡	吉田村吉田新町郵便局	吉田新町郵便局
肥後國球磨郡	上村永里郵便局	永里郵便局
肥後國室蘭郡	室蘭郵便局	元室蘭郵便局

○遞信省告示第百六號

攝津國有馬郡有馬郵便電信局ニ於テ本月十六日ヨリ來十月三十一日マテ歐文電報歐字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報モ亦之ヲ取扱ハシム

明治二十三年六月六日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

○宮内省告示第十九號

朝鮮國大王大妃崩御ニ付今九日ヨリ來ル十七日迄九日間宮中喪 仰出サル

明治二十三年六月九日

宮内大臣子爵土方久元

○宮内省告示第二十號

朝鮮國大王大妃崩御ニ付宮中喪九日間高等官有爵者從六位勳六等以上ノ張參内ノ節左ノ通喪服着用可致旨 仰出サル

明治二十三年六月九日

宮内大臣子爵土方久元

男子

○大禮服

一 黑紗ヲ左腕ニ纏フ

一 手套鼠色又ハ白

○通常禮服(燕尾服)

一 手套鼠色又ハ白

○通常服(フロック、コート)上下黒羅紗

一 黒羅紗ヲ以テ帽ニ纏フ

一 襟飾鼠色手套鼠色又ハ鼠色

婦人

一 服地鼠色

一 手套鼠色又ハ鼠色

陸海軍將校及相當官ハ左腕ニ黒紗ヲ纏フ

○遞信省告示第百七號

今般獨逸帝國政府ノ保護ニ屬スル「カメルン」「ドゴ」及「ニューギニア」ノ各地ハ萬國郵便爲替約定ニ加入セリ

明治二十三年六月 告示 遞信省告示第百七號



明治二十三年六月九日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

○遞信省告示第八號

今般「ヤニバ」ボルトリコ「マイリピン」ノ三國ハ萬國電信條約ニ加入ス

明治二十三年六月十日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

○遞信省告示第九號

來ル七月一日ノ夜ヨリ兵庫縣下攝津國神戸市和田岬燈臺紅色燈明ノ明弧ヲ北十三度西ヨリ南六十八度西マテ二百六十一度間ニ變換ス

明治二十三年六月十三日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

○內務省告示第十九號

一不正

愛知縣名古屋市中輪町突地鐵道前正友會車田證發發行

一退治 大砲

右出版物ハ治安ニ妨害アリト認ムルヲ以テ發賣頒布ヲ禁止ス

明治二十三年六月十四日

內務大臣伯耆西鄉從道

○內務省告示第二十號

一租 美人乃面影 一册

愛知縣名古屋市吹出町六十一番戶士族小林篤太郎發行

一土產 兼束 一夜之夢 一册

同縣同市吳服町百四十二番戶寄附岩間彦太郎發行

一洋書 兼束 一夜之夢 一册

右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ發賣頒布ヲ禁止ス

明治二十三年六月十六日

內務大臣伯耆西鄉從道

○遞信省告示第一百號

琉球國首里郵便局ニ於テ取扱フ外國郵便爲替事務本月三十日限り廢止ス

明治二十三年六月十六日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

○遞信省告示第一百一號

駿河國鈴川鐵道停車場電信取扱所ニ於テ來ル七月一日ヨリ左ノ事項ニ據リ公衆通信取扱ヲ開始ス  
但萬國電信條約書ニ依リ取扱フヘキ電報歐文電報及返信料前納電報ハ之ヲ取扱ハス

明治二十三年六月十七日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

一通信取扱時限ハ一般電信局ニ同シ

一取扱所ヨリ三町以内ニ宛タル電報ハ直配達ヲナシ且別使配達ヲ取扱フ

○文部省告示第七號

今般第五高等中學校醫學部ニ藥學科ヲ附設シ明治二十年ハ文部省告示第十號高等中學校生徒定員  
中第五高等中學校ノ項醫科ノ次ニ附設藥學科百人ノ七字ヲ加ヘ計千九百人ヲ千九百九十八ト改ム

明治二十三年六月十八日

文部大臣芳川顯正

○遞信省告示第一百十二號

大阪市南區湊町ニ電信支局ヲ置キ大阪郵便電信局湊町電信支局ト稱シ來七月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年六月二十日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

○遞信省告示第一百十三號

信濃國諏訪郡平野村字岡谷ニ三等郵便電信局ヲ置キ岡谷郵便電信局ト稱シ本月二十五日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年六月二十一日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

但當分ノ內歐文電報歐字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス

明治二十三年六月二十一日

遞信大臣伯耆後藤象二郎



○遞信省告示第百十四號

武藏國深谷鐵道停車場電信取扱所ニ於テ來ル七月一日ヨリ左ノ事項ニ依リ公衆ノ通信取扱ヲ開始ス

但萬國電信條約書ニ依リ取扱フヘキ電報及ヒ歐文電報ハ之ヲ取扱ハス

明治二十三年六月二十一日 遞信大臣伯爵後藤象二郎

- 一 電報受付時限ハ午前七時ヨリ午後七時マテ
- 一 深谷宿内ニ限リ直配達ヲナシ且別使配達ヲ取扱フ

○內務省告示第二十一號

一第二 不正 大砲 愛知縣名古屋市針屋町三丁目南谷橋三郎方寄附出田散爲發行 右出版物ハ治安ニ妨害アリト認ムルヲ以テ自今發賣頒布ヲ禁止ス

明治二十三年六月二十三日 內務大臣伯爵西郷從道

○遞信省告示第百十五號

東京京都大阪名古屋金澤ノ各市内ヘ左記ノ通郵便爲替取扱所ヲ設ケ來ル七月一日ヨリ爲替受拂ノ事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年六月二十五日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

- 東京市日本橋區小傳馬町郵便爲替取扱所 東京市京橋區新富町郵便爲替取扱所
- 東京市赤坂區赤坂郵便爲替取扱所 東京市四谷區麴町十一丁目郵便爲替取扱所
- 東京市神田區一ツ橋通郵便爲替取扱所 東京市神田區今川橋郵便爲替取扱所
- 東京市芝區櫻田久保町郵便爲替取扱所 東京市淺草區淺草田町郵便爲替取扱所

- 京都市上京區九太町郵便爲替取扱所 京都市下京區六條郵便爲替取扱所
- 大阪市東區瓦町郵便爲替取扱所 大阪市西區靱郵便爲替取扱所
- 大阪市西區長堀郵便爲替取扱所 大阪市南區順慶町郵便爲替取扱所
- 大阪市北區櫻橋郵便爲替取扱所 名古屋市江川町郵便爲替取扱所
- 名古屋市桶町郵便爲替取扱所 名古屋市赤塚町郵便爲替取扱所
- 金澤市片町郵便爲替取扱所

○大藏省告示第二十九號

橫濱第二國立銀行發行洋銀券引替期限本月三十日限リニ候處詮議ノ次第有之本年十二月限リ延期ス

明治二十三年六月二十六日

大藏大臣伯爵松方正義

○遞信省告示第百十六號

東京電信建築區第九部ヘ左ノ電信線路ヲ編入ス

明治二十三年六月二十六日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

長野縣諏訪郡下諏訪町

長野縣諏訪郡下諏訪町

同平野村ノ内崎谷

○遞信省告示第百十七號

來七月一日ヨリ信濃國上伊那郡赤穂郵便局ヲ郵便電信局ト爲シ赤穂郵便電信局ト稱シ其事務ヲ取扱ハシム

但當分ノ内歐文電報歐字及亞刺比亞歐字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス

明治二十三年六月二十六日

遞信大臣伯爵後藤象二郎



○遞信省告示第百十八號

來七月一日ヨリ下總國印旛郡佐倉郵便局及佐倉電信局ヲ合併シ其等級ヲ三等トシ佐倉郵便電信局ト稱シ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年六月二十六日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

○大藏省告示第三十號

東京第三十三國立銀行函館支店ノ備明治二十三年六月三十日ヲ以テ閉鎖ス

明治二十三年六月二十七日

大藏大臣伯耆松方正義

○遞信省告示第百十九號

左ノ郵便電信局ニ於テ來ル七月一日ヨリ歐文電報及歐字又ハ亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報モ亦之ヲ取扱ハシム

明治二十三年六月二十七日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

武藏國川越郵便電信局

下總國佐原郵便電信局

上野國桐生郵便電信局

岩代國二本松郵便電信局

信濃國飯田郵便電信局

伊勢國松坂郵便電信局

日向國都城郵便電信局

日向國延岡郵便電信局

○遞信省告示第百二十號

來七月一日ヨリ東京市牛込郵便支局及牛込電信支局ヲ合併シ東京郵便電信局牛込支局ト稱シ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年六月二十七日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

○宮内省告示第二十一號

帝國博物館出品規則帝國博物館特別覽觀規則左ノ通相定ム

明治二十三年六月二十八日

宮内大臣子爵土方久元

帝國博物館出品規則

第一條 凡所藏ノ物品ヲ本館ニ出陳センコトヲ望ムモノハ口頭若クハ書面ヲ以テ其旨本館ヘ願出ス

但書面ヲ以テ出願スルモノハ其願書ニ物品ノ性質傳來略圖等ヲ添ユヘシ

第二條 物品ノ出陳ヲ許可スルトキハ其物品ト引換ニ甲號離形ノ預證書ヲ交付スヘシ

第三條 凡出品ハ本館ニ於テ嚴重ニ之ヲ保護スヘシト雖トモ其所有主ノ請求ニ由リテ出陳センモノハ萬一天災其他ノ事故ニ由リ紛失毀損シ及出陳中腐敗枯死スルコトアルモ本館其責ニ任セ

ス

第四條 所有主ノ請求ニ由リテ出陳スル物品ハ其運輸ニ係ル費用渾テ所有主ノ自辨タルヘシ

第五條 本館ノ請求ニ由リ物品ヲ出陳スルトキハ其物品ト引換ニ乙號離形ノ預證書ヲ交付スヘシ

第六條 本館ノ請求ニ由リ物品ヲ出陳スルトキハ其運輸ニ係ル費用渾テ本館ニ於テ之ヲ支辨スヘシ

第七條 本館ノ請求ニ由リテ出陳スルノ物品若シ本館ニ於テ紛失又ハ毀損スルトキハ所有主ニ對シ相當ノ賠償ヲナスヘシ



但水火風露其他抗拒スヘカヲサル災害ニ由リテ紛失毀損シ及出陳中自然ニ腐敗枯死スルモノハ本館其責ニ任セス

第八條 紛失ノ物品若シ後日發見スルトキハ其現品ヲ所有主ニ返付シ而シテ其辨償金ヲ交付セルモノハ之ヲ本館へ還納セシムヘシ又毀損ノ物品ニ對シ辨償ヲナストキ其毀損品ノ處分ハ本館及所有主雙方ノ協議ニ由ルヘシ

第九條 凡出品ノ模寫模造攝影等ヲ願出ルモノアルトキハ豫メ所有主ノ承諾ヲ得テ後之ヲ許可スヘシ

但生活動物若クハ各種列品集合全體ノ形狀ヲ攝影スルノ願ヲ許可スルハ此限ニアラス

第十條 凡出品常時手入ヲ要スルモノハ本館之カ手入ヲナスヘシ

但修繕ハ此限ニアラス

第十一條 凡出陳動物ノ食餌糞藥等ハ本館ニ於テ之ヲ支辨スヘシ

第十二條 凡出陳動物ヨリ生スル所ノ卵子葉實等ハ發育ノ價トシテ本館ノ所有トナスヘシ

第十三條 凡出品ノ預期限ハ三箇年トシテ滿ルトキハ之ヲ所有主ニ通知スヘシ若シ更ニ出陳ヲ繼續スルトキハ其都度預證書ヲ書換ヲナスヘシ

但品質ニヨリ特ニ預期限ヲ短縮スルコトアルヘシ

第十四條 預期限ノ計算方ハ現品ヲ本館ニ領收スルコト六月以前ニ係ルモノハ其年一月ヨリ起算シ七月以後ニ係ルモノハ其年七月ヨリ起算スルモノトス

第十五條 出品預期限内ト雖トモ所有主ノ望ニヨリ又ハ本館ノ都合ニヨリ物品ヲ返付スルコトア

ルヘシ

第十六條 凡返付スヘキ物品ハ休日及執務時限外ヲ除クノ外何時ニテモ預證書ト引換ニ之ヲ引渡スヘシ

第十七條 出品預期限滿チテ之ヲ所有主ニ通知スルニ所有主ノ所在不分明ナルトキハ官報及三種以上ノ新聞紙上ニ於テ五日間之ヲ廣告スヘシ而シテ滿期後三箇年ヲ經ルモ尙ホ受取方ヲ申出サルトキハ兼テ交付セル出品預證書ハ無効トシ現品ハ本館ノ隨意ニ之ヲ處分シ爾後受取方申出ルモノ一切受理セサルヘシ

第十八條 凡出品ノ預證書ヲ紛失又ハ毀損スルモノハ速ニ其旨本館へ届出證書ノ再度交付若クハ引換ヲ請求スヘシ

但紛失ニ係ルモノハ官報又ハ新聞紙ニ廣告シ後三箇月ヲ經テ發見セサルトキハ引換證書ヲ交付スヘシ

第十九條 紛失又ハ毀損ニヨリ再度預證書ヲ交付シ若クハ之ヲ引換ユルトキハ其次第ヲ證書而ニ摘記スルモノトス

第二十條 凡本館へ陳列ノタメ物品ヲ寄附セント欲スルモノハ其品名形狀傳來等ヲ詳記シ管轄廳ヲ經由シテ本館へ願出ヘシ

但本人ノ便宜ニヨリ直ニ願出ルモ妨ナシ

第二十一條 物品ヲ寄附セントスルノ志アルモ僻遠ノ地ニ在リテ運輸ノ費用ヲ支辨シ難キモノハ其品柄ニヨリ本館ニ於テ其費用ヲ支辨スルコトアルヘシ

甲號雛形



第 號

出品預證書

右出陳ノ請求ヲ承認シ書面ノ品物正ニ預リ候也  
但預期限明治 年 月 マテ

年月日

帝國博物館總長

殿

乙號雛形  
(裏面出品規則ヲ列記ス)

第 號

出品預證書

右本館ノ請求ニヨリ御出陳相成正ニ預リ候也  
但預期限明治 年 月 マテ

年月日

帝國博物館總長

殿

(裏面出品規則ヲ列記ス)

帝國博物館特別覽觀規則

- 第一條 本館陳列ノ物品ヲ撰寫模造撮影又ハ手ニ取り熟覽セント欲スルモノハ之ヲ特別覽觀トシ本館ニ於テ差支ナキモノニ限り左ノ條件ニ由リテ之ヲ許可スヘシ
- 第二條 特別覽觀ヲ望ムモノハ其品物ヲ指定シ本館庶務課ニ申出特別覽觀券ノ交付ヲ請フヘシ
- 第三條 特別覽觀券ハ一日限ノ通用トシ一枚ニ付價金三拾錢トス券面記名者ノ外ニ通用スルヲ許サス
- 第四條 特別覽觀券ハ覽觀中本人之ヲ所持シ退館ノ際券面記載ノ品名ト現品トヲ照合シ之ヲ立會ノ吏員ニ返付スヘシ
- 第五條 他向ノ出品ニ係ルモノハ手ニ取り熟覽スルノ外所有主ノ承諾ヲ經ルニアラサレハ撰寫模造撮影スルヲ許サス  
但生活動物若クハ各種列品集合全體ノ形狀ヲ撮影スルカ如キハ此限ニアラス
- 第六條 撰寫模造撮影又ハ熟覽中現品ヲ毀損スルトキハ修繕費又ハ本館ニ於テ定ムル所ノ價格ニ照シテ相當ノ價金ヲ納付スヘシ
- 第七條 但現品全ク破壊シテ全部ノ價金ヲ納付セシムルモ毀損品ハ之ヲ本館ニ留ムヘシ  
特別覽觀券ヲ所持スルモノハ望ミニヨリ各部ノ列品ヲ縱覽スルコトヲ得
- 第八條 繪畫彫刻其他諸工藝學校ノ教員生徒ニシテ學術研究ノ爲メ本館ノ列品ヲ撰寫模造若クハ手ニ取り熟覽セント欲スルモノアルトキハ無料ヲ以テ特別覽觀券ヲ交付スルコトアルヘシ
- 第九條 列品ノ圓影ヲ印寫シテ發賣セント欲スルモノハ本館ノ許可ヲ請クヘシ
- 第十條 特別覽觀ノ時限ハ開館ヨリ閉館マテトシ休館ノ日ハ覽觀ヲ許サス  
特別覽觀券雛形



帝國博物館  
特別覽觀券

姓名	年月日	指定	品名

(裏面特別覽觀規則ヲ列記ス)

○大藏省告示第三十一號

山形本金庫酒田支金庫ヲ來ル七月一日ヨリ飽海郡酒田町大字秋田町へ移ス

明治二十三年六月二十八日

大藏大臣伯耆松方正義

○逓信省告示第百二十一號

一 此等封入郵便物 見合印鑑 第四四七號

其他現金受授 下野國下都賀郡小金井郵便局へ下付ノ分

右印鑑紛失候旨届出候條自今該印鑑ハ無効トス

明治二十三年六月二十八日

逓信大臣伯耆後藤象二郎

○逓信省告示第百二十二號

來七月一日ヨリ信濃國北安曇郡青具郵便局ヲ同郡美麻郡字千見ニ移シ千見郵便局ト改稱ス

明治二十三年六月三十日

逓信大臣伯耆後藤象二郎



○逓信省告示第百二十三號

一 舊逓信監察官吏章 第五號

右ハ下野國小金井郵便局へ下付致置候處紛失セル旨届出候條自今該章ハ無効トス

明治二十三年七月一日

逓信大臣 伯耆後藤象二郎

○逓信省告示第百二十四號

一 許入電信器械室證 第八五六號

右ハ福井郵便電信書記森下昌造へ下付致置候處自宅保管中紛失セル旨届出候條自今該證ハ無効トス

明治二十三年七月一日

逓信大臣 伯耆後藤象二郎

○逓信省告示第百二十五號

一 逓信監察官吏章 第九號

右ハ福井郵便電信書記森下昌造へ下付致置候處自宅保管中紛失セル旨届出候條自今該章ハ無効トス

明治二十三年七月一日

逓信大臣 伯耆後藤象二郎

○逓信省告示第百二十六號

一 逓信監察官吏章 第五號

右ハ静岡郵便電信局在勤郵便電信書記富成久熊渡ノ分本月九日同人静岡市中ニ於テ落失ノ旨届出候條自今該印章ハ無効トス

明治二十三年七月一日

逓信大臣 伯耆後藤象二郎

○逓信省告示第百二十七號

明治二十三年七月一日 逓信省告示第百二十三號 逓信省告示第百二十四號 逓信省告示第百二十五號 逓信省告示第百二十六號 逓信省告示第百二十七號 三三三







扱ハシム

明治二十三年七月二日

爲替金五磅迄

同 拾磅迄

爲替料貳拾五錢

同 五拾錢

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○海軍省告示第十九號

吳鎮守府ニ於テ技工一名採用ス志願ノ者ハ同府ヘ願出ツヘン

明治二十三年七月三日

海軍大臣子爵樺山資紀

○遞信省告示第三百三十一號

明治十九年遞信省告示第五百十五號水液脂肪類見本ヲ交換シ得ル國名中「コスタリカ」共和國ヲ追加ス

明治二十三年七月三日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第三百三十二號

本年五月中西洋形船ヘ左ノ信號符字ヲ懸附ス

明治二十三年七月四日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

西洋形船

信號符字	免狀番號	船名	種類	定製場	船主氏名
HJBK	一一八三 1183	猪名川丸 Imajawa Maru	汽	大阪	大阪商船會社
HJBL	一一八四 1184	北見丸 Kitami Maru	汽	東京	田中久重
HJBM	一一八五 1185	第三號丸 Ton Maru No. 3	帆	土佐國農人町堀川	小松龍太郎

HJBN	一一八六 1186	第五號丸 Kawata Maru No. 5	帆	土佐國後須村手結	郷 龜七
HJBP	一一八七 1187	神阪丸 Shinpan Maru	帆	攝津國神戸	品川淺吉

○遞信省告示第三百三十三號

一西洋形帆船玉島丸免狀號明治二十一年五月一日登録

右ハ岡山縣下備中國淺口郡玉島村龜山増産所有ノ處明治二十二年十二月中國國後郡留夜別村

近海ニ於テ難破ノ際流失セシ旨届出タルニ依リ其所在見聞ノ者ハ速ニ管轄廳ヘ申出ヘン但該免狀

ハ無効ニ屬ス

明治二十三年七月四日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○内務省告示第二十二號

長崎縣長崎市及接續郡村ニ於テ虎列刺病發生漸次蔓延ノ景況ニ付長崎港ヲ發シ又ハ同港ヲ經及同

港ヲ發シ他港ヲ經テ來ル船舶ニ對シ左ノ諸港ニ於テ明治十五年六月第三十一號布告虎列刺病流行地

方ヨリ來ル船舶検査規則ニ據リ検査ヲ實施ス

明治二十三年七月七日

内務大臣伯爵西郷從道

山口縣下

赤間關

兵庫縣下

神戸

神奈川縣下

横濱

北海道廳管下

函館

○内務省告示第二十三號

本年七月第二十二號告示ニヨリ検査ヲ受クヘキ船舶ニシテ神戸兵庫大阪ニ航行スルモノハ兵庫縣下



攝州和田岬ニ横濱東京ニ航行スルモノハ神奈川縣下相州長浦ニ寄停シ検査官ノ検査ヲ受クヘシ  
明治二十三年七月七日  
内務大臣伯爵西郷從道

○司法省告示第十八號

代官試驗志願者ハ自己ノ寫眞一葉裏面ニ其氏名ヲ自書シ出願ノ際之ヲ檢事ニ差出スヘシ  
明治二十三年七月八日  
司法大臣伯爵山田顯義

○司法省告示第十九號

明治二十二年本省告示第十號出張裁判開廷場所管轄區域及期日表中秋田ノ部左ノ通改正ス  
明治二十三年七月八日  
司法大臣伯爵山田顯義

結審	治安	開廷場所		管轄區域	開廷期日
		出張場所	出張所		
秋田	船越	下北川	下北川出張所管内一回	九月	四月 六月
		船越	船越出張所管内一回	九月	四月 六月
本庄	龜田	矢島	矢島出張所管内一回	九月	四月 六月
		龜田	龜田出張所管内一回	九月	四月 六月
大館	水無	鷹巣	鷹巣出張所管内一回	九月	四月 六月
		水無	水無出張所管内一回	九月	四月 六月
大曲	花輪	花輪	花輪出張所管内一回	九月	四月 六月
		角館	角館出張所管内一回	九月	四月 六月
横手	湯澤	湯澤	湯澤出張所管内一回	九月	四月 六月
		今宿	今宿出張所管内一回	九月	四月 六月

○遞信省告示第三百三十四號

一 第二百八十六號三則船長免狀 明治十四年九月十六日及  
右ハ和歌山縣平民青井彌五郎所有ノ處西洋形帆船長榮丸乗組執職中明治二十二年十二月十二日磐  
城國小名濱海岸ニ於テ本船難破ノ際流失セシ旨届出タルニ依リ其所在見聞ノ者ハ速ニ管轄廳ヘ申  
出ヘシ  
但該免狀ハ無効ニ屬ス  
明治二十三年七月八日  
遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第三百三十五號

一 帆船係丸検査證書 明治二十二年九月四日登簿  
右ハ東京市麻布區網代町一番地山川平造所有帆船係丸ヘ下附ノ處客歲十二月十二日岩城國小名濱  
海岸ニ於テ遭難ノ際紛失候旨届出ニ依リ其所在見聞ノ者ハ速ニ管轄廳ヘ申出ヘシ  
但該證書ハ無効ニ屬ス  
明治二十三年七月八日  
遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第三百三十六號

武藏國北足立郡上尾始メ左ノ二局ヘ郵便爲替及貯金事務ヲ開施シ本月十六日ヨリ其事務ヲ取扱ハ  
但當分ノ内小爲替振出ノ事務ヲ取扱ハシメス  
明治二十三年七月八日  
遞信大臣伯爵後藤象二郎  
武藏國北足立郡上尾郵便局  
磐城國刈田郡刈田郵便局



○遞信省告示第三百三十七號

武藏國秩父郡小鹿野始メ左ノ郵便局へ郵便爲替事務ヲ開施シ本月十六日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム  
但當分ノ内小爲替振出ノ事務ヲ取扱ハシメス

明治二十三年七月八日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

武藏國秩父郡小鹿野郵便局

武藏國北足立郡草加郵便局

武藏國北足立郡川口郵便局

武藏國入間郡扇町屋郵便局

武藏國北足立郡桶川郵便局

和泉國日根郡信達郵便局

河内國安宿郡國分郵便局

和泉國南郡貝塚郵便局

河内國錦部郡三田市郵便局

大和國十市郡田原本郵便局

陸前國栗原郡高清水郵便局

陸前國桃生郡雄勝濱郵便局

羽前國西村山郡左澤郵便局

羽前國北村山郡東根郵便局

羽前國東置賜郡赤湯郵便局

羽前國西田川郡大山郵便局

紀伊國日高郡南部郵便局

紀伊國日高郡由良郵便局

紀伊國海部郡加太郵便局

紀伊國西牟婁郡富田郵便局

岩代國安積郡福良郵便局

岩代國耶麻郡鹽川郵便局

磐城國菊多郡植田郵便局

○遞信省告示第三百三十八號

在外國木邦郵便電信局郵便局等級左ノ通相定ム

明治二十三年七月八日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

等級

所在地名

局名

二等

朝鮮國釜山

釜山郵便電信局

二等

清國上海

上海郵便局

二等

朝鮮國仁川港

仁川郵便局

二等

朝鮮國元山津

元山郵便局

○遞信省告示第三百三十九號

本月十六日ヨリ伯耆國會見郡米子町米子郵便局及同電信局ヲ合併シ其等級ヲ三等トシ米子郵便電  
信局ト稱シ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年七月十日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第四百十號

本月十六日ヨリ越中國高岡市高岡郵便局及高岡電信局ヲ合併シ其等級ヲ三等トシ高岡郵便電信局  
ト稱シ其事務ヲ取扱ハシム

但當分ノ内歐文電報數字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス

遞信大臣伯爵後藤象二郎

明治二十三年七月十四日

○遞信省告示第四百十一號

對馬國下縣郡鷓鴣知始メ左ノ郵便局へ郵便爲替及貯金事務ヲ開施シ本年八月一日ヨリ其事務ヲ取扱  
ハシム

但當分ノ内小爲替振出ノ事務ヲ取扱ハシメス

遞信大臣伯爵後藤象二郎

明治二十三年七月十五日

○遞信省告示第四百十二號

肥前國南高來郡小濱始メ左ノ郵便電信局郵便局へ郵便爲替事務ヲ開施シ本年八月一日ヨリ其事務  
ヲ取扱ハシム

但當分ノ内小爲替振出ノ事務ヲ取扱ハシメス

遞信大臣伯爵後藤象二郎

明治二十三年七月

告示 遞信省告示第三百三十九號 第四百十號 第四百十一號 第四百十二號

三三一



明治二十三年七月十五日

遞信大臣伯備後藤象二郎

- 肥前國南高來郡小濱郵便局 肥前國南松浦郡奈良尾郵便局
- 薩摩國河邊郡加世田郵便局 大隅國西嶺郡福山郵便局
- 大隅國桑原郡橫川郵便局
- 肥後國宇土郡三角郵便電信局 肥後國球磨郡多良木郵便局
- 肥後國五名郡長洲郵便局
- 淡路國津名郡志筑郵便局 淡路國三原郡市村郵便局
- 播磨國揖東郡下野郵便局 播磨國赤穂郡上郡郵便局
- 備前國兒島郡味野郵便局 備前國兒島郡天城郵便局
- 備中國兒島郡八濱郵便局 備中國川上郡吹屋郵便局
- 備前國玖珂郡由宇郵便局 周防國佐波郡三田尻郵便局
- 周防國玖珂郡由宇郵便局 因幡國智頭郡智頭郵便局
- 因幡國智頭郡智頭郵便局 因幡國高草郡吉岡郵便局
- 阿波國三好郡江口郵便局 阿波國那賀郡羽ノ浦郵便局
- 阿波國那賀郡羽ノ浦郵便局 阿波國阿波郡八幡郵便局
- 阿波國阿波郡八幡郵便局 羽後國平鹿郡淺舞郵便局
- 羽後國仙北郡六郷郵便局 羽後國雄勝郡院内郵便局

○遞信省告示第四百四十三號

一 貨物輸入郵便物 見合印鑑 第一一六號

美濃國羽栗郡笠松郵便局へ交付ノ分

右印鑑紛失ノ旨届出候條自今該印鑑ハ無効トス

遞信大臣伯備後藤象二郎

○大藏省告示第三十二號

一 紙幣貳百三拾九萬七千六百七拾三圓七拾五錢

右ハ銀貨ト交換セシ支消紙幣及紙幣ト交換セシ損傷紙幣ノ合計ニシテ七月九日以降三日間印刷局

構内ニ於テ會計検査院官吏立會廳聚セリ

明治二十三年七月十六日

大藏大臣伯備松方正義

○遞信省告示第四百四十四號

本月二十一日ヨリ信濃國下高井郡中野郵便局ヲ郵便電信局ト爲シ中野郵便電信局ト稱シ其事務ヲ取扱ハシム

但當分ノ内歐文電報歐字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス

明治二十三年七月十六日

遞信大臣伯備後藤象二郎

○海軍省告示第二十號

横須賀水雷隊佐世保水雷隊對馬水雷隊ニ要スル水雷夫ノ徵募區域左ノ通改正シ其人員ハ本年九月ニ於テ徵募ス

明治二十三年七月十八日

海軍大臣子爵樺山資紀

水雷隊	徵募人員	徵募區域
佐世保	六十人	神奈川縣管下 三浦郡 久良岐郡 横樹郡 鎌倉郡 高坐郡 大住郡 安房郡 平郡 天羽郡 周進郡 笠原郡 市原郡 千葉郡 佐賀縣管下 四松浦郡 東松浦郡 杵島郡 長崎縣全管下
對馬竹敷	百二十人	

○遞信省告示第四百四十五號

陸中國北閉伊郡普代郵便局へ郵便爲替及貯金事務ヲ開施シ本年八月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

但當分ノ内小爲替振出ノ事務ヲ取扱ハシメス



明治二十三年七月二十二日

遞信省告示第四百六十六號

遞信大臣伯爵後藤象二郎

甲斐國中巨摩郡龍王崎ノ左ノ郵便局ハ郵便爲替事務ヲ開施シ本年八月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシ  
但當分ノ内小爲替振出ノ事務ヲ取扱ハシメス

明治二十三年七月二十二日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

- |              |               |              |
|--------------|---------------|--------------|
| 甲斐國中巨摩郡龍王郵便局 | 甲斐國北巨摩郡登ヶ原郵便局 | 伊勢國南巨摩郡切石郵便局 |
| 下總國千葉郡檢見川郵便局 | 伊勢國員辨郡楚原郵便局   | 伊勢國三重郡菟野郵便局  |
| 伊勢國度會郡覺柄郵便局  | 志摩國美濃郡波切郵便局   | 伊賀國阿拜郡柘植郵便局  |
| 越中國磯波郡戸出郵便局  | 越中國磯波郡福野郵便局   | 陸中國北九戸郡輕米郵便局 |
| 陸中國北九戸郡葛卷郵便局 | 陸中國北開伊郡小本郵便局  | 安藝國豊田郡御手洗郵便局 |
| 安藝國豊田郡大崎島郵便局 | 安藝國安藝郡倉橋島郵便局  | 備後國安那郡神邊郵便局  |
| 備後國御調郡中庄郵便局  | 出雲國意宇郡夫道郵便局   | 出雲國能義郡母里郵便局  |
| 出雲國出雲郡直江郵便局  | 石見國鹿足郡六日市郵便局  | 土佐國安藝郡奈半利郵便局 |
| 土佐國香川郡長濱郵便局  | 土佐國高岡郡久禮郵便局   | 土佐國幡多郡佐賀郵便局  |
| 伊豫國新居郡新居濱郵便局 | 伊豫國西宇和郡川ノ石郵便局 | 伊豫國宇麻郡三島郵便局  |
| 伊豫國西宇和郡三机郵便局 | 讃岐國阿野郡瀧ノ宮郵便局  | 讃岐國香川郡由佐郵便局  |
| 讃岐國大内郡引田郵便局  |               |              |

○海軍省告示第二十一號

今般與鎮守府ニ任用スヘキ海軍技工一名佐世保鎮守府ニ任用スヘキ海軍技工二名試験ノ上採用ス

志願ノ者ハ左ノ規則ニ依リ來ル八月十五日マテニ海軍大臣官房ニ願出ツヘン

明治二十三年七月二十二日

海軍大臣子爵樺山資紀

海軍技工臨時採用規則

- 第一條 海軍技工ヲ志願スルコトヲ得ヘキ者ハ年齢本年ニ於テ滿二十年以上三十年未滿身體強健精神異常ナキ者タルヘシ但左ニ掲グル者ハ志願スルコトヲ得ス
  - 一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
  - 二 刑事被告トナリ裁判未決ノ者
  - 三 身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ義務ヲ免レサル者
- 第二條 志願人身體検査ニ合格セラルトキハ學術試験ヲ爲サス
- 第三條 志願人學術試験ニ合格シタルトキハ試験成績ノ順序ニ依リ海軍技工ニ採用ス
- 第四條 學術試験ノ科目ハ左ノ如シ
  - 一 數學四則比例
  - 二 理學初歩
  - 三 讀書地誌 歴史 地理
  - 四 作文公用文 記事文
- 第五條 志願人ノ身體検査學術試験ハ東京ニ於テ之ヲ行フ
- 第六條 志願人ハ左ノ書式ニ依リ市町村長ノ與書押印アル願書及戸籍明細書ヲ出スヘシ  
願書式

海軍技工採用願

海軍技工志願ニ付検査ノ上御採用被下度此段添願候也

明治二十三年 月 日

府(縣)國郡市(町村)番地住(寄留)  
何某男或ハ弟又何々  
氏 名